

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局(43) 国際公開日
2005年10月6日 (06.10.2005)

PCT

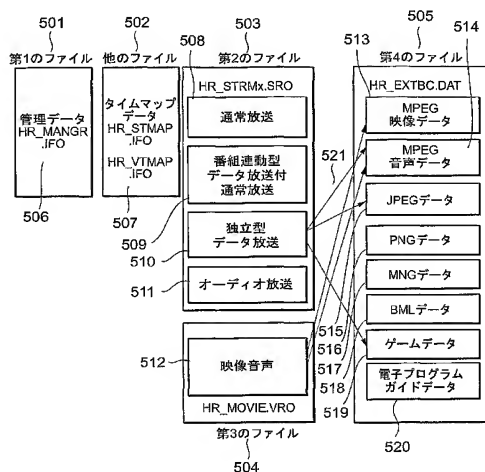
(10) 国際公開番号
WO 2005/094074 A1

- (51) 国際特許分類: H04N 5/92, G11B (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 日本電気株式会社 (NEC CORPORATION) [JP/JP]; 〒1088001 東京都港区芝五丁目7番1号 Tokyo (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2005/006531 (72) 発明者; および
- (22) 国際出願日: 2005年3月28日 (28.03.2005) (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 糸井 哲史 (ITOI, Satoshi) [JP/JP]; 〒1088001 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内 Tokyo (JP).
- (25) 国際出願の言語: 日本語 (74) 代理人: 池田 憲保, 外 (IKEDA, Noriyasu et al.); 〒1050003 東京都港区西新橋一丁目4番10号 第3森ビル Tokyo (JP).
- (26) 国際公開の言語: 日本語 (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR,
- (30) 優先権データ:
特願2004-092420 2004年3月26日 (26.03.2004) JP
特願2004-235755 2004年8月13日 (13.08.2004) JP

[続葉有]

(54) Title: BROADCAST VIDEO/AUDIO DATA RECORDING METHOD, DEVICE, AND RECORDING MEDIUM

(54) 発明の名称: 放送映像音声データ記録方法、装置、および記録媒体



501 FIRST FILE
506 MANAGEMENT DATA HR_MANGR.IFO
502 ANOTHER FILE
507 TIME MAP DATA HR_STMAP.IFO, HR_VTMAP.IFO
503 SECOND FILE
508 NORMAL BROADCAST
509 NORMAL BROADCAST WITH PROGRAM-LINKED DATA BROADCAST
510 INDEPENDENT DATA BROADCAST
511 AUDIO BROADCAST
512 VIDEO/AUDIO
504 THIRD FILE
505 FOURTH FILE
513 MPEG VIDEO DATA
514 MPEG AUDIO DATA
515 JPEG DATA
516 PNG DATA
517 MNG DATA
518 BML DATA
519 GAME DATA
520 ELECTRONIC PROGRAM GUIDE DATA

(57) Abstract: A broadcast video-audio data recording device includes a first file (501) for recording management data (506), a second file (503) for recording a digital normal broadcast (508), a normal broadcast with program-linked data broadcast (509), an independent data broadcast (510), an audio broadcast (511), and the like, a third file (504) for recording analog broadcast video/audio data, and an auxiliary file for recording various data. In the auxiliary file, it is possible to record data for various purposes such as MPEG video data (513), MPEG audio data (514), JPEG data (515), PNG data (516), MNG data (517), BML data (518), game data (519), and electronic program guide data (520). With this configuration it is possible to easily record on a video recorder such as a DVD, various information such as digital broadcast without data broadcast, normal broadcast with program-linked data broadcast, independent data broadcast, audio broadcast, character broadcast, analog broadcast, and Internet information on broadcast. It is also possible to copy and move the recorded data after format conversion, thereby performing another DVD reproduction, high-speed transfer, erase, edition, and partial isolation of data for re-use.

(57) 要約: 管理データ506を記録する第1のファイル501、デジタル通常放送508、番組連動型データ放送付通常放送509、独立型データ放送510、オーディオ放送511等を記録する第2のファイル503、アナログ放送映像音声データを記録する第3のファイル504を備えると共に、種々のデータを記録するため付属ファイルとが設けられる。付属ファイルには、MPEG映像データ513、MPEG音声データ514、JPEGデータ515、PNGデータ516、MNGデータ517、BMLデータ518、ゲームデータ519、電子プログラムガイドデータ520等を種々の用途のデータを記録することができる。この構成では、データ放送なしデジタル放送、番組連動型データ放送つき通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送、文字放送、アナログ放送、および、放送に関連するインターネット情報等、各種の情報をDVD等のビデオレコーダに簡単に記録することができ、かつ、記録されたデータをフォーマット変換後コピー、移動することにより他機DVD再生、高速伝送、消去、編集の実現、またデータを部分的に切り出して再利用が可能である。

報等、各種の情報をDVD等のビデオレコーダに簡単に記録することができ、かつ、記録されたデータをフォーマット変換後コピー、移動することにより他機DVD再生、高速伝送、消去、編集の実現、またデータを部分的に切り出して再利用が可能である。



BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE,

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

明 細 書

放送映像音声データ記録方法、装置、および記録媒体

技術分野

この発明は、ハードディスク／DVDコンボ型ビデオレコーダ、DVDビデオレコーダ、DVDストリームレコーダ、ハードディスクビデオレコーダなど記録装置におけるデジタル放送データ、アナログ放送映像音声データ、インターネットデータなど放送外関連情報の記録再生方法、装置、および記録媒体に関する。

背景技術

従来、DVD (Digital Versatile Disc) におけるビデオ、ストリーム関連アプリケーションフォーマットは、DVD-Forum において、再生専用の DVD-Video、記録再生と編集が容易な DVD-VR (Video Recording)、放送または伝送ストリームを直接記録再生が容易な DVD-SR (Stream Recording) フォーマットが規格化されている。

DVD-Video は、映画などあらかじめコンテンツが記録されたディスク再生専用フォーマットであり、ホームシアターをメインターゲットとしている。DVD-VR は、アナログビデオをデジタル化し、MPEG-2 エンコードして記録することを主たる目的としたフォーマットであり、アナログ放送記録とビデオカメラをメインターゲットとしている。DVD-SR は、MPEG ストリームとして送られてきたデータを基本的にはそのまま記録するフォーマットであり、デジタル放送のダイレクト記録をメインターゲットとしている。現在、DVD-Video は商品として世界中に広まり、DVD-VR も大幅に広まりつつあるが、DVD-SR は商品化されていない。

ここで、DVD などにより放送映像音声データを記録する場合、フォーマットとして、デジタル放送を直接記録するか、アナログ放送をデジタル化して記録するか、どちらかしか考慮されていなかった。また、データ放送記録のことは考慮されていなかった。

即ち、アナログ放送、デジタル放送は、それぞれ DVD-VR、DVD-SR フォーマットとして、同じ媒体に共存することのみが考えられた。デジタル放送に関しては、

何も加工せず、媒体にそのままダイレクト記録することのみが考えられた。データ放送を単独で記録しようとする、例えばデータ放送のデータを MPEG-2 フォーマットで規定されている PES_private_data に配置して記録することなどが考えられた。

一方、特開 2003-288767 (特許文献 1) には、映像音声ストリーム記録において互換性を維持しつつ多機能化を実現し、且つ、ビデオ記録など他の映像記録機器との最適なデータ送受信、記録を可能とする記録方法が提案されている。

更に、本発明者等は先に、特願 2004-12264 号 (特許文献 2) 等において、通常の放送と共に、データ放送をも記録再生する記録、再生方法を提案した。

発明の開示

発明が解決しようとする課題

しかしながら、前述したような記録方法により放送映像音声データの記録を行おうとすると、以下のような問題点が挙げられる。

即ち、デジタル放送を DVD-SR フォーマットで記録した媒体は、通常の DVD-Video または DVD-VR フォーマットに対応した DVD プレーヤーまたは DVD レコーダでは、データの読み出しができない。

更に、アナログ放送を MPEG 符号化後、DVD-Video または DVD-VR フォーマットで記録したデータは、他のデバイスとデータ通信しようとしても、そのままではデータを送信できない。

また、デジタル放送をマルチチャンネル記録などにより、タイムマップなしで記録したデータファイルに関して、可変速再生、タイムサーチ、タイトルまたはチャプターサーチが実現できない。

一方、データ放送記録において、PES_private_data に記録することは可能であるが、プライベートデータとして記録するためフォーマットによる規定は行われず、異なった装置間での互換が取れない。また、仮に互換が取れたとしても、本放送とデータ放送が 1 ストリームに多重化されている場合、データ放送のデータ

を本放送と切り離して保存、編集、削除、加工、特殊再生など行うことが非常に困難である。

また、DVD-SR においてデジタル放送をダイレクトで記録した場合も、本放送とデータ放送の切り分け、データ放送の内容、データ放送チャンネルに関して、記録ストリーム中を検索しなければ詳細が分からず、また、仮に詳細が分かったとしても、本放送とデータ放送が 1 ストリームに多重化されている場合、データ放送のデータを本放送と切り離して保存、編集、削除、加工、特殊再生など行うことが非常に困難である。

更に、特許文献 1 では、データ放送を記録すること並びに記録する際における問題点については何等言及されていない。

他方、特許文献 2 は、トランスポートストリーム (TS) で表現された放送データとプログラムストリーム (PS) で表現された映像音声データ (非放送データ) とを記録、再生する手法について記載していない。即ち、データ放送以外の放送及び放送外の関連データを記録すること等については、特許文献 2 は検討していない。

本発明の目的は、放送映像音声データを任意且つ容易に処理することができる放送映像音声データ記録方法を提供することである。

本発明の他の目的は、上記した記録方法に従ってデータを記録および／または再生する装置を提供することである。

本発明の更に他の目的は、上記した記録方法に従ってデータを記録された記録媒体、並びに、異なるフォーマットを有するデータストリームを記録できる記録媒体を提供することである。

本発明の他の目的は、データ放送、データ放送以外の放送、並びに、放送以外の関連データ、即ち、互いに異なるフォーマットを有するデータストリームを記録／再生する方法、装置を提供することである。

課題を解決するための手段

本発明は前記課題を解決したものであり、以下、本発明の特徴を列挙する。

本発明の第 1 の態様によれば、管理データを第 1 のファイルに記録し、放送を TS (Transport Stream) で表現したストリームを第 2 のファイルに記録し、映像

音声を PS (Program Stream) で表現したストリームを第 3 のファイルに記録すると共に、前記第 1 ～第 3 のファイルとは異なる付属ファイルが設けられており、前記第 1 のファイルの管理データにより各ファイルのデータの内容を示すことを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 2 の態様によれば、前記付属ファイルには、入力した放送映像音声のうち全部または一部、または、第 2 または第 3 のファイルに記録された放送映像音声のうち全部または一部からコピーまたは移動したものが記録されていることを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 3 の態様によれば、前記付属ファイルは、複数のファイルによって構成され、入力した放送映像音声のうち全部または一部、または、第 2 または第 3 のファイルに記録された放送映像音声のうち全部または一部からコピーまたは移動したものを、同じ符号化フォーマットを持つ動画、同じ符号化フォーマットを持つ音声、同じ符号化フォーマットを持つ静止画、同じ符号化フォーマットを持つアニメーション、同じ符号化フォーマットを持つ文字データ、同じ符号化フォーマットを持つゲームデータ、同じ符号化フォーマットを持つ電子プログラムガイドデータ、同じ符号化フォーマットを持つグラフィックデータ、同じ符号化フォーマットを持つ立体映像データ同士を組み合わせが、前記付属ファイルにおける複数のファイルのうち、同じファイルにそれぞれ記録されることを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 4 の態様によれば、前記第 2、第 3、及び付属ファイルのいずれかには、データ放送を記録し、入力した放送映像音声のうち全部または一部、または、第 2 または第 3 または付属ファイルに記録された放送映像音声のうち全部または一部からコピーまたは移動したものを前記付属ファイルの第 4 または第 5 のファイルに記録することを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 5 の態様によれば、入力した放送映像音声データまたは各ファイルのデータのうち全部または一部が、記録またはコピーまたは移動先のファイルのフォーマットと合致していればそのまま、合致していなければ前記フォーマットに変換した後、記録またはコピーまたは移動することを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 6 の態様によれば、第 3 のファイルにおける PS ストリームは、アナログ放送を PS 符号化したストリームであることを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 7 の態様によれば、第 3 のファイルにおける PS ストリームは、デジタル放送を TS から PS にトランスコード符号化したストリームであることを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 8 の態様によれば、第 2 のファイルに記録された TS で表現された放送ストリームを、PS で表現された映像音声ストリームに変換後、コピーまたは移動により第 3 のファイルに記録し、管理データにより記録情報を示すことを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 9 の態様によれば、第 3 のファイルに記録された PS で表現された映像音声ストリームを、TS で表現された放送ストリームに変換後、コピーまたは移動により第 2 のファイルに記録し、管理データにより記録情報を示すことを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 10 の態様によれば、放送外関連情報を、前記付属ファイルに記録し、管理データにより放送外関連情報の内容を示すことを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 11 の態様によれば、放送外関連情報を、前記第 1 ～第 3 のファイル及び前記付属ファイルとは異なる新規のファイルに記録し、管理データにより放送外関連情報の内容を示すことを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 12 の態様によれば、データ放送には、番組連動型データ放送、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、または文字放送が含まれることを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 13 の態様によれば、番組連動型データ放送を第 2 のファイルに記録し、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、または文字放送を前記付属ファイルに記録することを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 14 の態様によれば、コピーまたは移動するデータは、動画データ、

音声データ、静止画データ、アニメーション、文字データ、ゲームデータ、電子プログラムガイドデータ、グラフィックデータ、立体映像データのうち全部、または一部であることを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第15の態様によれば、放送外関連情報が、放送に関連するインターネット情報、番組付加情報、ディレクターズカット情報、ディレクターズコメント情報、Eコマース情報、チャット情報、予告情報といったインターネット付加情報、インターネット放送情報のうち全部または一部であることを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第16の態様によれば、管理データを記録した第1のファイルと、入力した放送映像音声データおよびコピーまたは移動の結果得られた記録放送映像音声データのうち、少なくとも一方を格納データとして記録するデータファイルとを有し、前記データファイルには、前記格納データが前記管理データを示すフォーマットで記録されることを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第17の態様によれば、TSで表現された放送映像音声データを第2のファイルに記録すると共に、PSで表現された放送映像音声データを第3のファイルに記録し、前記第2および／または第3のファイルの記録データを選択的に前記データファイルにコピーまたは移動することを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第18の態様によれば、前記データファイルとして、入力した放送映像音声データ、または前記第2または第3のファイルに記録された記録データの少なくとも一部をコピーまたは移動したデータを前記格納データとして格納する第4のファイルを備えていることを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第19の態様によれば、管理データとして、放送記録ファイル識別フラグ、放送外関連情報記録ファイル識別フラグ、放送識別フラグ、放送外関連情報識別フラグのうち全部または一部を持ち、これらのフラグにより、放送映像音声データが記録されたファイル、放送外関連情報が記録されたファイル、記録された放送映像音声データの内容、記録された放送外関連情報の内容、のうち全部

または一部を示すことを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第20の態様によれば、放送記録ファイル識別フラグ、放送外関連情報記録ファイル識別フラグが、

相当するファイルに、データ放送なしデジタル通常放送、番組連動型データ放送付デジタル通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、文字放送、アナログ放送がそれぞれ記録されているか否か、またはそれぞれの放送が記録されているファイルを示し、あるいは相当するファイルに、放送外関連情報が記録されているか否か、または放送外関連情報が記録されているファイルを示し、

放送識別フラグ、放送外関連情報識別フラグが、

相当するストリームに、データ放送なしデジタル通常放送、番組連動型データ放送付デジタル通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、文字放送、アナログ放送、または放送外関連情報がそれぞれ記録されているか否か、記録されている放送データないし放送外関連情報のうち、直接記録または他のファイルからコピーまたは移動されたデータが、直接記録かコピーか移動かの別、コピーまたは移動のときソースが存在するかどうかと存在するときファイル名、ソースストリーム名、ソースストリームナンバー、

コピーまたは移動、かつソースが分かっているときソースデータと記録データに関して、その他のとき記録データに関して、データが動画／音声／静止画／アニメーション／文字データ／ゲームデータ／電子プログラムガイドデータ／グラフィックデータ／立体映像データの別、動画の場合、動画データ圧縮方式、音声の場合音声データ圧縮方式、静止画の場合静止画データ圧縮方式、アニメーションの場合アニメーションデータ圧縮方式、文字データの場合文字データ圧縮表示方式、ゲームデータの場合ゲームデータ方式、電子プログラムガイドデータの場合電子プログラムガイド方式、グラフィックデータの場合グラフィックデータ方式、立体映像データの場合立体映像データ方式、およびストリーム形式、放送外関連情報が通常インターネットデータかストリーミングデータかその他のデータかを示すフラグ、のうち全部、または一部を示すことを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 2 1 の態様によれば、第 1 のファイルに管理データとして、放送記録ファイル識別フラグ、放送外関連情報記録ファイル識別フラグ、放送識別フラグ、放送外関連情報識別フラグ、および、

データ放送の伝送方式としてデータカルーセルモードか／イベントメッセージ伝送モードか／両者を含むモードかを示すフラグ、データカルーセル放送の場合放送された全データを記録するモードか／更新データのみ記録するモードかを示すフラグ、ニュース・天気予報・株式情報など更新可能なデータ放送において新しいデータによる古いデータ自動更新を OFF とするか ON とするかを示すフラグ、最新データ更新開始時刻／終了時刻、タイムマップが存在するか、しないかを示すフラグ、通常放送ストリームか蓄積型放送ストリームかを示すフラグ、のうち全部、または一部が記録されることを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 2 2 の態様によれば、動画データ圧縮方式として MPEG ビデオか H. 264 ビデオか Windows（登録商標）Media ビデオかの種別、音声データ圧縮方式として MPEG オーディオか Dolby オーディオか DTS オーディオかの種別、静止画データ圧縮方式として JPEG か PNG かの種別、を示すことを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 2 3 の態様によれば、態様 1 に記載された記録方法でデータを記録する放送映像音声データ記録装置、および／または、態様 1 に記載された記録方法で記録されたデータを再生する放送映像音声データ再生装置が得られる。

本発明の第 2 4 の態様によれば、態様 1 6 に記載された記録方法でデータを記録する放送映像音声データ記録装置、および／または、態様 1 6 に記載された記録方法で記録されたデータを再生する放送映像音声データ再生装置が得られる。

本発明の第 2 5 の態様によれば、態様 1 に記載された記録方法で記録が行われた放送映像音声データ記録媒体が得られる。

本発明の第 2 6 の態様によれば、態様 1 6 に記載された記録方法で記録が行われた放送映像音声データ記録媒体が得られる。

本発明の第 2 7 の態様によれば、互いに異なるフォーマットを有するデータストリームをそれぞれ互いに異なるファイルに格納し、格納されたデータストリー

ム間相互のフォーマット変換を行って、当該変換されたフォーマットに適合したデータを追加することによりデータストリームを記録するデータストリーム記録方法が得られる。

本発明の第 28 の態様によれば、態様 27 において、前記データストリームはトランスポートストリーム (TS) とプログラムストリーム (PS) とを含んでいることを特徴とするデータストリーム記録方法が得られる。

本発明の第 29 の態様によれば、態様 27 において、前記トランスポートストリーム (TS) は放送データストリームであり、他方、プログラムストリーム (PS) は非放送データストリーム又は放送から発生したストリームであり、前記 TS 及び PS を識別する管理データを別のファイルに格納することを特徴とするデータストリーム記録方法が得られる。

本発明の第 30 の態様によれば、互いに異なるフォーマットを有するデータストリームをそれぞれ格納する 2 つのファイルと、これら互いに異なるデータストリーム間のフォーマット変換を行う手段と、変換されたデータストリームを変換されたデータストリームのフォーマットに従って格納する別のファイルとを含み、当該別のファイルからのデータストリームを再生することを特徴とするデータストリーム記録再生装置が得られる。

本発明の第 31 の態様によれば、態様 30 において、更に、前記互いに異なるデータストリームを識別するデータ格納手段を備えていることを特徴とするデータストリーム記録再生装置が得られる。

本発明の第 32 の態様によれば、互いに異なるフォーマットを有するデータストリームに対応できるフォーマットを備えたことを特徴とする記録媒体が得られる。

本発明の第 33 の態様によれば、管理データを第 1 のファイルに記録し、放送を TS (Transport Stream) で表現したストリームを第 2 のファイルに記録し、映像音声を PS (Program Stream) で表現したストリームを第 3 のファイルに記録すると共に、前記第 1 ～第 3 のファイルとは異なる付属ファイルを有し、管理データにより、各ファイルに記録された放送映像音声データの内容を示すことを特徴とする放送映像音声データ記録装置が得られる。

本発明の第 3 4 の態様によれば、態様 3 3 において、前記付属ファイルは、入力した放送映像音声のうち全部または一部、または、第 2 または第 3 のファイルに記録された放送映像音声のうち全部または一部からコピーまたは移動したものを記録する第 4 のファイルを含んでいることを特徴とする放送映像音声データ記録装置が得られる。

本発明の第 3 5 の態様によれば、態様 3 3 において、前記付属ファイルは、入力した放送映像音声のうち全部または一部、または、第 2 または第 3 のファイルに記録された放送映像音声のうち全部または一部からコピーまたは移動したものを、同じ符号化フォーマットを持つ動画、同じ符号化フォーマットを持つ音声、同じ符号化フォーマットを持つ静止画、同じ符号化フォーマットを持つアニメーション、同じ符号化フォーマットを持つ文字データ、同じ符号化フォーマットを持つゲームデータ、同じ符号化フォーマットを持つ電子プログラムガイドデータ、同じ符号化フォーマットを持つグラフィックデータ、同じ符号化フォーマットを持つ立体映像データ同士を組み合わせ、それぞれ個別に記録するファイルを含み、管理データにより、各ファイルに記録された放送映像音声データの内容を示すことを特徴とする、放送映像音声データ記録装置が得られる。

本発明の第 3 6 の態様によれば、態様 3 3 において、前記第 2 または第 3 のファイルはデータ放送を記録すると共に、前記付属ファイルは、入力した放送映像音声のうち全部または一部、または、第 2 または第 3 のファイルに記録された放送映像音声のうち全部または一部からコピーまたは移動したものを記録する第 4 または第 5 のファイルを含み、管理データにより、各ファイルに記録された放送映像音声データの内容を示すことを特徴とする放送映像音声データ記録装置が得られる。

本発明の第 3 7 の態様によれば、態様 3 6 において、入力した放送映像音声のうち全部または一部、または、第 2 または第 3 のファイルに記録された放送映像音声のうち全部または一部からコピーまたは移動したものを、同じ符号化フォーマットを持つ動画、同じ符号化フォーマットを持つ音声、同じ符号化フォーマットを持つ静止画、同じ符号化フォーマットを持つアニメーション、同じ符号化フォーマットを持つ文字データ、同じ符号化フォーマットを持つゲームデータ、同

じ符号化フォーマットを持つ電子プログラムガイドデータ、同じ符号化フォーマットを持つグラフィックデータ、同じ符号化フォーマットを持つ立体映像データ同士組み合わせ、それぞれ個別に記録するファイルを含み、管理データにより、各ファイルに記録された放送映像音声データの内容を示すことを特徴とする放送映像音声データ記録装置が得られる。

本発明の第 38 の態様によれば、態様 33 に記載された放送映像音声データ記録装置に記録されたデータを前記第 1 のファイルの管理データを参照して再生する手段を備えていることを特徴とする放送映像音声データ再生装置が得られる。

本発明の第 39 の態様によれば、前記付属ファイル中のデータには、動画、音声、静止画、アニメーション、文字データ、ゲームデータ、電子プログラムガイドデータ、グラフィックデータ、または立体映像データそれぞれに対して、当該データのヘッダー情報が付加されていることを特徴とする態様 33 記載の放送映像音声データ記録装置が得られる。

本発明の第 40 の態様によれば、前記付属ファイル中のデータには、同じフォーマットの動画、同じフォーマットの音声、同じフォーマットの静止画、同じフォーマットのアニメーション、同じフォーマットの文字データ、同じフォーマットのゲームデータ、同じフォーマットの電子プログラムガイドデータ、同じフォーマットのグラフィックデータ、または同じフォーマットの立体映像データそれぞれをまとめ、まとめられたデータに対して、当該データのヘッダー情報が付加されていることを特徴とする態様 33 記載の放送映像音声データ記録装置が得られる。

本発明の第 41 の態様によれば、ヘッダー情報が、

データ放送なしデジタル通常放送、番組連動型データ放送付デジタル通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、文字放送、アナログ放送、または放送外関連情報がそれぞれ記録されているか否かを示すフラグ、

記録されている放送データないし放送外関連情報のうち、直接記録または他のファイルからコピーまたは移動されたデータが、直接記録かコピーか移動かの別を示すフラグ、

コピーまたは移動のときソースが存在するかどうかを示すフラグ、

ソースが存在するときファイル名、ソースストリーム名、ソースストリームナンバー、

コピーまたは移動、かつソースが分かっているときソースデータと記録データに関して、その他のとき記録データに関して、それぞれ、データが動画／音声／静止画／アニメーション／文字データ／ゲームデータ／電子プログラムガイドデータ／グラフィックデータ／立体映像データの別を示すフラグ、

動画の場合動画データ圧縮方式、音声の場合音声データ圧縮方式、静止画の場合静止画データ圧縮方式、アニメーションの場合アニメーションデータ圧縮方式、文字データの場合文字データ圧縮表示方式、ゲームデータの場合ゲームデータ方式、電子プログラムガイドデータの場合電子プログラムガイド方式、グラフィックデータの場合グラフィックデータ方式、立体映像データの場合立体映像データ方式、およびストリーム形式、放送外関連情報が通常インターネットデータかストリーミングデータかその他のデータかを示すフラグ、

ジャンル、コンテンツ情報、サムネイル情報、レジュームマーカー情報、プロテクト情報、仮消去情報、ブックマーク情報、プレイリスト情報、静止画再生時間情報、同期オーディオ情報、オーディオアフレコ情報、

ヘッダー長、データ長の少なくとも一部を含んでいることを特徴とする態様 3
3 記載の放送映像音声データ記録装置が得られる。

本発明の第 4 2 の態様によれば、ヘッダー情報に、

データ放送の伝送方式としてデータカルーセルモードか／イベントメッセージ伝送モードか／両者を含むモードかを示すフラグ、データカルーセル放送の場合放送された全データを記録するモードか／更新データのみ記録するモードかを示すフラグ、ニュース・天気予報・株式情報など更新可能なデータ放送において新しいデータによる古いデータ自動更新を OFF とするか ON とするかを示すフラグ、最新データ更新開始時刻／終了時刻、タイムマップが存在するかしないかを示すフラグ、通常放送ストリームか蓄積型放送ストリームかを示すフラグ、のうち全部、または一部が追加されることを特徴とする、態様 4 1 の放送映像音声データ記録装置が得られる。

本発明の第 4 3 の態様によれば、動画データ圧縮方式として MPEG ビデオか

H. 264 ビデオか Windows（登録商標）Media ビデオかの種別、音声データ圧縮方式として MPEG オーディオか Dolby オーディオか DTS オーディオかの種別、静止画データ圧縮方式として JPEG か PNG かの種別、を示すことを特徴とする、態様 4 1 の放送映像音声データ記録装置が得られる。

本発明の第 4 4 の態様によれば、前記付属ファイルにおいて、そのファイルに記録されている動画／音声／静止画／アニメーション／文字データ／ゲームデータ／電子プログラムガイドデータ／グラフィックデータ／立体映像データ全体のヘッダー情報をまとめてトータルヘッダー情報として記録することを特徴とする態様 3 3 の放送映像音声データ記録装置が得られる。

本発明の第 4 5 の態様によれば、トータルヘッダー情報が、態様 4 1 に示すヘッダー情報のうち全部、または一部を持つことを特徴とする態様 4 4 記載の放送映像音声データ記録装置が得られる。

本発明の第 4 6 の態様によれば、態様 3 3 に記載された放送映像音声データ記録装置を用いて記録されたデータ記録媒体が得られる。

本発明の第 4 7 の態様によれば、入力された放送映像音声データを編集することによって得られた編集済データを前記放送映像音声データとは異なるファイルに格納する放送映像音声データの記録方法において、前記編集済データのファイルには、当該編集済データに関するヘッダー情報が当該編集済データと共に格納されることを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 4 8 の態様によれば、態様 4 7 において、動画、音声、静止画、アニメーション、文字データ、ゲームデータ、電子プログラムガイドデータ、グラフィックデータ、及び、立体映像データの少なくとも一つのデータのヘッダー情報であることを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 4 9 の態様によれば、態様 4 7 において、同じフォーマットの動画、同じフォーマットの音声、同じフォーマットの静止画、同じフォーマットのアニメーション、同じフォーマットの文字データ、同じフォーマットのゲームデータ、同じフォーマットの電子プログラムガイドデータ、同じフォーマットのグラフィックデータ、または同じフォーマットの立体映像データそれぞれをまとめ、まとめられたデータに対して割り当てられた、当該データをあらわすヘッダー情報で

あることを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第50の態様によれば、態様47において、前期ヘッダー情報は、データ放送なしデジタル通常放送、番組連動型データ放送付デジタル通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、文字放送、アナログ放送、または放送外関連情報がそれぞれ記録されているか否かを示すフラグ、

記録されている放送データないし放送外関連情報のうち、直接記録または他のファイルからコピーまたは移動されたデータが、直接記録かコピーか移動かの別を示すフラグ、

コピーまたは移動のときソースが存在するかどうかを示すフラグ、

ソースが存在するときファイル名、ソースストリーム名、ソースストリームナンバー、

コピーまたは移動、かつソースが分かっているときソースデータと記録データに関して、その他のとき記録データに関して、それぞれ、データが動画／音声／静止画／アニメーション／文字データ／ゲームデータ／電子プログラムガイドデータ／グラフィックデータ／立体映像データの別を示すフラグ、

動画の場合動画データ圧縮方式、音声の場合音声データ圧縮方式、静止画の場合静止画データ圧縮方式、アニメーションの場合アニメーションデータ圧縮方式、文字データの場合文字データ圧縮表示方式、ゲームデータの場合ゲームデータ方式、電子プログラムガイドデータの場合電子プログラムガイド方式、グラフィックデータの場合グラフィックデータ方式、立体映像データの場合立体映像データ方式、およびストリーム形式、放送外関連情報が通常インターネットデータかストリーミングデータかその他のデータかを示すフラグ、

ジャンル、コンテンツ情報、サムネイル情報、レジュームマーカー情報、プロテクト情報、仮消去情報、ブックマーク情報、プレイリスト情報、静止画再生時間情報、同期オーディオ情報、オーディオアフレコ情報、

ヘッダー長、データ長、の少なくとも一部を含んでいることを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第51の態様によれば、態様50において、ヘッダー情報に、

データ放送の伝送方式としてデータカルーセルモードか／イベントメッセージ

伝送モードか／両者を含むモードかを示すフラグ、データカルーセル放送の場合放送された全データを記録するモードか／更新データのみ記録するモードかを示すフラグ、ニュース・天気予報・株式情報など更新可能なデータ放送において新しいデータによる古いデータ自動更新を OFF とするか ON とするかを示すフラグ、最新データ更新開始時刻／終了時刻、タイムマップが存在するかしないかを示すフラグ、通常放送ストリームか蓄積型放送ストリームかを示すフラグ、のうち全部、または一部が追加されることを特徴とする放送映像音声記録方法が得られる。

本発明の第 5 2 の態様によれば、入力された放送映像音声データを、当該放送映像音声データを再生する再生装置で再生可能なフォーマットに変換し、当該変換した状態で記録することを特徴とする放送映像音声データ記録方法が得られる。

本発明の第 5 3 の態様によれば、態様 4 7 の放送映像音声記録方法によって記録されたデータを記録したデータ記録媒体が得られる。

本発明の第 5 4 の態様によれば、態様 4 7 の放送映像音声記録方法によって記録を行うことを特徴とするデータ記録装置が得られる。

本発明の第 5 5 の態様によれば、態様 4 7 の放送映像音声記録方法によって記録されたデータを再生するデータ再生装置が得られる。

図面の簡単な説明

図 1 は本発明によりデータ放送記録を実現するデータ記録再生装置の全体構成を示すブロック図である。

図 2 は本発明にしたがって、データ放送、オーディオ放送、インターネット付加情報を再生出力する部分を具体的に示すブロック図である。

図 3 は本発明の一実施例に係る記録方法を説明するためのブロック図であり、ここでは、管理データを第 1 のファイル、タイムマップデータを他のファイル、デジタル放送を第 2 のファイル、アナログ放送の映像音声データを第 3 のファイル、第 2、第 3 のファイルに記録された放送映像音声データのうち一部を第 4 のファイルにコピーする例を示している。

図 4 は本発明の他の実施例に係る記録方法を説明するための図であり、ここでは、管理データを第 1 のファイル、タイムマップデータを他のファイル、デジタ

ル放送を第2のファイル、アナログ放送の映像音声データを第3のファイル、第2、第3のファイルに記録された放送映像音声データのうち一部を第4以降の同じ種類のファイルにコピーする例を示している。

図5は本発明の更に別の実施例に係る記録方法を説明するための図であり、ここでは、管理データを第1のファイル、タイムマップデータを他のファイル、デジタル通常放送と連動型データ放送付通常放送と独立型データ放送とオーディオ放送を第2のファイル、アナログ放送の映像音声データを第3のファイルに記録した後、独立型データ放送のうちの一部とアナログ放送の映像音声データのうちの一部を第4のファイルにコピーする例を示している。

図6は本発明の他の実施例に係る記録方法を説明するための図であり、ここでは、管理データを第1のファイル、タイムマップデータを他のファイル、デジタル通常放送と連動型データ放送付通常放送と独立型データ放送とオーディオ放送を第2のファイル、アナログ放送の映像音声データを第3のファイルに記録した後、連動型データ放送のうちの一部とアナログ放送の映像音声データのうちの一部をそれぞれ第4以降の同じ種類のファイルにコピーする例を示している。

図7は本発明の更に別の実施例に係る記録方法を説明するための図であり、ここでは、管理データを第1のファイル、タイムマップデータを他のファイル、デジタル通常放送と連動型データ放送付通常放送を第2のファイル、アナログ放送の映像音声データを第3のファイル、独立型データ放送とオーディオ放送を第4のファイルに記録した後、連動型データ放送のうちの一部とアナログ放送の映像音声データのうちの一部を第4のファイルにコピーする例を示している。

図8は本発明の他の実施例に係る記録方法を説明するための図であり、ここでは、管理データを第1のファイル、タイムマップデータを他のファイル、デジタル通常放送と連動型データ放送付通常放送を第2のファイル、アナログ放送の映像音声データを第3のファイル、独立型データ放送とオーディオ放送を第4のファイルに記録した後、連動型データ放送のうちの一部とアナログ放送の映像音声データのうちの一部と独立型データ放送のうちの一部をそれぞれ第5以降の同じ種類のファイルにコピーする例を示している。

図9はデジタル放送を第2のファイル、フォーマット変換したデジタル放送ま

たはアナログ放送を第3のファイルに記録する例を示している図である。

図10はデジタル放送またはフォーマット変換したアナログ放送または第3のファイルを第2のファイル、アナログ放送またはフォーマット変換したデジタル放送または第2のファイルを第3のファイルに記録する例を示している図である。

図11は第2、第3、第4のファイル間で、フォーマット変換しながらデータをコピーまたは移動する例を示している図である。

図12は本発明の更に他の実施例に係る記録方法を説明するための図であり、ここでは、管理データを第1のファイル、タイムマップデータを他のファイル、デジタル通常放送と連動型データ放送付通常放送と独立型データ放送とオーディオ放送を第2のファイル、アナログ放送の映像音声データを第3のファイル、放送に関連するインターネット関連情報を第4のファイルに記録する例を示している。

図13は本発明の他の実施例に係る記録方法を説明するための図であり、ここでは、管理データを第1のファイル、タイムマップデータを他のファイル、デジタル通常放送と連動型データ放送付通常放送と独立型データ放送とオーディオ放送を第2のファイル、アナログ放送の映像音声データを第3のファイル、放送に関連するインターネット関連情報を第4のファイルに記録した後、第2／第3のファイルの一部を第4のファイルにコピーする例を示している。

図14は本発明の更に他の実施例に係る記録方法を説明するための図であり、ここでは、管理データを第1のファイル、タイムマップデータを他のファイル、デジタル通常放送と連動型データ放送付通常放送を第2のファイル、アナログ放送の映像音声データを第3のファイル、独立型データ放送とオーディオ放送を第4のファイル、放送に関連するインターネット関連情報を第5のファイルに記録した後、第2／第3／第4のファイルの一部を第5のファイルにコピーする例を示している。

図15は本発明で使用するDVD_HDVRファイルの構成例の一部を示す図である。

図16は本発明で使用するDVD_HDVRファイルの構成例の他の部分を示す図である。

図 1 7 は本発明で使用する DVD__HDVR ファイルの構成例の更に他の部分を示す図である。

図 1 8 は本発明で使用する DVD__HDVR ファイルの構成例の更に他の部分を示す図である。

図 1 9 は本発明で使用する DVD__HDVR ファイルの構成例の更に他の部分を示す図である。

図 2 0 は本発明で使用する DVD__HDVR ファイルの構成例の更に他の部分を示す図である。

図 2 1 は本発明で使用する DVD__HDVR ファイルの構成例の更に他の部分を示す図である。

図 2 2 は本発明で使用する DVD__HDVR ファイルの構成例の更に他の部分を示す図である。

図 2 3 は本発明で使用する DVD__HDVR ファイルの構成例の更に他の部分を示す図である。

図 2 4 はヘッダー情報、トータルヘッダー情報を持つ HR_EXTBC.DAT ファイルの例を示す図である。

発明を実施するための最良の形態

図 1 ～図 2 3、図 2 4 を参照して、本発明に係る実施例を説明する。

図 1 を参照すると、本発明により放送映像音声データ記録を実現する放送映像音声データ記録・再生装置が示されている。なお、装置内の各ブロックは、主にソフトウェアを用いて実現される場合を例示的に示しているが、ハードウェアによって実現されても良い。

図 1 では、デジタル通常放送、データ放送、オーディオ放送、文字放送、アナログ放送、インターネット付加情報を、HDD または DVD ビデオレコーダに記録する例を示す。

101 からデジタル通常放送波が入力する。ここで、デジタル通常放送波は連動型データ放送なし通常放送、または連動型データ放送つき通常放送、または独立型データ放送、またはオーディオ放送、または文字放送のうち全部、または一

部を含んでいる。これらは、すべてTS (Transport Stream) である。

一方、102からアナログ放送波が入力する。アナログ放送波は通常放送とし、チューナー／エンコーダ106に与えられる。チューナー／エンコーダ106によりアナログ放送は復調、エンコードされ、PS (Program Stream) として出力される。

さらに、103から放送外関連情報の一例としてインターネット付加情報が入力する。ここで、インターネット付加情報は、放送に関連するインターネット情報、番組付加情報、ディレクターズカット情報、ディレクターズコメント情報、Eコマース情報、チャット情報、予告情報などから構成される。これらは、基本的にはTSでないが、TSでも同様である。

また、制御信号104も入力される。制御信号104は、デジタル通常放送、データ放送、オーディオ放送、文字放送、アナログ放送、インターネット付加情報などのうち、記録する情報の種類と記録方法を指定する信号であり、当該制御信号104はユーザによって与えられるユーザオペレーション信号である。なお、上記したデジタル放送波、アナログ放送波、インターネット付加情報、および、制御信号104は同時的に入力されても良いし、個別に入力されても良い。

デジタル通常放送入力101は、チューナー105により復調され、通常放送選択108により連動型データ放送なし通常放送、または連動型データ放送選択109により連動型データ放送つき通常放送、または独立型データ放送選択110により独立型データ放送、またはオーディオ放送選択111によりオーディオ放送、または文字放送選択112により文字放送が選択されて、選択統合115へ出力される。

アナログ放送入力102は、チューナー・エンコーダ106により復調、およびMPEGエンコードされて、選択統合115へ出力される。

インターネット入力103は、インターネット入力107で必要な情報が復号され、インターネット付加情報選択114によりインターネット付加情報が選択されて、選択統合115へ出力される。

統合選択115は、108、109、110、111、112、113または114のうち、記録すべきデータを1以上選択、統合して記録フォーマット化1

1 6 へ出力する。

記録フォーマット化 1 1 6 は、選択統合 1 1 5 から入力した記録データに対し、記録フォーマット化を施し、記録ファイルを指定するとともに、制御信号 1 0 4 に基づいて、記録されるデータ種別に応じた管理データを発生し、専用の管理データファイルまたはタイムマップデータファイルとして HDD 1 1 7 および DVD 1 1 8 へ記録する。記録ファイル構造に関しては、後ほど詳しく述べる。即ち、この実施例では、ユーザオペレーション信号である制御信号に対応した管理データが HDD 1 1 7 または DVD 1 1 8 に記録されることになる。

HDD 1 1 7、DVD 1 1 8 はそれぞれハードディスク、光ディスク記録媒体を示す。

データコピー・移動 1 2 0 は、HDD 1 1 7、または DVD 1 1 8 に記録されたデジタル放送データ、データ放送、オーディオ放送、文字放送、アナログ放送データまたはインターネット付加情報のデータを他のファイル、または他のグループにコピー、または移動するブロックである。データコピー・移動の内容、手順に関しては、後ほど詳しく述べる。

制御入力 1 0 4 は、記録データ・記録ファイル決定、管理データ発生、データコピー・移動制御 1 1 9 により、選択統合 1 1 5 においてどのデータが選択・統合されるのか、記録フォーマット化 1 1 6 においてどのようなフォーマットに変換するか指定するとともに、記録フォーマット、記録ファイルを指定し、選択統合化されたデータの管理データを発生し、専用の管理データファイルまたはタイムマップデータファイルとして HDD 1 1 7 および DVD 1 1 8 へ記録する。記録ファイル構造に関しては、後ほど詳しく述べる。同時に、データコピー・移動、フォーマット変換 1 2 0 に対して、データコピー・移動方法と内容、フォーマット変換を指定する。

フォーマット変換の内容、手順に関しては、後ほど詳しく述べる。

HDD 1 1 7 および DVD 1 1 8 に記録されたデータは、両者間でダビングが行われるとともに、1 2 1 から再生される。再生は図示したように HDD は再生 1、DVD は再生 2 として再生してもよく、図示していないが再生 1 と再生 2 を選択するセレクタを経由した後、1 系統として再生してもいい。ここで、制御入

力104を受けて、HDD117、DVD118にデータを記録し、且つ、当該HDD117、DVD118に記録されたデータを再生する制御部119はデータ記録手段及びデータ再生手段として動作する。

図2に、デジタル通常放送、データ放送、オーディオ放送、文字放送、アナログ放送、インターネット付加情報を再生出力するブロック図を示す。

HDD117、DVD118から再生された信号は、選択201により選択された後、再生フォーマット解読203に入力する。

また、同時に制御信号202がユーザの操作により入力される。制御信号202は、管理データ解読、再生方法決定するための制御入力である。

再生フォーマット解読203は、201から入力した信号のフォーマットを解読し、例えばMPEG動画であれば動画デコード204、MPEG-2 AACオーディオであれば音声デコード205、JPEG静止画であれば静止画デコード206、MNGアニメーションであればアニメーションデコード207、文字であれば文字デコード208、ゲームデータであればゲームデータデコード209、電子プログラムデータであれば電子プログラムデータデコード210、グラフィックデータであればグラフィックデコード211、立体映像データであれば立体映像デコード212に出力する。

再生フォーマット解読203による出力信号は、動画デコード204、音声デコード205、静止画デコード206、アニメーションデコード207、文字デコード208、ゲームデータデコード209、電子プログラムガイドデータデコード210、グラフィックデコード211、立体映像デコード212において、それぞれのフォーマットに応じてデコードが行われ、再生映像再構成213へ出力される。

再生映像再構成213において、各フォーマットに従ってデコードされた映像、音声、データから、オーバーレイなどにより再生映像信号が再構成され、D/A214において、デジタル/アナログ変換が行われる。

また、管理データ解読、再生方法決定215は、再生フォーマット解読203に対して再生データ指定、再生フォーマット解読制御を行い、再生映像再構成213に対してオーバーレイなどの再生映像再構成制御を行う。

D/A 2 1 4 から、2 1 6 により映像、音声、データが外部出力される。

図 3 を参照して、本発明に係るデータ放送記録方法を説明する。本発明に係る記録方法では、管理データを第 1 のファイルに記録し、デジタル通常放送とデータ放送を同じ第 2 のファイルに記録し、アナログ放送を第 3 のファイルに記録する。この記録方法では、管理データに従って放送データ等の処理が行われ、その結果、放送データ等の保存、編集等が容易になる。

ここで、デジタル放送中のデータ放送には、番組連動型データ放送と独立型データ放送がある。

番組連動型データ放送は、いわゆるテレビ放送と連動したデータ放送のことである。例えば、ワールドカップサッカー番組における選手紹介、高校野球甲子園大会の放送におけるチーム紹介、選手紹介、ファンからの応援メッセージ、試合結果などが、これに相当する。

独立型データ放送は、テレビ番組から離れて、写真や文字情報などのデータだけを独立で放送するデータ放送のことである。テレビ番組とは無関係に放送されるニュース、天気予報、株価、星占いなどが、これに相当する。

また、データ放送の 1 つの形態としてオーディオ放送がある。オーディオ放送は、オーディオのみを単独で放送するものである。

さらに、データ放送の他の形態として文字放送がある。文字放送は、文字データを単独で放送するものである。

図 3 には、管理データを第 1 のファイルに記録し、タイムマップデータを他のファイルに記録し、デジタル放送データを第 2 のファイルに記録し、アナログ放送データを第 3 のファイルに記録した後、デジタル放送データ、アナログ放送データのうちの一部を第 4 のファイルにコピーする例が示されている。

図 3 では、3 0 1 が第 1 のファイル、3 0 2 が他のファイル、3 0 3 が第 2 のファイル、3 0 4 が第 3 のファイル、3 0 5 が第 4 のファイルである。

第 1 のファイル 3 0 1 には、管理データ 3 0 6 (HR_MANGR. IFO) が含まれている。管理データ 3 0 6 に関しては、後ほど詳しく説明する。

他のファイル 3 0 2 には、タイムマップデータ 3 0 7 (HR_STMAP. IFO、HR_VTMAP. IFO) が含まれている。タイムマップデータ 3 0 7 は、3 0 8 を初めと

する第2のファイル303、309を初めとする第3のファイル304の時刻と記録位置の関係を示すマップである。また、図3では、306が301に含まれ、307が302に含まれるとしているが、306と307が両方とも第1のファイル301に含まれるとしても良い。その場合、他のファイル302は存在しなくなる。

第2のファイル303 (HR_STRMX.SR0) には、デジタル放送データ308が含まれている。デジタル放送データ308には、デジタル通常放送に加え、番組連動型データ放送付通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送、文字放送などが含まれている。

第3のファイル304 (HR_MOVIE.VR0) には、アナログ放送データとしての映像音声309が含まれている。

第4のファイル305 (HR_EXTBC.DAT) は、MPEG映像データ310、MPEG音声データ311、JPEGデータ312、PNGデータ313、MNGデータ314、BMLデータ315、ゲームデータ316、電子プログラムガイドデータ317から構成される。なお、第4のファイル305には、グラフィック、立体映像など、前記以外の方式の映像、音声、データが存在してもいい。また、MPEGデータ310、311は、第2、第3のファイルとは異なったストリームであるESまたはPESとすることによりメリット大となる。

図3では、第2のファイル303に記録されたデジタル放送308のデータから、318により、MPEG映像データ310、MPEG音声データ311、JPEGデータ312、PNGデータ313、MNGデータ314、BMLデータ315、ゲームデータ316、電子プログラムガイドデータ317にデータをコピーし、第3のファイル304に記録されたアナログ放送の映像音声データ309から、318により、MPEG映像データ310、MPEG音声データ311にデータをコピーする例を示した。

第4のファイル305のデータは、他の用途に利用したり、動画／音声／静止画アルバムとして保存したり、あるいは単独で編集、削除、加工、特殊再生などを行うことが可能である。

また、動画を取り出してMPEGデータとして記録する、お気に入りの歌手の

歌声データのみ取り出してD o l b y A C - 3データとして記録する、好きなキャラクタのみ取り出してアニメーションMNGデータとして記録するなどが可能である。

ここでは、例としてデータの一部を取り出すとしたが、データの全部でもよく、「コピー」ではなくて第2または第3のファイルからもとのデータを削除する「移動」でもいい。また、放送と同時に、データの全部、または一部を第4のファイルに直接記録してもいい。このようなコピーおよび移動は、ユーザの操作に基づいて発生される制御信号に従って、第1のファイル301内の管理データを参照することによって行われる。この構成によれば、データ放送を第4のファイル内のデータを参照することによって管理できるという利点がある。

また、例として第2、第3のファイルから第4のファイルにデータをコピー、移動する例を示したが、第2、第3のファイル同士で、または第4のファイルから第2または第3のファイルにデータをコピー、移動してもいい。その場合、フォーマットはコピー、移動先のものに合わせるものとする。

図4に、管理データを第1のファイルに記録し、タイムマップデータを他のファイルに記録し、デジタル放送データを第2のファイルに記録し、アナログ放送データを第3のファイルに記録した後、デジタル放送データ、アナログ放送データのうちの一部を、同じ符号化フォーマットを持つ動画、同じ符号化フォーマットを持つ音声、同じ符号化フォーマットを持つ静止画、同じ符号化フォーマットを持つアニメーション、同じ符号化フォーマットを持つ文字データ、同じ符号化フォーマットを持つゲームデータ、同じ符号化フォーマットを持つ電子プログラムガイドデータ同士合わせて、それぞれ第4以降の同じファイルにコピーする例を示す。

図4では、401が第1のファイル、402が他のファイル、403が第2のファイル、404が第3のファイル、405が第4のファイル、406が第5のファイル、407が第6のファイル、408が第7のファイル、409が第8のファイル、410が第9のファイル、411が第10のファイル、412が第11のファイルである。

第1のファイル401には、管理データ413が含まれている。管理データ4

13 に関しては、後ほど詳しく説明する。

他のファイル402には、タイムマップデータ414が含まれている。402、414の関係は、図3と同様である。

第2のファイル403には、デジタル放送データ415が含まれている。デジタル放送データ415には、デジタル通常放送に加え、番組連動型データ放送付通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送、文字放送などが含まれている。

第3のファイル404には、アナログ放送データとしての映像音声416が含まれている。

第4のファイルはMPEG映像ファイル405、第5のファイルはMPEG音声ファイル406、第6のファイルはJPEGファイル407、第7のファイルはPNGファイル408、第8のファイルはMNGファイル409、第9のファイルはBMLファイル410、第10のファイルはゲームデータファイル411、第11のファイルは電子プログラムガイドデータファイル412である。なお、405～412には、グラフィック、立体映像など、前記以外の方式の映像、音声、データが存在してもいい。また、MPEGデータ405、406は、第2、第3のファイルとは異なったストリームであるESまたはPESとすることによりメリット大となる。

図4では、第2のファイル403に記録されたデジタル放送415のデータから、417により、MPEG映像ファイル405、MPEG音声ファイル406、JPEGファイル407、PNGファイル408、MNGファイル409、BMLファイル410、ゲームデータファイル411、電子プログラムガイドデータファイル412にデータをコピーし、第3のファイル404に記録されたアナログ放送の映像音声データ416から、417により、MPEG映像ファイル405、MPEG音声ファイル406にデータをコピーする例を示した。

第4のファイル405～第11のファイル412のデータは、他の用途に利用したり、動画／音声／静止画アルバムとして保存したり、あるいは単独で編集、削除、加工、特殊再生などを行うことが可能である。

また、動画を取り出してMPEGファイルとして記録する、お気に入りの歌手の歌声データのみ取り出してDolby AC-3ファイルとして記録する、好

きなキャラクタのみ取り出してアニメーションMNGファイルとして記録するなどが可能である。

ここでは、例としてデータの一部を取り出すとしたが、データの全部でもよく、「コピー」ではなくて第2または第3のファイルからもとのデータを削除する「移動」でもいい。また、放送と同時に、データの全部、または一部を第4～第11のファイルに直接記録してもいい。この構成によれば、個別のデータを含むファイルを個々に参照することによって、所望のデータ処理を行うことができるという利点がある。

また、例として第2、第3のファイルから第4～第11のファイルにデータをコピー、移動する例を示したが、第2、第3のファイル同士で、または第4～第11のファイルから第2または第3のファイルにデータをコピー、移動してもいい。その場合、フォーマットはコピー、移動先のものに合わせるものとする。

図5に、管理データを第1のファイルに記録し、タイムマップデータを他のファイルに記録し、デジタル通常放送、連動型データ放送付通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送データを第2のファイルに記録し、アナログ放送データを第3のファイルに記録した後、デジタル放送データ、アナログ放送データのうちの一部を第4のファイルにコピーする例を示す。

図5では、501が第1のファイル、502が他のファイル、503が第2のファイル、504が第3のファイル、505が第4のファイルである。

第1のファイル501には、管理データ505が含まれている。管理データ506に関しては、後ほど詳しく説明する。

他のファイル502には、タイムマップデータ507が含まれている。502、507の関係は、図3と同様である。

第2のファイル503には、デジタル通常放送508、番組連動型データ放送付通常放送509、独立型データ放送510、オーディオ放送511が含まれている。

第3のファイル504には、アナログ放送としての映像音声512が含まれている。

図5に示されているように、第4のファイル505は、MPEG映像データ5

13、MPEG音声データ514、JPEGデータ515、PNGデータ516、MNGデータ517、BMLデータ518、ゲームデータ519、電子プログラムガイドデータ520から構成される。なお、第4のファイル505には、グラフィック、立体映像など、前記以外の方式の映像、音声、データが存在してもいい。また、MPEGデータ513、514は、第2、第3のファイルとは異なったストリームであるESまたはPESとすることによりメリット大となる。

ここで、第2のファイル503に記録された独立型データ放送510のうちスポーツニュースのサッカーゴール瞬間シーンのみ取り出して、第4のファイル505に対して521により、MPEG音声データとしてMPEG音声データ514に、JPEGデータとしてJPEGデータ515に、ゲームで使うためのデータとしてゲームデータ519にデータをコピーしている。

また、第3のファイル504に記録されたアナログ放送としての映像音声512から、同様にサッカーゴール瞬間シーンのみ取り出して、第4のファイル505に対して521により、MPEG動画データとしてMPEG動画データ513に、MPEG音声データとしてMPEG音声データ514にデータをコピーしている。

これらの「サッカーゴールシーン」データは、他の用途に利用したり、動画アルバム、静止画アルバムとして保存したり、あるいは単独で編集、削除、加工、特殊再生などを行うことが可能である。

ここでは、例としてデータの一部を取り出すとしたが、データの全部でもよく、「コピー」ではなくて第2または第3のファイルからもとのデータを削除する「移動」でもいい。また、放送と同時に、データの全部、または一部を第4のファイルに直接記録してもいい。

また、例として第2、第3のファイルから第4のファイルにデータをコピー、移動する例を示したが、第2、第3のファイル同士で、または第4のファイルから第2または第3のファイルにデータをコピー、移動してもいい。その場合、フォーマットはコピー、移動先のものに合わせるものとする。

図6に、管理データを第1のファイルに記録し、タイムマップデータを他のファイルに記録し、デジタル通常放送、番組連動型データ放送付通常放送、独立型

データ放送、オーディオ放送データを第2のファイルに記録し、アナログ放送データを第3のファイルに記録した後、デジタル放送データ、アナログ放送データのうちの一部を、同じ符号化フォーマットを持つ動画、同じ符号化フォーマットを持つ音声、同じ符号化フォーマットを持つ静止画、同じ符号化フォーマットを持つアニメーション、同じ符号化フォーマットを持つ文字データ、同じ符号化フォーマットを持つゲームデータ、同じ符号化フォーマットを持つ電子プログラムガイドデータ同士合わせて、それぞれ第4以降の同じファイルにコピーする例を示す。

図6では、601が第1のファイル、602が他のファイル、603が第2のファイル、604が第3のファイル、605が第4のファイル、606が第5のファイル、607が第6のファイル、608が第7のファイル、609が第8のファイル、610が第9のファイル、611が第10のファイル、612が第11のファイルである。

第1のファイル601には、管理データ613が含まれている。管理データ613に関しては、後ほど詳しく説明する。

他のファイル602には、タイムマップデータ614が含まれている。602、614の関係は、図3と同様である。

第2のファイル603には、デジタル通常放送615、番組連動型データ放送付通常放送616、独立型データ放送617、独立オーディオ放送618が含まれている。

第3のファイル604には、アナログ放送としての映像音声619が含まれている。

第4のファイルはMPEG映像ファイル605、第5のファイルはMPEG音声ファイル606、第6のファイルはJPEGファイル607、第7のファイルはPNGファイル608、第8のファイルはMNGファイル609、第9のファイルはBMLファイル610、第10のファイルはゲームデータファイル611、第11のファイルは電子プログラムガイドデータファイル612である。なお、第4のファイル605～第11のファイル612には、グラフィック、立体映像など、前記以外の方式の映像、音声、データが存在してもいい。また、MPEG

データ605、606は、第2、第3のファイルとは異なったストリームであるESまたはPESとすることによりメリット大となる。

ここで、第2のファイル603に記録された番組連動型データ放送616としての歌番組「〇〇歌合戦」のうち、歌手（動画）620、歌（音声）621、衣装（静止画）622、歌手を示すキャラクタアニメーション623、歌手のプロフィールの文字データ624を取り出して、MPEGデータとして第4のMPEGデータファイル605、MPEG AACオーディオデータとして第5のMPEG AACオーディオデータファイル606、JPEGデータとして第6のJPEGデータファイル607、アニメーションデータとして第8のMNGデータファイル609、文字データとして第9のBMLデータファイル610にコピーしている。

また、第3のファイル604に記録されたアナログ放送としての映像音声619から、歌手（動画）625、歌（音声）626を取り出して、MPEGデータとして第4のMPEGデータファイル605、MPEG AACオーディオデータとして第5のMPEG AACオーディオデータファイル606にコピーしている。

これらのデータファイル605～612は、他の用途に利用したり、動画／静止画／音声／アニメーション／文字データ／ゲームデータ／電子プログラムガイドデータアルバムとして保存したり、あるいは単独で編集、削除、加工、特殊再生などを行うことが可能である。

ここでは、例としてデータの一部を取り出すとしたが、データの全部でもよく、「コピー」ではなくて第2または第3のファイルからもとのデータを削除する「移動」でもいい。また、放送と同時に、データの全部、または一部を第4～第11のファイルに直接記録してもいい。

また、例として第2、第3のファイルから第4～第11のファイルにデータをコピー、移動する例を示したが、第2、第3のファイル同士で、または第4～第11のファイルから第2または第3のファイルにデータをコピー、移動してもいい。その場合、フォーマットはコピー、移動先のものに合わせるものとする。

図7に、管理データを第1のファイルに記録し、タイムマップデータを他のフ

ファイルに記録し、デジタル通常放送、連動型データ放送付通常放送データを第2のファイルに記録し、アナログ放送データを第3のファイルに記録し、独立型データ放送、オーディオ放送データを第4のファイルに記録した後、デジタル放送データ、アナログ放送データのうちの一部を第4のファイルにコピーする例を示す。

図7では、701が第1のファイル、702が他のファイル、703が第2のファイル、704が第3のファイル、705が第4のファイルである。

第1のファイル701には、管理データ706が含まれている。管理データ706に関しては、後ほど詳しく説明する。

他のファイル702には、タイムマップデータ707が含まれている。702、707の関係は、図3と同様である。

第2のファイル703には、デジタル通常放送708、番組連動型データ放送付通常放送709が含まれている。

第3のファイル704には、アナログ放送としての映像音声712が含まれている。

図7に示されているように、第4のファイル705は、独立型データ放送710、オーディオ放送711、MPEG映像データ713、MPEG音声データ714、JPEGデータ715、PNGデータ716、MNGデータ717、BMLデータ718、ゲームデータ719、電子プログラムガイドデータ720から構成される。なお、第4のファイル705には、グラフィック、立体映像など、前記以外の方式の映像、音声、データが存在してもいい。また、MPEGデータ713、714は、第2、第3のファイルとは異なったストリームであるESまたはPESとすることによりメリット大となる。

ここで、第2のファイル703に記録された番組連動型データ放送付通常放送709のうちスポーツニュースのサッカーゴール瞬間シーンのみ取り出して、第4のファイル705に対して721により、MPEG音声データとしてMPEG音声データ714に、JPEGデータとしてJPEGデータ715に、ゲームで使うためのデータとしてゲームデータ719にデータをコピーしている。

また、第3のファイル704に記録されたアナログ放送としての映像音声71

2 から、同様にサッカーゴール瞬間シーンのみ取り出して、第4のファイル705に対して722により、MPEG動画データとしてMPEG動画データ713に、MPEG音声データとしてMPEG音声データ714にデータをコピーしている。

これらの「サッカーゴールシーン」データは、他の用途に利用したり、動画アルバム、静止画アルバムとして保存したり、あるいは単独で編集、削除、加工、特殊再生などを行うことが可能である。

ここでは、例としてデータの一部を取り出すとしたが、データの全部でもよく、「コピー」ではなくて第2または第3のファイルからもとのデータを削除する「移動」でもいい。また、放送と同時に、データの全部、または一部を第4のファイルに直接記録してもいい。

また、例として第2、第3のファイルから第4のファイルにデータをコピー、移動する例を示したが、第2、第3のファイル同士で、または第4のファイルから第2または第3のファイルにデータをコピー、移動してもいい。その場合、フォーマットはコピー、移動先のものに合わせるものとする。

図8に、管理データを第1のファイルに記録し、タイムマップデータを他のファイルに記録し、デジタル通常放送、番組連動型データ放送付通常放送データを第2のファイルに記録し、アナログ放送データを第3のファイルに記録し、独立型データ放送、オーディオ放送データを第4のファイルに記録した後、デジタル放送データ、アナログ放送データのうちの一部を、同じ符号化フォーマットを持つ動画、同じ符号化フォーマットを持つ音声、同じ符号化フォーマットを持つ静止画、同じ符号化フォーマットを持つアニメーション、同じ符号化フォーマットを持つ文字データ、同じ符号化フォーマットを持つゲームデータ、同じ符号化フォーマットを持つ電子プログラムガイドデータ同士合わせて、それぞれ第5以降の同じファイルにコピーする例を示す。

図8では、801が第1のファイル、802が他のファイル、803が第2のファイル、804が第3のファイル、805が第4のファイル、806が第5のファイル、807が第6のファイル、808が第7のファイル、809が第8のファイル、810が第9のファイル、811が第10のファイル、812が第1

1 のファイル、813 が第12 のファイルである。

第1 のファイル801 には、管理データ814 が含まれている。管理データ814 に関しては、後ほど詳しく説明する。

他のファイル802 には、タイムマップデータ815 が含まれている。802、815 の関係は、図3 と同様である。

第2 のファイル803 には、デジタル通常放送816、番組連動型データ放送付通常放送817 が含まれている。

第3 のファイル804 には、アナログ放送としての映像音声820 が含まれている。

第4 のファイル805 には、独立型データ放送818、独立オーディオ放送819 が含まれている。

第5 のファイルはMPEG映像ファイル806、第6 のファイルはMPEG音声ファイル807、第7 のファイルはJPEGファイル808、第8 のファイルはPNGファイル809、第9 のファイルはMNGファイル810、第10 のファイルはBMLファイル811、第11 のファイルはゲームデータファイル812、第12 のファイルは電子プログラムガイドデータファイル813 である。なお、第5 のファイル806～第12 のファイル813 には、グラフィック、立体映像など、前記以外の方式の映像、音声、データが存在してもいい。また、MPEGデータ806、807 は、第2、第3 のファイルとは異なったストリームであるESまたはPES とすることによりメリット大となる。

ここで、第2 のファイル803 に記録された番組連動型データ放送817 としての歌番組「〇〇歌合戦」のうち、歌手（動画）821、歌（音声）822、衣装（静止画）823 を取り出して、MPEGデータとして第5 のMPEGデータファイル806、MPEG AACオーディオデータとして第6 のMPEG AACオーディオデータファイル807、JPEGデータとして第7 のJPEGデータファイル808 にコピーしている。

また、第3 のファイル804 に記録されたアナログ放送としての映像音声820 から、歌手（動画）826、歌（音声）827 を取り出して、MPEGデータとして第5 のMPEGデータファイル806、MPEG AACオーディオデー

タとして第6のMPEG AACオーディオデータファイル807にコピーしている。

また、第4のファイル805に記録された独立型データ放送818としての歌番組「〇〇歌合戦」のうち、歌手を示すキャラクタアニメーション824、歌手のプロフィールの文字データ825を取り出して、アニメーションデータとして第9のMNGデータファイル810、文字データとして第10のBMLデータファイル811にコピーしている。

これらのデータファイル806～813は、他の用途に利用したり、動画／静止画／音声／アニメーション／文字データ／ゲームデータ／電子プログラムガイドデータアルバムとして保存したり、あるいは単独で編集、削除、加工、特殊再生などを行うことが可能である。

ここでは、例としてデータの一部を取り出すとしたが、データの全部でもよく、「コピー」ではなくて第2または第3のファイルからもとのデータを削除する「移動」でもいい。また、放送と同時に、データの全部、または一部を第5～第12のファイルに直接記録してもいい。

また、例として第2、第3のファイルから第5～第12のファイルにデータをコピー、移動する例を示したが、第4のファイルから第5～第12のファイルに、または第2、第3、第4のファイル同士で、または第5～第11のファイルから第2、第3または第4のファイルにデータをコピー、移動してもいい。その場合、フォーマットはコピー、移動先のものに合わせるものとする。

さて、図3～図8に示す第3のファイル（304、404、504、604、704、804）における映像音声データ（309、416、512、619、712、820）は、アナログ放送を復調し、PSとしてMPEG-2により符号化した、PSストリームであってもいい。

また、図3～図8に示す第3のファイルにおける映像音声データは、デジタル放送を復調し、TSであったものをPSにトランスコード符号化、即ちフォーマット変換したストリームであってもいい。

図9に、第3のファイルにおける映像音声データの記録例を示す。

901からデジタル放送データ、902からアナログ放送データが入力する。

901は、セットトップボックスなどともいわれているデジタル放送チューナー903で復調が行われた後、TSとしてそのまま記録媒体908中の第2のファイル909に記録されると同時に、TS/PS変換905に入力する。ただし、記録に際して必要なオーバーヘッド付加、管理データ追加、記録符号化などは表示を省略した。

TS/PS変換905は入力したTSからPSにフォーマット変換を行い、PSストリームとして選択907に入力する。

一方、902はアナログ放送チューナー904で復調が行われた後、PS符号化906によりPSとしてMPEG-2により符号化され、選択907に入力する。907では、デジタル放送またはアナログ放送のPSストリームのうち一方が選択され、そのストリームが記録媒体908中の第3のファイル910に記録される。

TSは、通信、放送に適した伝送方式であり、編集、特殊再生にはあまり適さないが、デジタル放送データをそのまま簡単に記録可能である。

PSは、デジタル放送ではTSからのフォーマット変換が必要だが、編集、特殊再生に適し、従来DVDプレーヤでの再生も容易である。

このように、TSで放送されたデジタル放送データを、TS/PS選択して、または双方で記録可能とすることにより、単純記録再生のみならずTS記録、編集、特殊再生、他機DVDプレーヤで再生するときはPS記録とすることができ、ユーザー選択の幅が広がるというメリットを持つ。

また、第2のファイルに記録されたTSで表現された放送ストリームを、PSで表現された映像音声ストリームに変換後、コピーまたは移動により第3のファイルに記録し、管理データ内の放送識別フラグにより記録情報を示してもいい。

また、第3のファイルに記録されたTSで表現された映像音声ストリームを、TSで表現された放送ストリームに変換後、コピーまたは移動により第2のファイルに記録し、管理データ内の放送識別フラグにより記録情報を示してもいい。

図10に、第2、第3のファイルにおける放送映像音声データの記録例を示す。

1001からデジタル放送データ、1002からアナログ放送データが入力する。

1001は、セットトップボックスなどともいわれているデジタル放送チューナー1003で復調が行われた後、選択1006または選択1011へ入力する。

一方、1002はアナログ放送チューナー1004で復調が行われた後、PS符号化1005によりPSとしてMPEG-2により符号化され、選択1008または選択1009に入力する。

選択1006は、受信されたデジタル放送または第2のファイル1013から再生されたTSの一方を選択し、TS/PS変換1007に出力する。TS/PS変換1007は、入力したTSをPSストリームに変換し、選択1008に出力する。選択1008は、デジタル放送をPS変換したストリームとアナログ放送をPS符号化したストリームを選択し、PSとして記録媒体1012中の第3のファイル1014に記録する。ただし、記録に際して必要なオーバーヘッド付加、管理データ追加、記録符号化などは表示を省略した。

一方、選択1009は、受信されたアナログ放送または第3のファイル1014から再生されたPSの一方を選択し、PS/TS変換1010に出力する。PS/TS変換1010は、入力したPSをTSストリームに変換し、選択1011に出力する。選択1011は、デジタル放送TSストリームとアナログ放送をTS符号化したストリームを選択し、TSとして記録媒体1012中の第2のファイル1013に記録する。

このように、TSで放送されたデジタル放送データ、PS符号化されたアナログ放送データをそれぞれTS/PS選択して、または双方で記録し、または、一度記録されたTSデータをTS/PS変換後再記録する、またはPSデータをPS/TS変換後再記録することにより、単純記録再生または記録データを伝送するならTS記録とし、編集、特殊再生、他機DVDプレーヤで再生するときはPS記録とすることができ、ユーザー選択の幅が広がるというメリットを持つ。

また、マルチチャンネル記録など、計算時間が間に合わず同時に複数のタイムマップが発生できないとき、とりあえずタイムマップなしで1013にTS記録しておき、後から1013からデータを読み出してタイムマップを発生するとともに、選択1006、TS/PS変換1007、選択1008を経由して、PSとして1014にデータをコピーまたは移動する。これにより、容易にタイムマ

ップによる可変速再生、タイムサーチ、タイトルまたはチャプターサーチを実現することができる。

図11に、記録媒体内の各ファイル間で、データを通信交換する概念図を示す。

1101からデジタル放送データにTSストリーム、1102からアナログ放送データをMPEG符号化したPSストリームが入力する。

一方、記録媒体1103には、第1のファイル1104に管理データ、第2のファイル1105にTS放送ストリームデータ、第3のファイル1106にPS映像音声データ、第4のファイル1107にその他のデータが記録される。

第3のファイル1106には、1102、または第2のファイル1105をTS/PS変換1108により変換したPSストリームがコピー、移動により記録される。

第2のファイル1105には、1101、または第3のファイル1106をPS/TS変換1109により変換したTSストリームがコピー、移動により記録される。

また、第4のファイル1107には、第2のファイル1105または第3のファイル1106から、MPEG、JPEG、PNG、MNG、BML、ゲームデータ、電子プログラムガイドデータとしてデータがコピー、移動される。

さらに、第2のファイル1105または第3のファイル1106には、第4のファイル1107から、MPEG TSまたはMPEG PSとしてデータがコピー、移動される。

そして、これらのコピー、移動データに関する管理データは、第1のファイル1104に一括して記録される。

このように、各ファイル間でデータを自由にコピー、移動可能とすることにより、ユーザーは最適なファイルに最適なフォーマットでデータを保存することができる。

これらのファイル、フォーマット選択は、ユーザーが指定してもよく、自動で行われてもいい。

ところで、ストリーム種別に関しては、TSストリームにPSヘッダーを付加したストリーム、PSストリームにTSヘッダーを付加したストリームにも対応

するものとし、これらはTSストリーム、PSストリームのどちらとしてもいい。

また、TSストリームからPSストリームに変換するとき、PSストリームを世界標準規格とするため、PSストリーム用フォーマットを持つオーディオを追加してもいい。TSストリームとしてMPEG-2 AACオーディオが記録されているとき、PSストリームに変換するときMPEG-2 AACに加え、MPEG-1 レイヤー2オーディオを追加するなどである。この場合、MPEG-1 レイヤー2オーディオは冗長度低減のためビットレートを最低値としてもよく、無音とするなども可能である。PSストリームからTSストリームに変換するときも同様である。

図12に、管理データを第1のファイルに記録し、タイムマップデータを他のファイルに記録し、デジタル通常放送、連動型データ放送付通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送データを第2のファイルに記録し、アナログ放送データを第3のファイルに記録し、放送外関連情報の一例として、放送に関連するインターネット情報、番組付加情報、ディレクターズカット情報、ディレクターズコメント情報、Eコマース情報、チャット情報、予告情報を第4のファイルに記録する例を示す。

ここで、放送外関連情報は、放送に関連する放送以外のデータを示し、インターネット付加情報、インターネット放送情報を代表例とするインターネット情報以外に、電話情報、FAX 情報、他の記録媒体の情報などが考えられるが、その他の情報でもいい。

図12では、1201が第1のファイル、1202が他のファイル、1203が第2のファイル、1204が第3のファイル、1205が第4のファイルである。

第1のファイル1201には、管理データ1206が含まれている。管理データ1206に関しては、後ほど詳しく説明する。

他のファイル1202には、タイムマップデータ1207が含まれている。1202、1207の関係は、図3と同様である。

第2のファイル1203には、デジタル通常放送1208、番組連動型データ放送付通常放送1209、独立型データ放送1210、オーディオ放送1211

が含まれている。

第3のファイル1204には、アナログ放送としての映像音声1212が含まれている。

第4のファイル1205には、放送に関連するインターネット情報1213、番組付加情報1214、ディレクターズカット情報1215、ディレクターズコメント情報1216、Eコマース情報1217、チャット情報1218、予告情報1219から構成される。なお、第4のファイル1205には、その他のインターネットに関連する情報が存在してもいい。

図12では、第1のファイルに管理データが含まれ、第2のファイルに通常放送、番組連動型データ放送が含まれ、第3のファイルにアナログ放送としての映像音声が含まれ、第4のファイルに独立型データ放送、オーディオ放送が含まれ、第5のファイルに放送に関連するインターネット情報、番組付加情報、ディレクターズカット情報、ディレクターズコメント情報、Eコマース情報、チャット情報、予告情報が含まれてもいい。

他の構成として、第1のファイルに管理データが含まれ、第2のファイルに通常放送と番組連動型データ放送が含まれ、第3のファイルにアナログ放送としての映像音声が含まれ、第4のファイルに独立型データ放送、オーディオ放送と、放送に関連するインターネット情報、番組付加情報、ディレクターズカット情報、ディレクターズコメント情報、Eコマース情報、チャット情報、予告情報が含まれてもいい。

図13に、管理データを第1のファイルに記録し、タイムマップデータを他のファイルに記録し、デジタル通常放送、連動型データ放送付通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送データを第2のファイルに記録し、アナログ放送データを第3のファイルに記録し、放送に関連するインターネット情報、番組付加情報、ディレクターズカット情報、ディレクターズコメント情報、Eコマース情報、チャット情報、予告情報を第4のファイルに記録し、第2、第3または第4のファイルの一部を第4のファイルにコピーする例を示す。

図13では、1301が第1のファイル、1302が他のファイル、1303が第2のファイル、1304が第3のファイル、1305が第4のファイルであ

る。

第1のファイル1301には、管理データ1306が含まれている。管理データ1306に関しては、後ほど詳しく説明する。

他のファイル1302には、タイムマップデータ1307が含まれている。1302、1307の関係は、図3と同様である。

第2のファイル1303には、通常放送1308、番組連動型データ放送1309、独立型データ放送1310、オーディオ放送1311が含まれている。

第3のファイル1304には、アナログ放送としての映像音声1312が含まれている。

第4のファイル1305は、MPEG映像データ1313、MPEG音声データ1314、JPEGデータ1315、PNGデータ1316、MNGデータ1317、BMLデータ1318、ゲームデータ1319、電子プログラムガイドデータ1320、および、放送に関連するインターネット情報1321、番組付加情報1322、ディレクターズカット情報1323、ディレクターズコメント情報1324、Eコマース情報1325、チャット情報1326、予告情報1327から構成される。なお、第4のファイル1305には、グラフィック、立体映像など、前記以外の方式の映像、音声、データが存在してもいい。またその他のインターネットに関連する情報が存在してもいい。また、MPEGデータ1313、1314は、第2、第3のファイルとは異なったストリームであるESまたはPESとすることによりメリット大となる。

ここで、第2のファイル1303から、独立型データ放送1310として記録された映画「△△ウォーズ」の戦闘シーンに関する動画情報1328、音声情報1329を取り出して、MPEGデータとして第4のファイル1305中のMPEG映像データ1313、MPEG音声データ1314にそれぞれコピーする。

また、第3のファイル1304から、映像音声1312として武器関連音声情報1330、武器の静止画1331を取り出して、第4のファイル1305中のMPEG音声データ1314、JPEGデータ1315にそれぞれコピーする。

また、第4のファイル1305にインターネットから記録されたインターネット情報、番組付加情報における戦闘シーンBML情報1332、武器関連ゲーム

データ1333を取り出して、第4のファイル1305中のBMLデータ1318、ゲームデータ1319にそれぞれコピーする。

このようにして記録された1313～1320は、他の用途に利用したり、動画／音声／静止画／情報アルバムとして保存したり、あるいは単独で編集、削除、加工、特殊再生などを行うことが可能である。

例としてデータの一部を取り出すとしたが、データの全部でもよく、「コピー」ではなくて第2、第3、第4のファイルからもとのデータを削除する「移動」でもいい。また、放送またはインターネット配信と同時に、データの全部、または一部を第4のファイルに直接記録してもいい。

また、例として第2、第3、第4のファイルから第4のファイルにデータをコピー、移動する例を示したが、第2、第3のファイル同士で、または第4のファイルから第2または第3のファイルにデータをコピー、移動してもいい。その場合、フォーマットはコピー、移動先のものに合わせるものとする。

また、1313～1327を第4のファイル1305としたが、1313～1320を第4のファイル、1321～1327を第5のファイルとしてもいい。

さらに、それぞれにおいて、1313～1327をすべて独立のファイルとしてもいい。

図14に、管理データを第1のファイルに記録し、タイムマップデータを他のファイルに記録し、デジタル通常放送、連動型データ放送付通常放送データを第2のファイルに記録し、アナログ放送データを第3のファイルに記録し、独立型データ放送、オーディオ放送データを第4のファイルに記録し、放送に関連するインターネット情報、番組付加情報、ディレクターズカット情報、ディレクターズコメント情報、Eコマース情報、チャット情報、予告情報を第5のファイルに記録し、第2、第3、第4または第5のファイルの一部を第5のファイルにコピーする例を示す。

図14では、1401が第1のファイル、1402が他のファイル、1403が第2のファイル、1404が第3のファイル、1405が第4のファイル、1406が第5のファイルである。

第1のファイル1401には、管理データ1407が含まれている。管理デー

タ 1 4 0 7 に関しては、後ほど詳しく説明する。

他のファイル 1 4 0 2 には、タイムマップデータ 1 4 0 8 が含まれている。1 4 0 2、1 4 0 8 の関係は、図 3 と同様である。

第 2 のファイル 1 4 0 3 には、通常放送 1 4 0 9、番組連動型データ放送 1 4 1 0 が含まれている。

第 3 のファイル 1 4 0 4 には、アナログ放送としての映像音声 1 4 1 3 が含まれている。

第 4 のファイル 1 4 0 5 には、独立型データ放送 1 4 1 1、オーディオ放送 1 4 1 2 が含まれている。

第 5 のファイル 1 4 0 6 は、MPEG 映像データ 1 4 1 4、MPEG 音声データ 1 4 1 5、JPEG データ 1 5 1 6、PNG データ 1 4 1 7、MNG データ 1 4 1 8、BML データ 1 4 1 9、ゲームデータ 1 4 2 0、電子プログラムガイドデータ 1 4 2 1、および、放送に関連するインターネット情報 1 4 2 2、番組付加情報 1 4 2 3、ディレクターズカット情報 1 4 2 4、ディレクターズコメント情報 1 4 2 5、E コマース情報 1 4 2 6、チャット情報 1 4 2 7、予告情報 1 4 2 8 から構成される。なお、第 5 のファイル 1 4 0 6 には、グラフィック、立体映像など、前記以外の方式の映像、音声、データが存在してもいい。またその他のインターネットに関連する情報が存在してもいい。また、MPEG データ 1 4 1 4、1 4 1 5 は、第 2、第 3 のファイルとは異なったストリームである ES または PES とすることによりメリット大となる。

ここで、第 2 のファイル 1 4 0 3 から、番組連動型データ放送 1 4 1 0 として記録された映画「△△ウォーズ」の戦闘シーンに関する動画情報 1 4 2 9 を取り出して、MPEG データとして第 5 のファイル 1 4 0 6 中の MPEG 映像データ 1 4 1 4 にコピーする。

また、第 3 のファイル 1 4 0 4 から、映像音声 1 4 1 3 として武器関連音声情報 1 4 3 0、武器の静止画 1 4 3 1 を取り出して、第 5 のファイル 1 4 0 6 中の MPEG 音声データ 1 4 1 5、JPEG データ 1 4 1 6 にそれぞれコピーする。

また、第 4 のファイル 1 4 0 5 から、独立型データ放送 1 4 1 1 として記録された映画「△△ウォーズ」の戦闘シーンに関する音声情報 1 4 3 2 を取り出して、

MPEGデータとして第5のファイル1406中のMPEG音声データ1415にコピーする。

また、第5のファイル1406にインターネットから記録されたインターネット情報、番組付加情報における戦闘シーンBML情報1433、武器関連ゲームデータ1434を取り出して、第5のファイル1406中のBMLデータ1419、ゲームデータ1420にそれぞれコピーする。

このようにして記録された1414～1421は、他の用途に利用したり、動画／音声／静止画／情報アルバムとして保存したり、あるいは単独で編集、削除、加工、特殊再生などを行うことが可能である。

例としてデータの一部を取り出すとしたが、データの全部でもよく、「コピー」ではなくて第2、第3、第4、第5のファイルからもとのデータを削除する「移動」でもいい。また、放送またはインターネット配信と同時に、データの全部、または一部を第5のファイルに直接記録してもいい。

また、例として第2、第3、第4、第5のファイルから第5のファイルにデータをコピー、移動する例を示したが、第2、第3、第4のファイル同士で、または第5のファイルから第2、第3または第4のファイルにデータをコピー、移動してもいい。その場合、フォーマットはコピー、移動先のものに合わせるものとする。

また、1412、1413を第4のファイル1405、1414～1428を第5のファイル1406としたが、1412～1428すべてを第4のファイルとしてもいい。

または、1412～1421を第4のファイル、1422～1428を第5のファイルとしてもいい。

または、1412、1413、1422～1428を第4のファイル、1414～1421を第5のファイルとしてもいい。

さらに、それぞれにおいて、1414～1428をすべて独立のファイルとしてもいい。

さらに、それぞれにおいて、1412～1428をすべて独立のファイルとしてもいい。

以上いくつかの例を述べてきたが、前記映像データには、映像データと音声データが両方含まれていてもいい。

基本的には、第2のファイルに記録するストリームはTSであり、第3以降のファイルに記録するストリームはTSでないが、そのルールに従わなくてもいい。

データ放送には、番組連動型データ放送、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、または文字放送が含まれる。

これまで述べたように、番組連動型データ放送を第2のファイルに記録し、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、または文字放送を第4のファイルに記録してもいい。

コピーまたは移動するデータは、動画データ、静止画データ、音声データ、アニメーションデータ、文字データ、ゲームデータ、電子プログラムガイドデータ、グラフィックデータ、立体映像データのうち全部、または一部とする。

放送外関連情報は、放送に関連するインターネット情報、番組付加情報、ディレクターズカット情報、ディレクターズコメント情報、Eコマース情報、チャット情報、予告情報といったインターネット付加情報、インターネット放送情報のうち全部または一部とする。ここで、インターネット放送情報は、インターネットを通して送られるストリーミングビデオオーディオ情報などを示す。

また、第2以降のファイルのうち、一部のファイルが存在しなくてもいい。具体的に説明すると、本発明では、管理データを記録した第1のファイルと、入力した放送映像音声データ及びコピー又は移動の結果得られた記録放送映像音声データのうち、少なくとも一方を格納データとして記録したデータファイルだけでも良い。この場合におけるデータファイルには、前述した第4以降のファイルが含まれており、これらのファイルには、前記格納データが第1のファイルに記録された管理データに対応したフォーマットで記録されている。換言すれば、本発明に係る記録媒体は、互いに異なるフォーマットの放送映像音声データを記録できるフォーマットを備えている。いずれにしても、第4のファイル以降に格納されるデータは、他のファイルのデータ又は放送映像音声のデータに、コピー、移動、編集、削除、加工、特殊再生等の処理を施すことによって得られたデータであり、第4のファイル以降に格納されるデータを総称して編集済データと呼ぶこ

とができる。

次に、図3における306、図4における413、図5における506、図6における613、図7における706、図8における814、図12における1206、図13における1306、図14における1407に示す、管理データに関して詳細を述べる。

管理ファイルには、データ放送記録ファイル識別フラグ、放送外関連情報記録ファイル識別フラグ、データ放送識別フラグ、または放送外関連情報識別フラグが管理データとして記録されてもいい。

放送記録ファイル識別フラグは、相当するファイルに、データ放送なしデジタル通常放送、番組連動型データ放送付デジタル通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、文字放送、アナログ放送がそれぞれ記録されているか否か、またはそれぞれの放送が記録されているファイルを示す。

放送外関連情報記録ファイル識別フラグは、相当するファイルに、放送外関連情報が記録されているか否か、または放送外関連情報が記録されているファイルを示す。

放送識別フラグは、相当するストリームに、データ放送なしデジタル通常放送、番組連動型データ放送付デジタル通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、文字放送、アナログ放送がそれぞれ記録されているか否か、記録されている放送データないし放送外関連情報のうち、直接記録または他のファイルからコピーまたは移動されたデータが、直接記録かコピーか移動かの別、コピーまたは移動のときソースが存在するかどうかと存在するときファイル名、ソースストリーム名、ソースストリームナンバー、コピーまたは移動、かつソースが分かっているときソースデータと記録データに関して、その他のとき記録データに関して、データが動画／音声／静止画／アニメーション／文字データ／ゲームデータ／電子プログラムガイドデータ／グラフィックデータ／立体映像データ／インターネットデータの別、動画の場合動画データ圧縮方式、音声の場合音声データ圧縮方式、静止画の場合静止画データ圧縮方式、アニメーションの場合アニメーションデータ圧縮方式、文字データの場合文字データ圧縮表示方式、ゲームデータの場合ゲームデータ方式、電子プログラムガイドデータの場合電子プ

ログラムガイド方式、グラフィックデータのときグラフィックデータ方式、立体映像データのとき立体映像データ方式、およびストリーム形式を示す。

放送外関連情報識別フラグは、相当するストリームに、放送外関連情報が記録されているか否か、放送外関連情報が通常インターネットデータかストリーミングデータかその他のデータかを示すフラグを示す。

また、管理ファイルには、放送記録ファイル識別フラグ、放送外関連情報記録ファイル識別フラグ、放送識別フラグ、放送外関連情報識別フラグ、および、

データ放送の伝送方式としてデータカルーセルモードか/イベントメッセージ伝送モードか/両者を含むモードかを示すフラグ、データカルーセル放送の場合放送された全データを記録するモードか/更新データのみ記録するモードかを示すフラグ、ニュース・天気予報・株式情報など更新可能なデータ放送において新しいデータによる古いデータ自動更新を OFF とするか ON とするかを示すフラグ、最新データ更新開始時刻/終了時刻、タイムマップが存在するかしないかを示すフラグ、通常放送ストリームか蓄積型放送ストリームかを示すフラグ、が記録されてもいい。

また、前記のうち、動画データ圧縮方式として MPEG ビデオか H. 264 ビデオか Windows (登録商標) Media ビデオかの種別、音声データ圧縮方式として MPEG オーディオか Dolby オーディオか DTS オーディオかの種別、静止画データ圧縮方式として JPEG か PNG かの種別が示されてもいい。

前記管理ファイルデータは、そのすべてが記録されなくてもよく、一部が記録されるだけでもいい。

さらに具体的な例を示すと、以下のようになる。

ファイル構成を図 15～図 23 に示す。

全体のファイル名を DVD_HDVR とした。

DVD_HDVR は、HR_MANGR. IFO ファイル、HR_STMAP. IFO ファイル、HR_VTMAP. IFO ファイル、HR_STRMx. SRO ファイル、HR_MOVIE. IFO ファイル、HR_EXTBC. DAT ファイルなどのファイルから構成される。これらのファイルはすべて存在しなくてもよく、HR_MANGR. BUP というバックアップファイルを初めとする他のファイルが存在してもいい。

図3における306、図4における413、図5における506、図6における613、図7における706、図8における814、図12における1206、図13における1306、図14における1407に示す管理データは、HR_MANGR. IFO ファイルに相当する。

HR_MANGR. IFO は、Stream File Information Table (STM_AVFIT) 、Movie AV File Information Table (M_AVFIT) 、Extra Broadcast File Information Table (EXT_AVFIT) 、その他のデータから構成される。

Stream File Information Table (STM_AVFIT) は、STM_AVFIT Information (ファイル全体の情報) 、SOB Stream Information #1 ~ SOB Stream Information #n (各 SOB ストリームの情報) 、その他のデータから構成される。SOB Stream Information は、一回記録が行われるごとに1個ずつ発生する。

STM_AVFIT Information には、以下のフラグ、データが含まれる。

- Broadcast recording file ID flag : 放送記録ファイル識別フラグ

6ビット以上のフラグデータである。

第0ビット 0:HR_STRMx. SRO にデータ放送なしデジタル放送が含まれない
1: 含まれる

第1ビット 0:HR_STRMx. SRO に連動型データ放送付デジタル放送が含まれない
1: 含まれる

第2ビット 0:HR_STRMx. SRO に独立データ放送が含まれない 1: 含まれる

第3ビット 0:HR_STRMx. SRO に独立オーディオ (ラジオ) 放送が含まれない
1: 含まれる

第4ビット 0:HR_STRMx. SRO に文字放送が含まれない 1: 含まれる

第5ビット 0:HR_STRMx. SRO にアナログ放送が含まれない 1: 含まれる
を示し、その他のビットを保留とする。

- Extra broadcast related data recording file ID flag : 放送外関連情報記録ファイル識別フラグ

1ビット以上のフラグデータである。

第0ビット 0:HR_STRMx. SRO に放送外関連情報が含まれない 1: 含まれる

る

を示し、その他のビットを保留とする。

SOB Stream Information は、以下のフラグ、データから構成される。

・Broadcast ID flag (放送識別フラグ)

*Broadcast flag (放送フラグ)

6 ビット以上のフラグデータである。

第 0 ビット 0 : SOB Stream にデータ放送なしデジタル放送が含まれない
1 : 含まれる

第 1 ビット 0 : SOB Stream に連動型データ放送付デジタル放送が含まれない
1 : 含まれる

第 2 ビット 0 : SOB Stream に独立データ放送が含まれない 1 : 含まれる

第 3 ビット 0 : SOB Stream に独立オーディオ (ラジオ) 放送が含まれない
1 : 含まれる

第 4 ビット 0 : SOB Stream に文字放送が含まれない 1 : 含まれる

第 5 ビット 0 : SOB Stream にアナログ放送が含まれない 1 : 含まれる
を示し、その他のビットを保留とする。

*Copy move flag (コピーまたは移動)

000 : オリジナル、 001 : コピー、 010 : 移動、 その他 : 保留

*Source file information (ソースファイル情報)

000 : オリジナル

001 : コピーまたは移動データ、かつソース存在せず、またはソース存在場所不明

010 : コピーまたは移動データ、かつソースが HR_STRMx. SRO に存在

011 : コピーまたは移動データ、かつソースが HR_MOVIE. VRO に存在

100 : コピーまたは移動データ、かつソースが HR_EXTBC. DAT に存在

その他 : 保留

*Source stream name (ソースストリーム名)

ソースストリーム名が存在するときストリーム名、存在しないとき ALL "0"

*Source stream number (ソースストリームナンバー)

ソースストリームの SOB ナンバー、VOB ナンバー、または Extra Stream ナンバー

*Source video mode (ソースビデオモード)

000 : MPEG-2、001 : MPEG-1、010 : MPEG-4、011 : H. 264、100 : WM9、その他 : 保留

*Source audio mode (ソースオーディオモード)

000 : MPEG-2 AAC、001 : Dolby AC-3、010 : MPEG-1、011 : MPEG-2 BC
100 : DTS、101 : LPCM、その他 : 保留

*Source still-picture mode (ソース静止画モード)

000 : JPEG、001 : PNG、その他 : 保留

*Source animation mode (ソースアニメーションモード)

000 : MNG、その他 : 保留

*Source Data broadcast mode (ソースデータ放送モード)

000 : BML、その他 : 保留

*Source Game data mode (ソースゲームデータモード、内容保留)

*Source EPG data mode (ソース EPG データモード、内容保留)

*Source Graphic mode (ソースグラフィックモード、内容保留)

*Source 3D video mode (ソース立体映像モード、内容保留)

*Source stream mode (ソースストリームモード)

000 : TS、001 : PS、010 : PES、011 : ES、その他 : 保留

*Recorded data video mode (コピー／移動データビデオモード)

000 : MPEG-2、001 : MPEG-1、010 : MPEG-4、011 : H. 264、100 : WM9、その他 : 保留

*Recorded data audio mode (コピー／移動データオーディオモード)

000 : MPEG-2 AAC、001 : Dolby AC-3、010 : MPEG-1、011 : MPEG-2 BC
100 : DTS、101 : LPCM、その他 : 保留

*Recorded data still-picture mode (コピー／移動データ静止画モード)

000 : JPEG、001 : PNG、その他 : 保留

*Recorded data animation mode (コピー／移動データアニメーションモード)

000 : MNG、その他 : 保留

*Recorded data Data broadcast mode (コピー／移動データデータ放送モード)

000 : BML、その他 : 保留

*Recorded data Game data mode (コピー／移動データゲームデータモード、内容保留)

*Recorded data EPG data mode (コピー／移動データ EPG データモード、内容保留)

*Recorded data Graphic mode (コピー／移動データグラフィックモード、内容保留)

*Recorded data 3D video mode (コピー／移動データ立体映像モード、内容保留)

*Recorded data stream mode (コピー／移動データストリームモード)

000 : TS、 001 : PS、 010 : PES、 011 : ES、その他 : 保留

• Extra broadcast related data ID flag (放送外関連情報識別フラグ)

*Extra broadcast related data flag (放送外関連情報フラグ)

第0ビット 0 : SOB Stream に放送外関連情報が含まれない 1 : 含まれるを示し、その他のビットを保留とする。

*Broadcast related data content (放送外関連情報コンテンツ)

000 : 放送外関連情報が通常のインターネットデータ、 001 : ストリーミングデータ

010 : その他、その他 : 保留

• Data broadcast data (データ放送関連データ)

*Transmission mode (伝送モード)

00 : データカルーセルモード、01 : イベントメッセージ伝送モード、10 : 両者を含む伝送モード

その他 : 保留

*Data Carrousel Auto renewal (データカルーセル自動更新)

00 : 放送 Data Carrousel 全データ記録モード

01 : 放送 Data Carrousel 中更新データのみ選択記録モード、その他 : 保留

*Refresh flag (自動更新フラグ)

00 : ニュース、天気予報、株式情報などで、新しいデータによる古いデータ自動更新 OFF

01 : ニュース、天気予報、株式情報などで、新しいデータによる古いデータ自動更新 ON、その他 : 保留

*Refresh start time (最新データ更新開始時刻、5 バイト)

年 (14 ビット)、月 (4 ビット)、日 (5 ビット)、時 (5 ビット)、分 (6 ビット)、秒 (6 ビット)

*Refresh end time (最新データ更新終了時刻、5 バイト)

年 (14 ビット)、月 (4 ビット)、日 (5 ビット)、時 (5 ビット)、分 (6 ビット)、秒 (6 ビット)

*Time map flag (タイムマップフラグ)

00 : ストリームにタイムマップなし、01 : ストリームにタイムマップあり、その他 : 保留

*Storage broadcast flag (蓄積型放送フラグ)

00 : 通常放送ストリーム、01 : 蓄積型放送ストリーム、その他 : 保留

Movie AV File Information Table (M_AVFIT) は、M_AVFIT Information (ファイル全体の情報)、MOVIE VOB Information #1 ~ MOVIE VOB Information #n (各 VOB の情報)、その他のデータから構成される。MOVIE VOB Information は、一回記録が行われるごとに 1 個ずつ発生する。

M_AVFIT Information には、以下のフラグ、データが含まれる。

- Broadcast recording file ID flag (放送記録ファイル識別フラグ)

- Extra broadcast related data recording file ID flag (放送外関連情報記録ファイル識別フラグ)

MOVIE VOB Information は、以下のフラグ、データから構成される。

- Broadcast ID flag (放送識別フラグ)

- *Broadcast flag (放送フラグ)
- *Copy move flag (コピーまたは移動)
- *Source file information (ソースファイル情報)
- *Source stream name (ソースストリーム名)
- *Source stream number (ソースストリームナンバー)
- *Source video mode (ソースビデオモード)
- *Source audio mode (ソースオーディオモード)
- *Source still-picture mode (ソース静止画モード)
- *Source animation mode (ソースアニメーションモード)
- *Source Data broadcast mode (ソースデータ放送モード)
- *Source Game data mode (ソースゲームデータモード)
- *Source EPG data mode (ソース EPG データモード)
- *Source Graphic mode (ソースグラフィックモード)
- *Source 3D video mode (ソース立体映像モード)
- *Source stream mode (ソースストリームモード)
- *Recorded data video mode (コピー／移動データビデオモード)
- *Recorded data audio mode (コピー／移動データオーディオモード)
- *Recorded data still-picture mode (コピー／移動データ静止画モード)
- *Recorded data animation mode (コピー／移動データアニメーションモード)
- ド)
- *Recorded data Data broadcast mode (コピー／移動データデータ放送モード)
- ド)
- *Recorded data Game data mode (コピー／移動データゲームデータモード)
- *Recorded data EPG data mode (コピー／移動データ EPG データモード)
- *Recorded data Graphic mode (コピー／移動データグラフィックモード)
- *Recorded data 3D video mode (コピー／移動データ立体映像モード)
- *Recorded data stream mode (コピー／移動データストリームモード)
- Extra broadcast related data ID flag (放送外関連情報識別フラグ)
- *Extra broadcast related data flag (放送外関連情報フラグ)

*Broadcast related data content (放送外関連情報コンテンツ)

ここで、Data broadcast data (データ放送関連データ) は存在しない。

各データ内容はStream File Information Table (STM_AVFIT) と同じ内容のため、説明を省略する。

Extra Broadcast File Information Table (EXT_AVFIT) は、EXT_AVFIT Information (ファイル全体の情報)、EXT Stream Information #1 ~ EXT Stream Information #n (各ストリームの情報)、その他のデータから構成される。

EXT_AVFIT Information には、以下のフラグ、データが含まれる。

- Broadcast recording file ID flag (放送記録ファイル識別フラグ)
- Extra broadcast related data recording file ID flag (放送外関連情報記録ファイル識別フラグ)

EXT stream Information は、以下のフラグ、データから構成される。

- Broadcast ID flag (放送識別フラグ)
 - *Broadcast flag (放送フラグ)
 - *Copy move flag (コピーまたは移動)
 - *Source file information (ソースファイル情報)
 - *Source stream name (ソースストリーム名)
 - *Source stream number (ソースストリームナンバー)
 - *Source video mode (ソースビデオモード)
 - *Source audio mode (ソースオーディオモード)
 - *Source still-picture mode (ソース静止画モード)
 - *Source animation mode (ソースアニメーションモード)
 - *Source Data broadcast mode (ソースデータ放送モード)
 - *Source Game data mode (ソースゲームデータモード)
 - *Source EPG data mode (ソース EPG データモード)
 - *Source Graphic mode (ソースグラフィックモード)
 - *Source 3D video mode (ソース立体映像モード)
 - *Source stream mode (ソースストリームモード)
 - *Recorded data video mode (コピー／移動データビデオモード)

- *Recorded data audio mode (コピー／移動データオーディオモード)
- *Recorded data still-picture mode (コピー／移動データ静止画モード)
- *Recorded data animation mode (コピー／移動データアニメーションモード)
- *Recorded data Data broadcast mode (コピー／移動データデータ放送モード)
- *Recorded data Game data mode (コピー／移動データゲームデータモード)
- *Recorded data EPG data mode (コピー／移動データ EPG データモード)
- *Recorded data Graphic mode (コピー／移動データグラフィックモード)
- *Recorded data 3D video mode (コピー／移動データ立体映像モード7)
- *Recorded data stream mode (コピー／移動データストリームモード)
- Extra broadcast related data ID flag (放送外関連情報識別フラグ)
 - *Extra broadcast related data flag (放送外関連情報フラグ)
 - *Broadcast related data content (放送外関連情報コンテンツ)
- Data broadcast data (データ放送関連データ) は存在しない。
 - *Transmission mode (伝送モード)
 - *Data Carrousel Auto renewal (データカルーセル自動更新)
 - *Refresh flag (自動更新フラグ)
 - *Refresh start time (最新データ更新開始時刻、5 バイト)
 - *Refresh end time (最新データ更新終了時刻、5 バイト)
 - *Time map flag (タイムマップフラグ)
 - *Storage broadcast flag (蓄積型放送フラグ)

各データ内容は Stream File Information Table (STM_AVFIT) と同じ内容のため、説明を省略する。

HR_STMAP. IFO は、HR_STRMx. SRO 用タイムマップテーブルであり、

- 1STREF_SZ : SOBU 第 1 リファレンスピクチャーサイズ
- SOBU_PB_TM : SOBU 再生時間 (ビデオフィールド数)
- SOBU_SZ : SOBU サイズ (セクター数)

から構成される。

HR_VTMAP. IFO は、HR_MOVIE. VRO 用タイムマップテーブルであり、

- ・ 1STREF_SZ : VOB 第 1 リファレンスピクチャーサイズ
- ・ VOB_PB_TM : VOB 再生時間 (ビデオフィールド数)
- ・ VOB_SZ : VOB サイズ (セクター数)

から構成される。

HR_STRMx. SRO は、ストリームデータファイルであり、

デジタル放送、番組連動型データ放送付デジタル放送、独立型データ放送、
オーディオ放送ストリーム
文字放送データ

から構成される。

HR_MOVIE. VRO は、動画データファイルであり、

アナログ放送映像音声ストリーム
から構成される。

HR_EXTBC. DAT は、データファイルであり、

データ放送直接記録、または一部をコピーまたは移動したデータファイル、
その他のストリーム
から構成される。

さて、管理データを使い、以下のように放送映像音声データのコピーが行われる。

ユーザーは、コピーするソースファイル、ソースストリーム、コピー先ファイル、コピー先ストリーム、コピー開始時刻、終了時刻を入力する。これは、通常リモコンなどにより、特定のデータ放送コンテンツ、開始点、終了点が指定される。

この制御信号は、図 1 における制御入力 104 から入力され、記録データ・記録ファイル決定、管理データ発生、データコピー・移動制御 120 により、決定、発生、制御が行われる。

ソースファイルを HR_STRMx. SRO、コピー先ファイルを HR_EXTBC. DAT、コピーデータを独立データ放送、ストリームナンバーを 03H として、コピー開始時刻、終了時刻に従って、指定されたコピー先ファイルにコピーされたデータに関する管

理データの例を示す。

管理データ HR_MANGR. IFO 中、

Stream File Information Table (STM_AVFIT) の STM_AVFIT Information において、

・Data broadcast recording file ID flag

第0ビット 0:HR_STRMx. SRO にデータ放送なしデジタル放送が含まれない

第1ビット 0:HR_STRMx. SRO に連動型データ放送付デジタル放送が含まれない

第2ビット 1:HR_STRMx. SRO に独立データ放送が含まれる

第3ビット 0:HR_STRMx. SRO に独立オーディオ（ラジオ）放送が含まれない

第4ビット 0:HR_STRMx. SRO に文字放送が含まれない

第5ビット 0:HR_STRMx. SRO にアナログ放送が含まれない

・Extra broadcast related data recording file ID flag: 放送外関連情報記録ファイル識別フラグ

第0ビット 0:HR_STRMx. SRO に放送外関連情報が含まれない

また、Stream File Information Table (STM_AVFIT) の SOB Stream Information において、

・Broadcast ID flag

*Broadcast flag

第0ビット 0:SOB Stream にデータ放送なしデジタル放送が含まれない

第1ビット 0:SOB Stream に連動型データ放送付デジタル放送が含まれない

第2ビット 1:SOB Stream に独立データ放送が含まれる

第3ビット 0:SOB Stream に独立オーディオ（ラジオ）放送が含まれない

第4ビット 0:SOB Stream に文字放送が含まれない

第5ビット 0:SOB Stream にアナログ放送が含まれない

*Copy move flag 001.: コピー

- *Source file information 000 : オリジナル
- *Source stream name ALL "0"
- *Source stream number 03H
- *Source video mode 000 : MPEG-2
- *Source audio mode 000 : MPEG-2 AAC
- *Source still-picture mode 000 : JPEG
- *Source animation mode 000 : MNG
- *Source Data broadcast mode 000 : BML
- *Source Game data mode ALL "0"
- *Source EPG data mode ALL "0"
- *Source Graphic mode ALL "0"
- *Source 3D video mode ALL "0"
- *Source stream mode 000 : TS
- *Recorded data video mode 000 : MPEG-2
- *Recorded data audio mode 000 : MPEG-2 AAC
- *Recorded data still-picture mode 000 : JPEG
- *Recorded data animation mode 000 : MNG
- *Recorded data Data broadcast mode 000 : BML
- *Recorded data Game data mode ALL "0"
- *Recorded data EPG data mode ALL "0"
- *Recorded data Graphic mode ALL "0"
- *Recorded data 3D video mode ALL "0"
- *Recorded data stream mode 000 : TS
- Extra broadcast related data ID flag
 - *Extra broadcast related data flag
 - 第0ビット 0 : SOB Streamに放送外関連情報が含まれない
- *Broadcast related data content
 - 000 : 放送外関連情報が通常のインターネットデータ
- Data broadcast data

*Transmission mode 00 : データカルーセルモード

*Data Carrousel Auto renewal 00 : 放送 Data Carrousel 全データ記録モード

*Refresh flag 00 : 新しいデータによる古いデータ自動更新 OFF

*Refresh start time

年 (14 ビット) 、月 (4 ビット) 、日 (5 ビット) 、時 (5 ビット) 、分 (6 ビット) 、秒 (6 ビット)

*Refresh end time

年 (14 ビット) 、月 (4 ビット) 、日 (5 ビット) 、時 (5 ビット) 、分 (6 ビット) 、秒 (6 ビット)

*Time map flag 00 : ストリームにタイムマップなし

*Storage broadcast flag 00 : 通常放送ストリーム

Extra Broadcast File Information Table (EXT_AVFIT) の EXT_AVFIT Information において、

• Data broadcast recording file ID flag

第 0 ビット 0 : HR_EXTBC. DAT にデータ放送なしデジタル放送が含まれない

第 1 ビット 0 : HR_EXTBC. DAT に連動型データ放送付デジタル放送が含まれない

第 2 ビット 1 : HR_EXTBC. DAT に独立データ放送が含まれる

第 3 ビット 0 : HR_EXTBC. DAT に独立オーディオ (ラジオ) 放送が含まれない

第 4 ビット 0 : HR_EXTBC. DAT に文字放送が含まれない

第 5 ビット 0 : HR_EXTBC. DAT にアナログ放送が含まれない

• Extra broadcast related data recording file ID flag : 放送外関連情報記録ファイル識別フラグ

第 0 ビット 0 : HR_EXTBC. DAT に放送外関連情報が含まれない

また、Extra Broadcast File Information Table (EXT_AVFIT) の EXT Stream Information において、

• Broadcast ID flag

*Broadcast flag

第0ビット 0:EXT Streamにデータ放送なしデジタル放送が含まれない

第1ビット 0:EXT Streamに連動型データ放送付デジタル放送が含まれない

第2ビット 1:EXT Streamに独立データ放送が含まれる

第3ビット 0:EXT Streamに独立オーディオ（ラジオ）放送が含まれない

第4ビット 0:EXT Streamに文字放送が含まれない

第5ビット 0:EXT Streamにアナログ放送が含まれない

*Copy move flag 001:コピー

*Source file information 010:コピーデータ、かつソースがHR_STRMx.SR0に存在

*Source stream name ALL "0"

*Source stream number 03H

*Source video mode 000:MPEG-2

*Source audio mode 000:MPEG-2 AAC

*Source still-picture mode 000:JPEG

*Source animation mode 000:MNG

*Source Data broadcast mode 000:BML

*Source Game data mode ALL "0"

*Source EPG data mode ALL "0"

*Source Graphic mode ALL "0"

*Source 3D video mode ALL "0"

*Source stream mode 000:TS

*Recorded data video mode 000:MPEG-2

*Recorded data audio mode 000:MPEG-2 AAC

*Recorded data still-picture mode 000:JPEG

*Recorded data animation mode 000:MNG

*Recorded data Data broadcast mode 000:BML

- *Recorded data Game data mode ALL "0"
 - *Recorded data EPG data mode ALL "0"
 - *Recorded data Graphic mode ALL "0"
 - *Recorded data 3D video mode ALL "0"
 - *Recorded data stream mode 000 : TS
 - Extra broadcast related data ID flag
 - *Extra broadcast related data flag
 - 第0ビット 0 : EXT Streamに放送外関連情報が含まれない
 - *Broadcast related data content
 - 000 : 放送外関連情報が通常のインターネットデータ
 - Data broadcast data
 - *Transmission mode 00 : データカルーセルモード
 - *Data Carrousel Auto renewal 00 : 放送Data Carrousel 全データ記録モード
 - *Refresh flag 00 : 新しいデータによる古いデータ自動更新 OFF
 - *Refresh start time
 - 年 (14 ビット) 、月 (4 ビット) 、日 (5 ビット) 、時 (5 ビット) 、分 (6 ビット) 、秒 (6 ビット)
 - *Refresh end time
 - 年 (14 ビット) 、月 (4 ビット) 、日 (5 ビット) 、時 (5 ビット) 、分 (6 ビット) 、秒 (6 ビット)
 - *Time map flag 00 : ストリームにタイムマップなし
 - *Storage broadcast flag 00 : 通常放送ストリーム
- このように、デジタル通常放送とデータ放送を第2のファイルに記録し、アナログ放送を第3のファイルに記録し、第2または第3のファイルに記録された放送映像音声データのうち全部または一部を第4のファイルにコピーまたは移動し、また放送に関連するインターネット情報を初めとする放送外関連情報およびその全部または一部を第4のファイルにコピーまたは移動することにより、放送映像音声データを容易に記録可能であり、かつ記録された放送映像音声データを、別

ファイルにより放送と切り離して保存、編集、削除、加工、特殊再生など行うことが容易に実現できる。

また、第2のファイルに記録されたデータをフォーマット変換後、第3のファイルにコピーまたは移動することにより他のDVDプレーヤまたはDVDレコーダでも再生でき、第3のファイルに記録されたデータをフォーマット変換後、第2のファイルにコピーまたは移動することにより直接データ伝送が可能となる。

また、デジタル放送をマルチチャンネル記録などにより、第2のファイルにタイムマップなしで記録しておき、後からタイムマップを計算しながら第2または第3のファイルにコピーまたは移動することによりタイムマップを追加することができ、それにより容易に可変速再生、タイムサーチ、タイトルまたはチャプターサーチを実現することができる、というメリットを持つものである。

放送記録ファイル識別フラグと放送外関連情報記録ファイル識別フラグは別々に示してもよく、同時に示してもいい。また、放送識別フラグと放送外関連情報識別フラグを別々に示してもよく、同時に示してもいい。

前記に示した管理データは、データ構成、データ配置順、フラグ名、ビット数、ビット割り当ては例示したものと同じでなくてもいい。

前記に示した管理データは、全データが存在しなくても、その一部だけが存在してもいい。

前記に示した管理データは、発生する単位が、もっと大きい単位でも、小さい単位でもいい。

また、これらの管理データが記録媒体に記録されたときの、開始アドレス、終了アドレス、データ長が、適宜記録されてもいい。

また、以上述べてきた記録方法で放送映像音声データを記録する放送映像音声データ記録装置、または以上述べてきた記録方法で記録された放送映像音声データを再生する放送映像音声データ再生装置も、本発明に含まれるものとする。

また、以上述べてきた記録方法で記録が行われた記録媒体も、本発明に含まれることは言うまでもない。この場合、当該記録媒体は放送映像音声データを記録する領域と当該放送映像音声データを管理する管理データとが別の領域に記録されればいい。

次に、第4以降のファイル中のデータにおいて、動画、音声、静止画、アニメーション、文字データ、ゲームデータ、電子プログラムガイドデータ、グラフィックデータ、または立体映像データそれぞれに対して、当該データのヘッダー情報を付加してもいい。

図24に、ヘッダー情報を付加する例を示す。

2401はHR_MANGR. IFOファイル、2402はHR_STRMx. SROファイル、2403はHR_MOVIE. IFOファイル、2404はHR_EXTBC. DATファイルである。2404のHR_EXTBC. DATファイルにおいて、2405は後述のトータルヘッダー、2406と2407はJPEG_1ヘッダーとJPEG_1データ、2408と2409はPNGヘッダーとPNGデータ、2410と2411はJPEG_2ヘッダーとJPEG_2データ、2412と2413はMNGヘッダーとMNGデータである。

図示したように、各データの先頭にヘッダーが配置され、全体の先頭にトータルヘッダーが配置されている。

即ち、以下のような構造となる。

ここで、各フォーマットデータ、およびトータルヘッダーは2kBにアラインしてもいい。

HR_EXTBC. DAT

```

└─トータルヘッダー (2kB)
└─JPEG_1 Still-picture (2kB*i)
  └─JPEG_1 ヘッダー
  └─JPEG_1 データ
└─PNG Still-picture (2kB*j)
  └─PNG ヘッダー
  └─PNG データ
└─JPEG_2 Still-picture (2kB*k)
  └─JPEG_2 ヘッダー
  └─JPEG_2 データ
└─MNG animation (2kB*1)
```

└→MNG ヘッダー

└→MNG データ

また、第4以降のファイル中のデータにおいて、同じフォーマットの動画、同じフォーマットの音声、同じフォーマットの静止画、同じフォーマットのアニメーション、同じフォーマットの文字データ、同じフォーマットのゲームデータ、同じフォーマットの電子プログラムガイドデータ、同じフォーマットのグラフィックデータ、または同じフォーマットの立体映像データそれぞれをまとめ、まとめられたデータに対して割り当てられたヘッダー情報を付加してもいい。

即ち、図示していないが、図24において、JPEG_1とJPEG_2を合併し、ひとつのJPEGデータとしてJPEGヘッダーとJPEGデータを構成してもいい。

ここで、前記ヘッダー情報が、以下に列挙する情報の少なくとも一部を含んでも良い。即ち、データ放送なしデジタル通常放送、番組連動型データ放送付デジタル通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、文字放送、アナログ放送、または放送外関連情報がそれぞれ記録されているか否かを示すフラグ；記録されている放送データないし放送外関連情報のうち、直接記録または他のファイルからコピーまたは移動されたデータが、直接記録かコピーか移動かの別を示すフラグ；コピーまたは移動のときソースが存在するかどうかなを示すフラグと、ソースが存在するときファイル名、ソースストリーム名、ソースストリームナンバー；コピーまたは移動、かつソースが分かっているときソースデータと記録データに関して、その他のとき記録データに関して、データが動画／音声／静止画／アニメーション／文字データ／ゲームデータ／電子プログラムガイドデータ／グラフィックデータ／立体映像データの別を示すフラグ；動画の場合動画データ圧縮方式、音声の場合音声データ圧縮方式、静止画の場合静止画データ圧縮方式、アニメーションの場合アニメーションデータ圧縮方式、文字データの場合文字データ圧縮表示方式、ゲームデータの場合ゲームデータ方式、電子プログラムガイドデータの場合電子プログラムガイド方式、グラフィックデータの場合グラフィックデータ方式、立体映像データの場合立体映像データ方式、およびストリーム形式、放送外関連情報が通常インターネットデータかストリー

ミングデータかその他のデータかを示すフラグ；ジャンル、コンテンツ情報、サムネイル情報、レジュームマーカ情報、プロテクト情報、仮消去情報、ブックマーク情報、プレイリスト情報、静止画再生時間情報、同期オーディオ情報、オーディオアフレコ情報を特徴付ける情報；ヘッダー長、データ長；上に列挙された情報のうち全部、または一部がヘッダー情報に含まれていても良い。

更に、ヘッダー情報に、以下の情報の少なくとも一部を追加的に含んでいても良い。即ち、データ放送の伝送方式としてデータカルーセルモードか／イベントメッセージ伝送モードか／両者を含むモードかを示すフラグ、データカルーセル放送の場合放送された全データを記録するモードか／更新データのみ記録するモードかを示すフラグ、ニュース・天気予報・株式情報など更新可能なデータ放送において新しいデータによる古いデータ自動更新を OFF とするか ON とするかを示すフラグ、最新データ更新開始時刻／終了時刻、タイムマップが存在するかしないかを示すフラグ、通常放送ストリームか蓄積型放送ストリームかを示すフラグ、のうち全部、または一部が追加されても良い。

動画データ圧縮方式として MPEG ビデオか H. 264 ビデオか Windows（登録商標）Media ビデオかの種別、音声データ圧縮方式として MPEG オーディオか Dolby オーディオか DTS オーディオかの種別、静止画データ圧縮方式として JPEG か PNG かの種別、を示しても良い。

ヘッダー情報は、例えば以下のように構成される。

- ・EXT stream Information #1～#n に相当するデータ（前項で説明済）
- ・ジャンル、コンテンツ情報：ジャンル情報、製作者情報、著作者情報、出演者情報
- ・サムネイル情報：対応するサムネイルのアドレス
- ・レジュームマーカ情報：再生停止した位置のアドレス
- ・プロテクト情報：プロテクト OFF（消去可能）、プロテクト ON（消去不能）を示すフラグ
- ・仮消去情報：通常状態、仮消去状態を示すフラグ
- ・ブックマーク情報：ブックマーク OFF、ブックマーク ON を示すフラグ
- ・プレイリスト情報：ユーザーが設定したストリーム間の接続情報

- ・ 静止画再生時間情報：静止画再生する時間情報
- ・ 同期オーディオ情報：静止画と同期したオーディオの時刻情報
- ・ オーディオアフレコ情報：アフレコオーディオアドレス情報
- ・ ヘッダー長：ヘッダー長（バイト数）
- ・ データ長：データまたはヘッダー＋データ長（バイト数）

第4以降のファイルにおいて、そのファイルに記録されている動画／音声／静止画／アニメーション／文字データ／ゲームデータ／電子プログラムガイドデータ／グラフィックデータ／立体映像データ全体のヘッダー情報をまとめてトータルヘッダー情報として記録してもいい。

図24の2404において、トータルヘッダー情報が示されている。

トータルヘッダー情報が、2406、2408、2410、2412に示すヘッダー情報のうち全部、または一部を持ってもいい。

ただし、その場合、ヘッダー長はトータルヘッダー長、データ長はHR_EXTBC.DATファイルからトータルヘッダーを除いたバイト数、またはHR_EXTBC.DATファイル全体のバイト数となる。

これまで示したような構造をとることにより、動画／音声／静止画／アニメーション／文字データ／ゲームデータ／電子プログラムガイドデータ／グラフィックデータ／立体映像データのヘッダー情報を同じHR_EXTBC.DATファイル中に持つことになり、これにより各データの編集、削除、加工、特殊再生が高速かつ容易に可能となる。即ち、図24に示されているように、第4のファイル2404或いは第4のファイル以降のファイルに、これらのファイルに格納される編集済データのヘッダー情報を格納することにより、第1から第3のファイル内のデータが消去された場合にも、第4のファイル2404及びそれ以降のファイルに格納された編集済データを再生することができる。この場合、第1のファイルに格納された管理データを参照する必要が無いため、迅速に編集済データを再生することができる。換言すれば、本発明では、放送映像音声データから、再生機器に応じたフォーマットに変換された編集済データを、放送映像音声データとは別のファイルに格納する記録方法が得られる。

また、本発明では、以上述べてきたいずれかの方法により、ヘッダー情報、ト

ータルヘッダー情報が記録されたデータ記録媒体、ヘッダー情報、トータルヘッダー情報を持つデータを記録するデータ記録装置、またはヘッダー情報、トータルヘッダー情報を持つ記録データを再生するデータ再生装置が得られる。

なお、ジャンル、コンテンツ情報、サムネイル情報、レジュームマーカ情報、プロテクト情報、仮消去情報、ブックマーク情報、プレイリスト情報、静止画再生時間情報、同期オーディオ情報、オーディオアフレコ情報、ヘッダー長、データ長、に関しては、HR_MANGR. IFO ファイル中の Stream File Information Table (STM_AVFIT)、Movie AV File Information Table (M_AVFIT)、または Extra Broadcast File Information Table (EXT_AVFIT) にも配置されてもいい。

産業上の利用可能性

本発明は、種々の用途に供される放送映像音声データをHDD、DVD等に記録することができ、特に、大容量のDVD等に適用して効果を上げることができる。

請 求 の 範 囲

1. 管理データを第1のファイルに記録し、放送をTS (Transport Stream) で表現したストリームを第2のファイルに記録し、映像音声で表現したストリームを第3のファイルに記録すると共に、前記第1～第3のファイルとは異なる付属ファイルが設けられており、前記第1のファイルの管理データにより各ファイルのデータの内容を示すことを特徴とする放送映像音声データ記録方法。

2. 請求項1において、前記付属ファイルには、入力した放送映像音声のうち全部または一部、または、第2または第3のファイルに記録された放送映像音声のうち全部または一部からコピーまたは移動したものが記録されていることを特徴とする放送映像音声データ記録方法。

3. 請求項1において、前記付属ファイルは、複数のファイルによって構成され、入力した放送映像音声のうち全部または一部、または、第2または第3のファイルに記録された放送映像音声のうち全部または一部からコピーまたは移動したものを、同じ符号化フォーマットを持つ動画、同じ符号化フォーマットを持つ音声、同じ符号化フォーマットを持つ静止画、同じ符号化フォーマットを持つアニメーション、同じ符号化フォーマットを持つ文字データ、同じ符号化フォーマットを持つゲームデータ、同じ符号化フォーマットを持つ電子プログラムガイドデータ、同じ符号化フォーマットを持つグラフィックデータ、同じ符号化フォーマットを持つ立体映像データ同士を組み合わせが、前記付属ファイルにおける複数のファイルのうち、同じファイルにそれぞれ記録されることを特徴とする放送映像音声データ記録方法。

4. 請求項1において、前記第2、第3、及び付属ファイルのいずれかには、データ放送を記録し、入力した放送映像音声のうち全部または一部、または、第2または第3または付属ファイルに記録された放送映像音声のうち全部または一部からコピーまたは移動したものを前記付属ファイルの第4または第5のファイルに記録することを特徴とする放送映像音声データ記録方法。

5. 入力した放送映像音声データまたは各ファイルのデータのうち全部または一部が、記録またはコピーまたは移動先のファイルのフォーマットと合致していればそのまま、合致していなければ前記フォーマットに変換した後、記録またはコピーまたは移動することを特徴とする請求項1記載の放送映像音声データ記録方法。

6. 第3のファイルにおけるPSストリームは、アナログ放送をPS符号化したストリームであることを特徴とする請求項1記載の放送映像音声データ記録方法。

7. 第3のファイルにおけるPSストリームは、デジタル放送をTSからPSにトランスコード符号化したストリームであることを特徴とする、請求項1記載の放送映像音声データ記録方法。

8. 第2のファイルに記録されたTSで表現された放送ストリームを、PSで表現された映像音声ストリームに変換後、コピーまたは移動により第3のファイルに記録し、管理データにより記録情報を示すことを特徴とする、請求項1記載の放送映像音声データ記録方法。

9. 第3のファイルに記録されたPSで表現された映像音声ストリームを、TSで表現された放送ストリームに変換後、コピーまたは移動により第2のファイルに記録し、管理データにより記録情報を示すことを特徴とする請求項1記載の放送映像音声データ記録方法。

10. 放送外関連情報を、前記付属ファイルに記録し、管理データにより放送外関連情報の内容を示すことを特徴とする請求項1記載の放送映像音声データ記録方法。

11. 放送外関連情報を、前記第1～第3のファイル及び前記付属ファイルとは異なる新規のファイルに記録し、管理データにより放送外関連情報の内容を示すことを特徴とする請求項1記載の放送映像音声データ記録方法。

12. データ放送には、番組連動型データ放送、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、または文字放送が含まれることを特徴とする請求項4記載の放送映像音声データ記録方法。

13. 番組連動型データ放送を第2のファイルに記録し、独立型データ放送、

オーディオ放送またはラジオ放送、または文字放送を前記付属ファイルに記録することを特徴とする請求項 1 2 記載の放送映像音声データ記録方法。

14. コピーまたは移動するデータは、動画データ、音声データ、静止画データ、アニメーション、文字データ、ゲームデータ、電子プログラムガイドデータ、グラフィックデータ、立体映像データのうち全部、または一部であることを特徴とする請求項 2 記載の放送映像音声データ記録方法。

15. 放送外関連情報が、放送に関連するインターネット情報、番組付加情報、ディレクターズカット情報、ディレクターズコメント情報、E コマース情報、チャット情報、予告情報といったインターネット付加情報、インターネット放送情報のうち全部または一部であることを特徴とする請求項 1 1 記載の放送映像音声データ記録方法。

16. 管理データを記録した第 1 のファイルと、入力した放送映像音声データおよびコピーまたは移動の結果得られた記録放送映像音声データのうち、少なくとも一方を格納データとして記録するデータファイルとを有し、前記データファイルには、前記格納データが前記管理データを示すフォーマットで記録されることを特徴とする放送映像音声データ記録方法。

17. TS で表現された放送映像音声データを第 2 のファイルに記録すると共に、PS で表現された放送映像音声データを第 3 のファイルに記録し、前記第 2 および／または第 3 のファイルの記録データを選択的に前記データファイルにコピーまたは移動することを特徴とする請求項 1 6 記載の放送映像音声データ記録方法。

18. 前記データファイルとして、入力した放送映像音声データ、または前記第 2 または第 3 のファイルに記録された記録データの少なくとも一部をコピーまたは移動したデータを前記格納データとして格納する第 4 のファイルを備えていることを特徴とする請求項 1 7 記載の放送映像音声データ記録方法。

19. 管理データとして、放送記録ファイル識別フラグ、放送外関連情報記録ファイル識別フラグ、放送識別フラグ、放送外関連情報識別フラグのうち全部または一部を持ち、これらのフラグにより、放送映像音声データが記録されたファイル、放送外関連情報が記録されたファイル、記録された放送映像音声データ

の内容、記録された放送外関連情報の内容、のうち全部または一部を示すことを特徴とする請求項 16 記載の放送映像音声データ記録方法。

20. 放送記録ファイル識別フラグ、放送外関連情報記録ファイル識別フラグが、

相当するファイルに、データ放送なしデジタル通常放送、番組連動型データ放送付デジタル通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、文字放送、アナログ放送がそれぞれ記録されているか否か、またはそれぞれの放送が記録されているファイルを示し、あるいは相当するファイルに、放送外関連情報が記録されているか否か、または放送外関連情報が記録されているファイルを示し、

放送識別フラグ、放送外関連情報識別フラグが、

相当するストリームに、データ放送なしデジタル通常放送、番組連動型データ放送付デジタル通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、文字放送、アナログ放送、または放送外関連情報がそれぞれ記録されているか否か、記録されている放送データないし放送外関連情報のうち、直接記録または他のファイルからコピーまたは移動されたデータが、直接記録かコピーか移動かの別、コピーまたは移動のときソースが存在するかどうかと存在するときファイル名、ソースストリーム名、ソースストリームナンバー、

コピーまたは移動、かつソースが分かっているときソースデータと記録データに関して、その他のとき記録データに関して、データが動画／音声／静止画／アニメーション／文字データ／ゲームデータ／電子プログラムガイドデータ／グラフィックデータ／立体映像データの別、動画の場合、動画データ圧縮方式、音声の場合音声データ圧縮方式、静止画の場合静止画データ圧縮方式、アニメーションの場合アニメーションデータ圧縮方式、文字データの場合文字データ圧縮表示方式、ゲームデータの場合ゲームデータ方式、電子プログラムガイドデータの場合電子プログラムガイド方式、グラフィックデータの場合グラフィックデータ方式、立体映像データの場合立体映像データ方式、およびストリーム形式、放送外関連情報が通常インターネットデータかストリーミングデータかその他のデータかを示すフラグ、のうち全部、または一部を示すことを特徴とする請求項 19 に

記載の放送映像音声データ記録方法。

21. 第1のファイルに管理データとして、

放送記録ファイル識別フラグ、放送外関連情報記録ファイル識別フラグ、放送識別フラグ、放送外関連情報識別フラグ、および、

データ放送の伝送方式としてデータカルーセルモードか/イベントメッセージ伝送モードか/両者を含むモードかを示すフラグ、データカルーセル放送の場合放送された全データを記録するモードか/更新データのみ記録するモードかを示すフラグ、ニュース・天気予報・株式情報など更新可能なデータ放送において新しいデータによる古いデータ自動更新をOFFとするかONとするかを示すフラグ、最新データ更新開始時刻/終了時刻、タイムマップが存在するか、しないかを示すフラグ、通常放送ストリームか蓄積型放送ストリームかを示すフラグ、のうち全部、または一部が記録されることを特徴とする請求項1記載の放送映像音声データ記録方法。

22. 動画データ圧縮方式として MPEG ビデオか H. 264 ビデオか Windows (登録商標) Media ビデオかの種別、音声データ圧縮方式として MPEG オーディオか Dolby オーディオか DTS オーディオかの種別、静止画データ圧縮方式として JPEG か PNG かの種別、を示すことを特徴とする、請求項20記載の放送映像音声データ記録方法。

23. 請求項1に記載された記録方法でデータを記録する放送映像音声データ記録装置、および/または、請求項1に記載された記録方法で記録されたデータを再生する放送映像音声データ再生装置。

24. 請求項16に記載された記録方法でデータを記録する放送映像音声データ記録装置、および/または、請求項16に記載された記録方法で記録されたデータを再生する放送映像音声データ再生装置。

25. 請求項1に記載された記録方法で記録が行われた放送映像音声データ記録媒体。

26. 請求項16に記載された記録方法で記録が行われた放送映像音声データ記録媒体。

27. 互いに異なるフォーマットを有するデータストリームをそれぞれ互い

に異なるファイルに格納し、格納されたデータストリーム間相互のフォーマット変換を行って、当該変換されたフォーマットに適合したデータを追加することによりデータストリームを記録するデータストリーム記録方法。

28. 請求項27において、前記データストリームはトランスポートストリーム(TS)とプログラムストリーム(PS)とを含んでいることを特徴とするデータストリーム記録方法。

29. 請求項27において、前記トランスポートストリーム(TS)は放送データストリームであり、他方、プログラムストリーム(PS)は非放送データストリーム又は放送から発生したストリームであり、前記TS及びPSを識別する管理データを別のファイルに格納することを特徴とするデータストリーム記録方法。

30. 互いに異なるフォーマットを有するデータストリームをそれぞれ格納する2つのファイルと、これら互いに異なるデータストリーム間のフォーマット変換を行う手段と、変換されたデータストリームを変換されたデータストリームのフォーマットに従って格納する別のファイルとを含み、当該別のファイルからのデータストリームを再生することを特徴とするデータストリーム記録再生装置。

31. 請求項30において、更に、前記互いに異なるデータストリームを識別するデータ格納手段を備えていることを特徴とするデータストリーム記録再生装置。

32. 互いに異なるフォーマットを有するデータストリームに対応できるフォーマットを備えたことを特徴とする記録媒体。

33. 管理データを第1のファイルに記録し、放送をTS (Transport Stream) で表現したストリームを第2のファイルに記録し、映像音声をPS (Program Stream) で表現したストリームを第3のファイルに記録すると共に、前記第1～第3のファイルとは異なる付属ファイルを有し、管理データにより、各ファイルに記録された放送映像音声データの内容を示すことを特徴とする放送映像音声データ記録装置。

34. 請求項33において、前記付属ファイルは、入力した放送映像音声のうち全部または一部、または、第2または第3のファイルに記録された放送映像

音声のうち全部または一部からコピーまたは移動したものを記録する第4のファイルを含んでいることを特徴とする放送映像音声データ記録装置。

35. 請求項33において、前記付属ファイルは、入力した放送映像音声のうち全部または一部、または、第2または第3のファイルに記録された放送映像音声のうち全部または一部からコピーまたは移動したものを、同じ符号化フォーマットを持つ動画、同じ符号化フォーマットを持つ音声、同じ符号化フォーマットを持つ静止画、同じ符号化フォーマットを持つアニメーション、同じ符号化フォーマットを持つ文字データ、同じ符号化フォーマットを持つゲームデータ、同じ符号化フォーマットを持つ電子プログラムガイドデータ、同じ符号化フォーマットを持つグラフィックデータ、同じ符号化フォーマットを持つ立体映像データ同士を組み合わせ、それぞれ個別に記録するファイルを含み、管理データにより、各ファイルに記録された放送映像音声データの内容を示すことを特徴とする、放送映像音声データ記録装置。

36. 請求項33において、前記第2または第3のファイルはデータ放送を記録すると共に、前記付属ファイルは、入力した放送映像音声のうち全部または一部、または、第2または第3のファイルに記録された放送映像音声のうち全部または一部からコピーまたは移動したものを記録する第4または第5のファイルを含み、管理データにより、各ファイルに記録された放送映像音声データの内容を示すことを特徴とする、放送映像音声データ記録装置。

37. 請求項36において、入力した放送映像音声のうち全部または一部、または、第2または第3のファイルに記録された放送映像音声のうち全部または一部からコピーまたは移動したものを、同じ符号化フォーマットを持つ動画、同じ符号化フォーマットを持つ音声、同じ符号化フォーマットを持つ静止画、同じ符号化フォーマットを持つアニメーション、同じ符号化フォーマットを持つ文字データ、同じ符号化フォーマットを持つゲームデータ、同じ符号化フォーマットを持つ電子プログラムガイドデータ、同じ符号化フォーマットを持つグラフィックデータ、同じ符号化フォーマットを持つ立体映像データ同士組み合わせ、それぞれ個別に記録するファイルを含み、管理データにより、各ファイルに記録された放送映像音声データの内容を示すことを特徴とする、放送映像音声データ記録

装置。

38. 請求項33に記載された放送映像音声データ記録装置に記録されたデータを前記第1のファイルの管理データを参照して再生する手段を備えていることを特徴とする放送映像音声データ再生装置。

39. 前記付属ファイル中のデータには、動画、音声、静止画、アニメーション、文字データ、ゲームデータ、電子プログラムガイドデータ、グラフィックデータ、または立体映像データそれぞれに対して、当該データのヘッダー情報が付加されていることを特徴とする請求項33記載の放送映像音声データ記録装置。

40. 前記付属ファイル中のデータには、同じフォーマットの動画、同じフォーマットの音声、同じフォーマットの静止画、同じフォーマットのアニメーション、同じフォーマットの文字データ、同じフォーマットのゲームデータ、同じフォーマットの電子プログラムガイドデータ、同じフォーマットのグラフィックデータ、または同じフォーマットの立体映像データそれぞれをまとめ、まとめられたデータに対して、当該データのヘッダー情報が付加されていることを特徴とする請求項33記載の放送映像音声データ記録装置。

41. ヘッダー情報が、

データ放送なしデジタル通常放送、番組連動型データ放送付デジタル通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、文字放送、アナログ放送、または放送外関連情報がそれぞれ記録されているか否かを示すフラグ、
記録されている放送データないし放送外関連情報のうち、直接記録または他のファイルからコピーまたは移動されたデータが、直接記録かコピーか移動かの別を示すフラグ、

コピーまたは移動のときソースが存在するかどうかを示すフラグ、

ソースが存在するときファイル名、ソースストリーム名、ソースストリームナンバー、

コピーまたは移動、かつソースが分かっているときソースデータと記録データに関して、その他のとき記録データに関して、それぞれ、データが動画／音声／静止画／アニメーション／文字データ／ゲームデータ／電子プログラムガイドデータ／グラフィックデータ／立体映像データの別を示すフラグ、

動画の場合動画データ圧縮方式、音声の場合音声データ圧縮方式、静止画の場合静止画データ圧縮方式、アニメーションの場合アニメーションデータ圧縮方式、文字データの場合文字データ圧縮表示方式、ゲームデータの場合ゲームデータ方式、電子プログラムガイドデータの場合電子プログラムガイド方式、グラフィックデータの場合グラフィックデータ方式、立体映像データの場合立体映像データ方式、およびストリーム形式、放送外関連情報が通常インターネットデータかストリーミングデータかその他のデータかを示すフラグ、

ジャンル、コンテンツ情報、サムネイル情報、レジュームマーカ情報、プロテクト情報、仮消去情報、ブックマーク情報、プレイリスト情報、静止画再生時間情報、同期オーディオ情報、オーディオアフレコ情報、

ヘッダー長、データ長、の少なくとも一部を含んでいることを特徴とする請求項 3 3 記載の放送映像音声データ記録装置。

4 2. ヘッダー情報に、

データ放送の伝送方式としてデータカルーセルモードか／イベントメッセージ伝送モードか／両者を含むモードかを示すフラグ、データカルーセル放送の場合放送された全データを記録するモードか／更新データのみ記録するモードかを示すフラグ、ニュース・天気予報・株式情報など更新可能なデータ放送において新しいデータによる古いデータ自動更新を OFF とするか ON とするかを示すフラグ、最新データ更新開始時刻／終了時刻、タイムマップが存在するかないかを示すフラグ、通常放送ストリームか蓄積型放送ストリームかを示すフラグ、のうち全部、または一部が追加されることを特徴とする、請求項 4 1 記載の放送映像音声データ記録装置。

4 3. 動画データ圧縮方式として MPEG ビデオか H. 264 ビデオか Windows (登録商標) Media ビデオかの種別、音声データ圧縮方式として MPEG オーディオか Dolby オーディオか DTS オーディオかの種別、静止画データ圧縮方式として JPEG か PNG かの種別、を示すことを特徴とする、請求項 4 1 記載の放送映像音声データ記録装置。

4 4. 前記付属ファイルにおいて、そのファイルに記録されている動画／音声／静止画／アニメーション／文字データ／ゲームデータ／電子プログラムガイ

ドデータ／グラフィックデータ／立体映像データ全体のヘッダー情報をまとめてトータルヘッダー情報として記録することを特徴とする、請求項 33 記載の放送映像音声データ記録装置。

45. トータルヘッダー情報が、請求項 41 に示すヘッダー情報のうち全部、または一部を持つことを特徴とする請求項 44 記載の放送映像音声データ記録装置。

46. 請求項 33 に記載された放送映像音声データ記録装置を用いて記録されたデータ記録媒体。

47. 入力された放送映像音声データを編集することによって得られた編集済データを前記放送映像音声データとは異なるファイルに格納する放送映像音声データの記録方法において、前記編集済データのファイルには、当該編集済データに関するヘッダー情報が当該編集済データと共に格納されることを特徴とする放送映像音声データ記録方法。

48. 請求項 47 において、動画、音声、静止画、アニメーション、文字データ、ゲームデータ、電子プログラムガイドデータ、グラフィックデータ、及び、立体映像データの少なくとも一つのデータのヘッダー情報であることを特徴とする放送映像音声データ記録方法。

49. 請求項 47 において、同じフォーマットの動画、同じフォーマットの音声、同じフォーマットの静止画、同じフォーマットのアニメーション、同じフォーマットの文字データ、同じフォーマットのゲームデータ、同じフォーマットの電子プログラムガイドデータ、同じフォーマットのグラフィックデータ、または同じフォーマットの立体映像データそれぞれをまとめ、まとめられたデータに対して割り当てられた、当該データをあらわすヘッダー情報であることを特徴とする放送映像音声データ記録方法。

50. 請求項 47 において、前記ヘッダー情報は、

データ放送なしデジタル通常放送、番組連動型データ放送付デジタル通常放送、独立型データ放送、オーディオ放送またはラジオ放送、文字放送、アナログ放送、または放送外関連情報がそれぞれ記録されているか否かを示すフラグ、

記録されている放送データないし放送外関連情報のうち、直接記録または他の

ファイルからコピーまたは移動されたデータが、直接記録かコピーか移動かの別を示すフラグ、

コピーまたは移動のときソースが存在するかどうかを示すフラグ、

ソースが存在するときファイル名、ソースストリーム名、ソースストリームナンバー、

コピーまたは移動、かつソースが分かっているときソースデータと記録データに関して、その他のとき記録データに関して、それぞれ、データが動画／音声／静止画／アニメーション／文字データ／ゲームデータ／電子プログラムガイドデータ／グラフィックデータ／立体映像データの別を示すフラグ、

動画の場合動画データ圧縮方式、音声の場合音声データ圧縮方式、静止画の場合静止画データ圧縮方式、アニメーションの場合アニメーションデータ圧縮方式、文字データの場合文字データ圧縮表示方式、ゲームデータの場合ゲームデータ方式、電子プログラムガイドデータの場合電子プログラムガイド方式、グラフィックデータの場合グラフィックデータ方式、立体映像データの場合立体映像データ方式、およびストリーム形式、放送外関連情報が通常インターネットデータかストリーミングデータかその他のデータかを示すフラグ、

ジャンル、コンテンツ情報、サムネイル情報、レジュームマーカー情報、プロテクト情報、仮消去情報、ブックマーク情報、プレイリスト情報、静止画再生時間情報、同期オーディオ情報、オーディオアフレコ情報、

ヘッダー長、データ長、の少なくとも一部を含んでいることを特徴とする放送映像音声データ記録方法。

51. 請求項50において、ヘッダー情報に、

データ放送の伝送方式としてデータカルーセルモードか／イベントメッセージ伝送モードか／両者を含むモードかを示すフラグ、データカルーセル放送の場合放送された全データを記録するモードか／更新データのみ記録するモードかを示すフラグ、ニュース・天気予報・株式情報など更新可能なデータ放送において新しいデータによる古いデータ自動更新をOFFとするかONとするかを示すフラグ、最新データ更新開始時刻／終了時刻、タイムマップが存在するかしないかを示すフラグ、通常放送ストリームか蓄積型放送ストリームかを示すフラグ、のうち全

部、または一部が追加されることを特徴とする放送映像音声データ記録方法。

52. 入力された放送映像音声データを、当該放送映像音声データを再生する再生装置で再生可能なフォーマットに変換し、当該変換した状態で記録することを特徴とする放送映像音声データ記録方法。

53. 請求項47の放送映像音声データ記録方法によって記録されたデータを記録したデータ記録媒体。

54. 請求項47の放送映像音声データ記録方法によって記録を行うことを特徴とするデータ記録装置。

55. 請求項47の放送映像音声データ記録方法によって記録されたデータを再生するデータ再生装置。

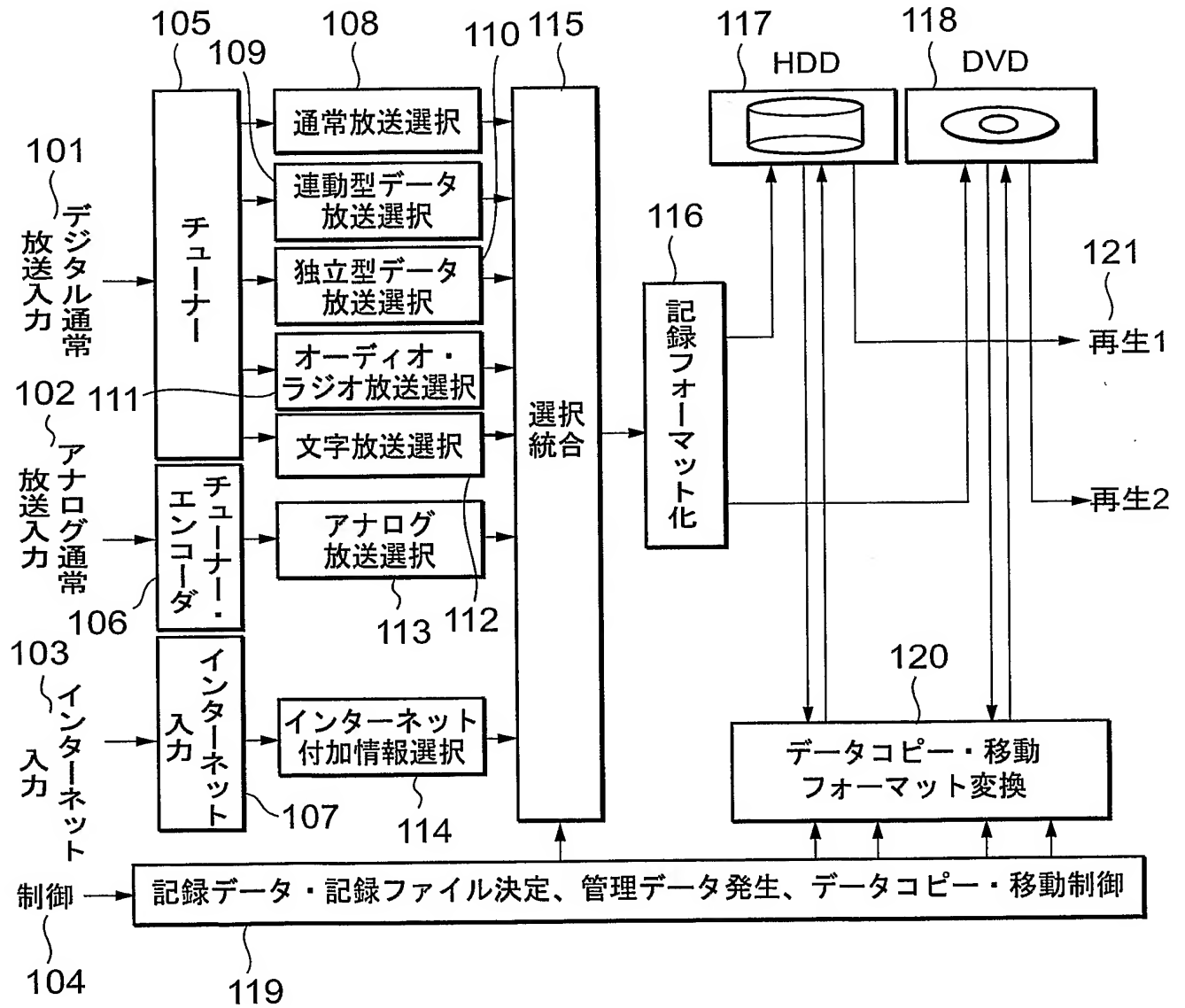


図 1

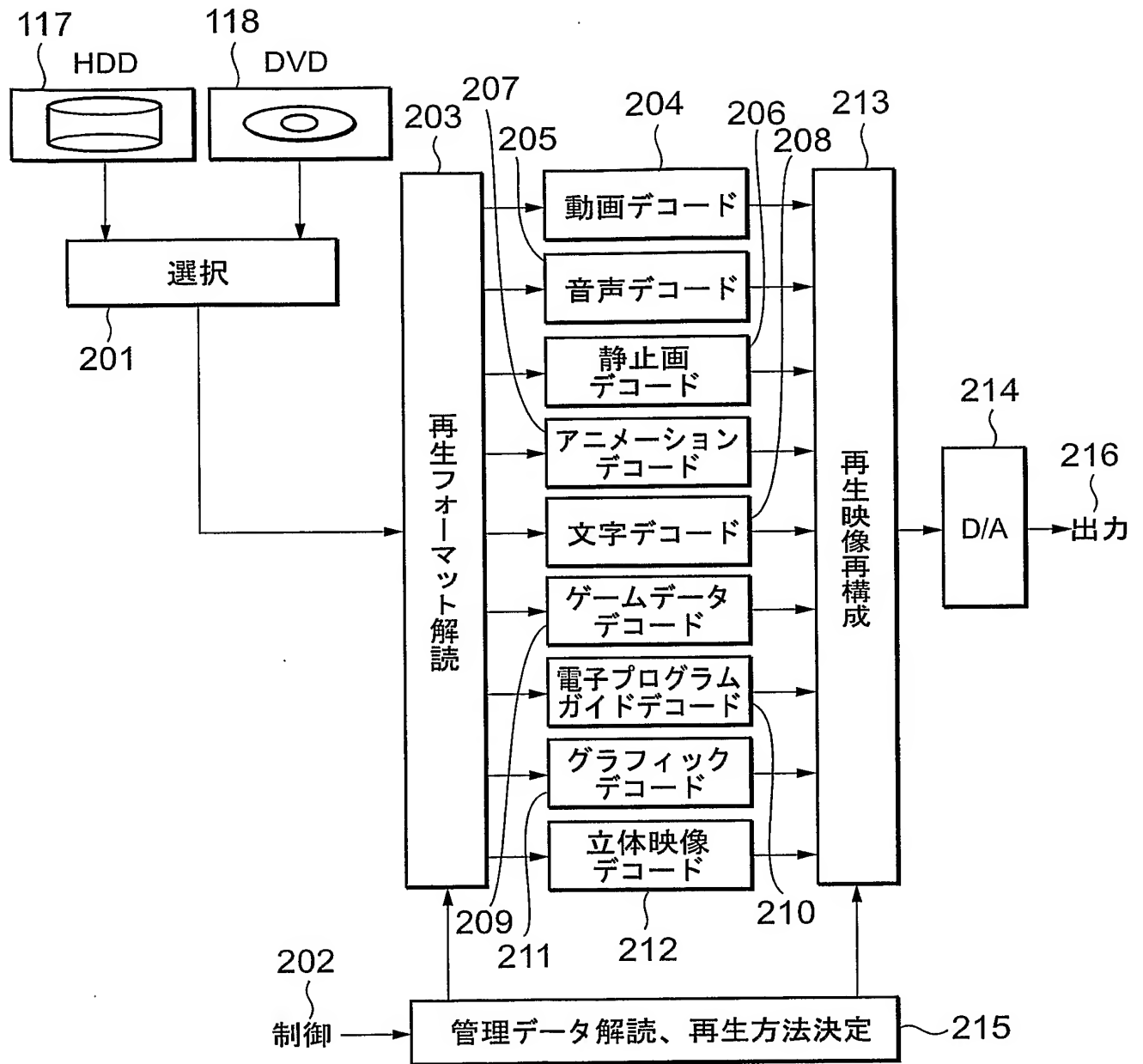


図 2

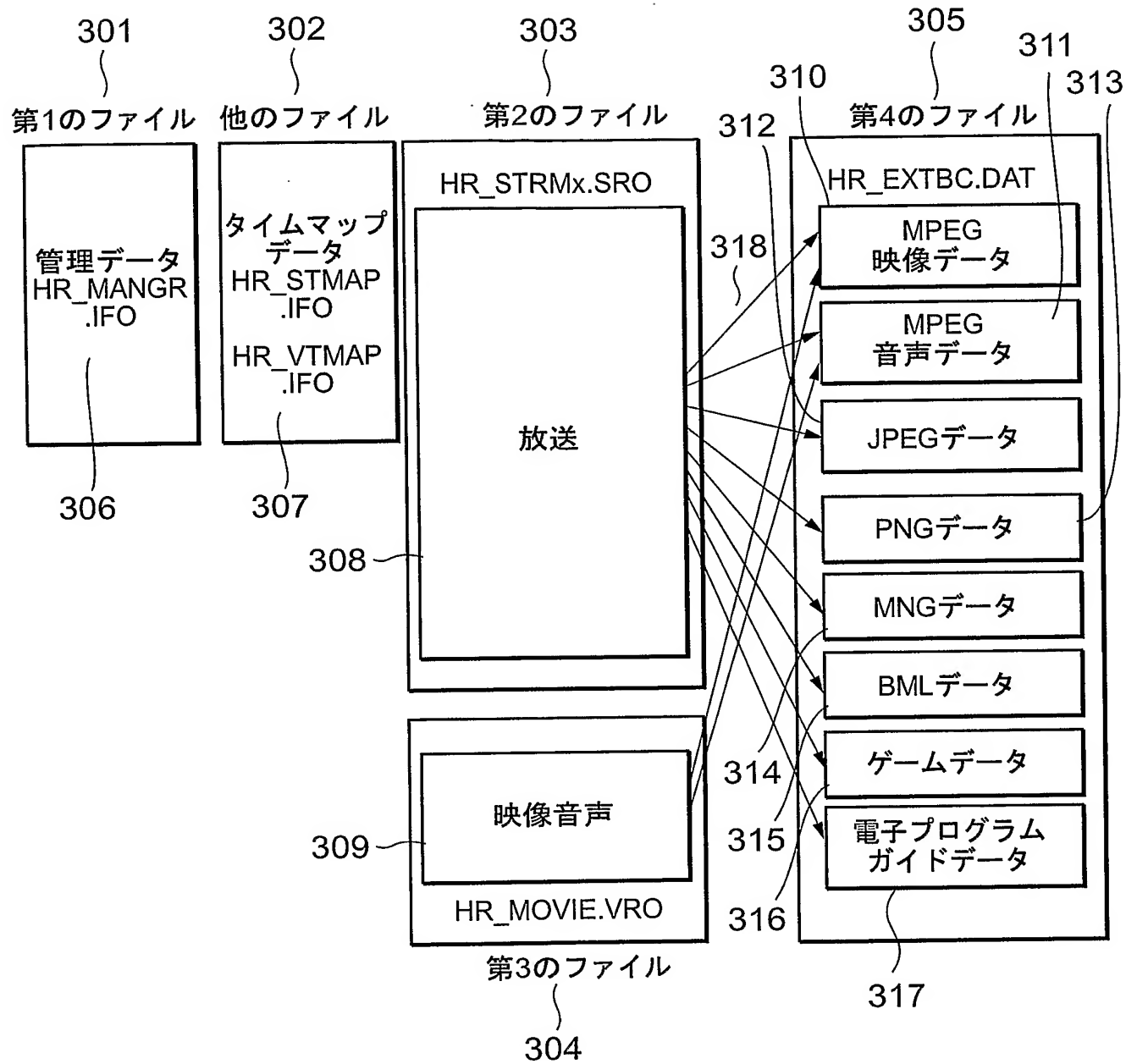


図 3

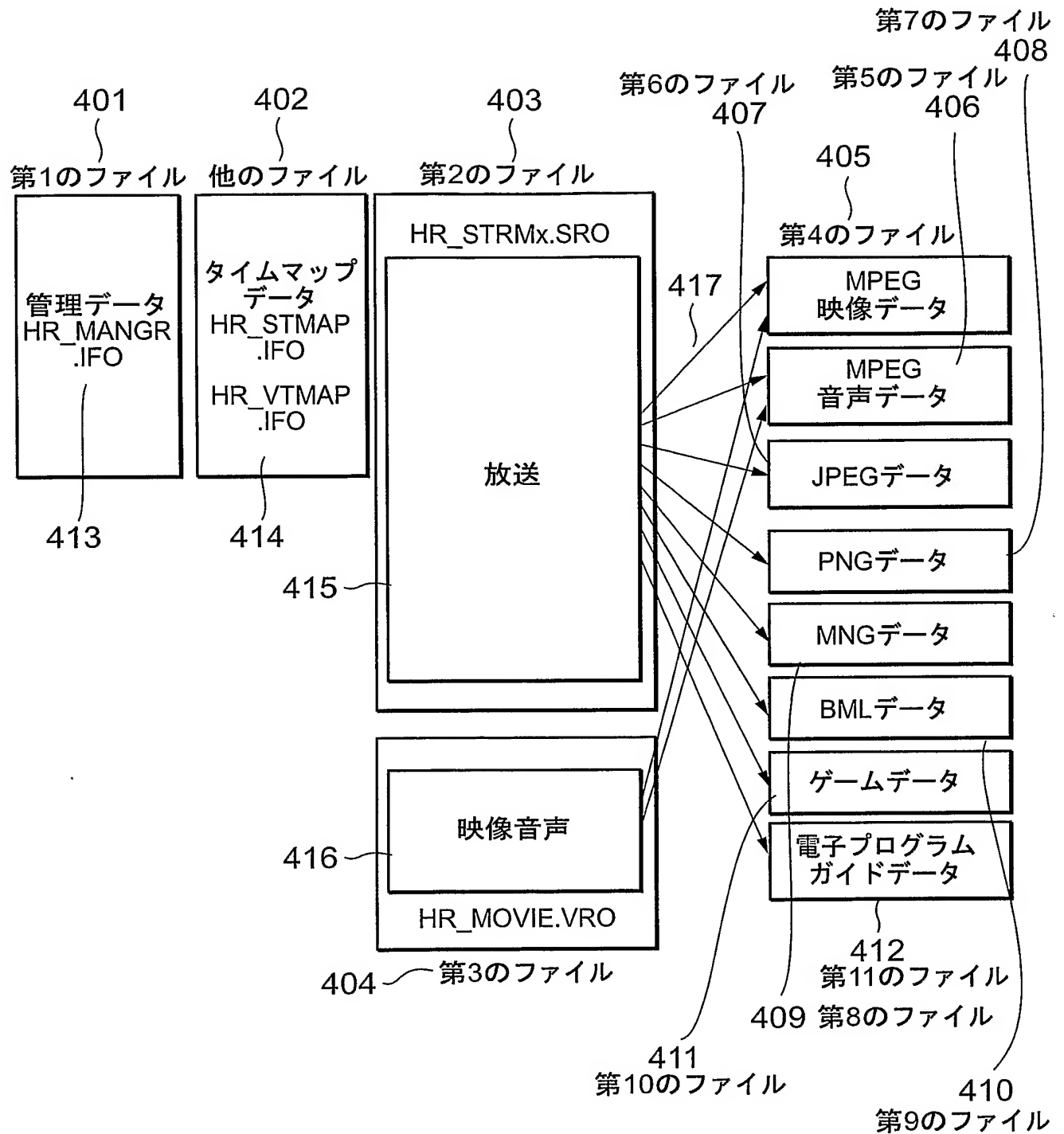


図 4

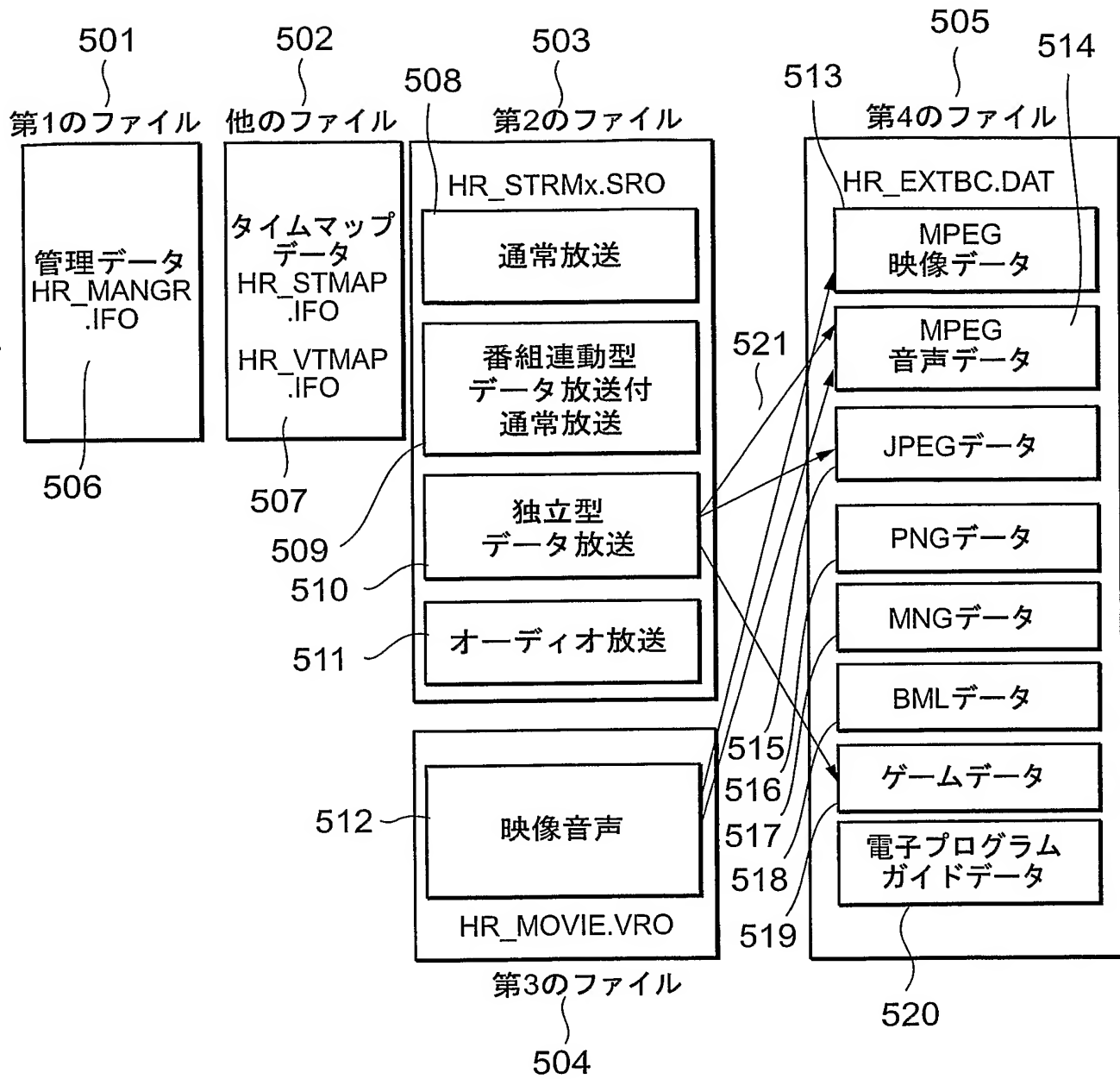


図 5

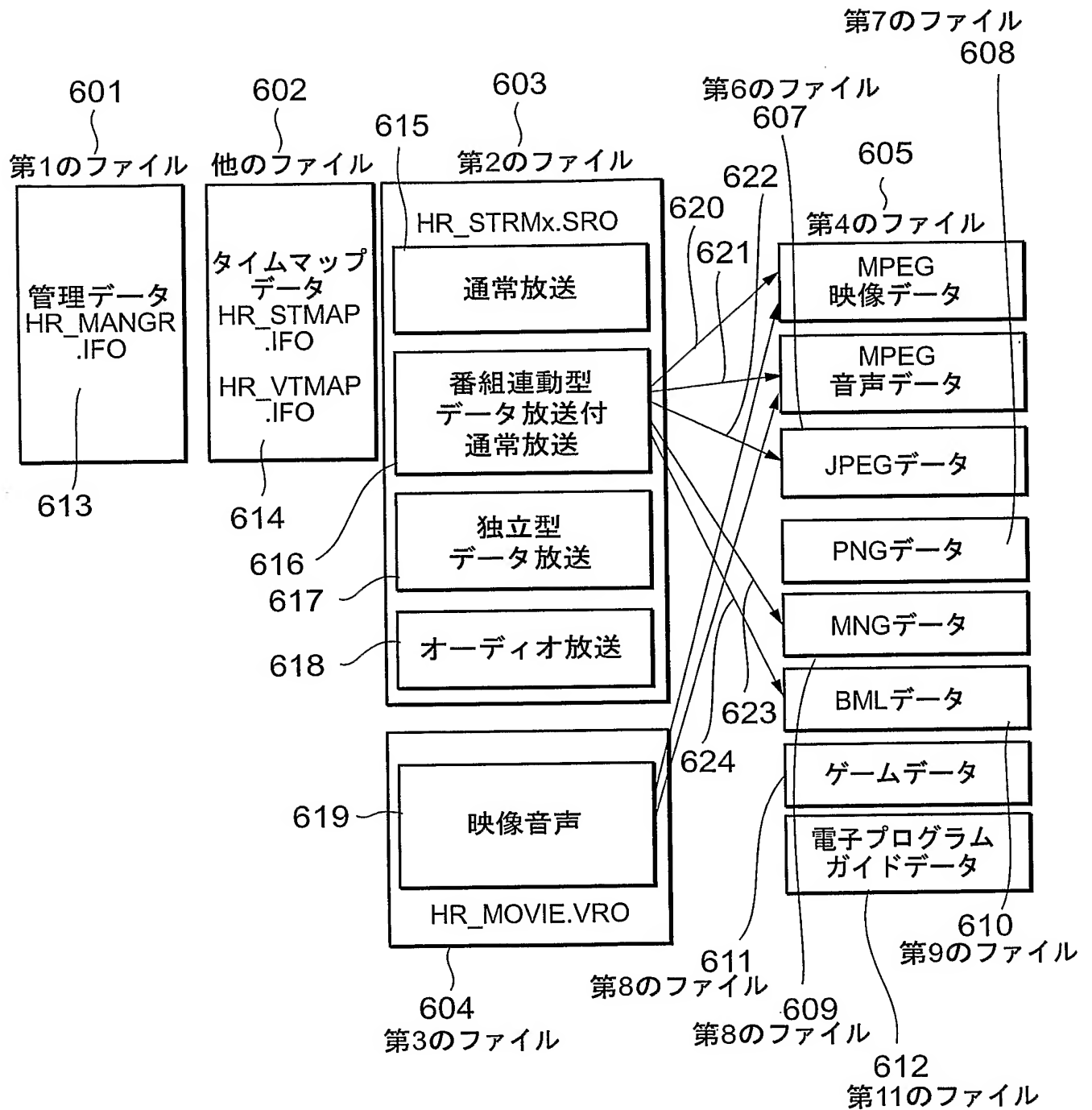


図 6

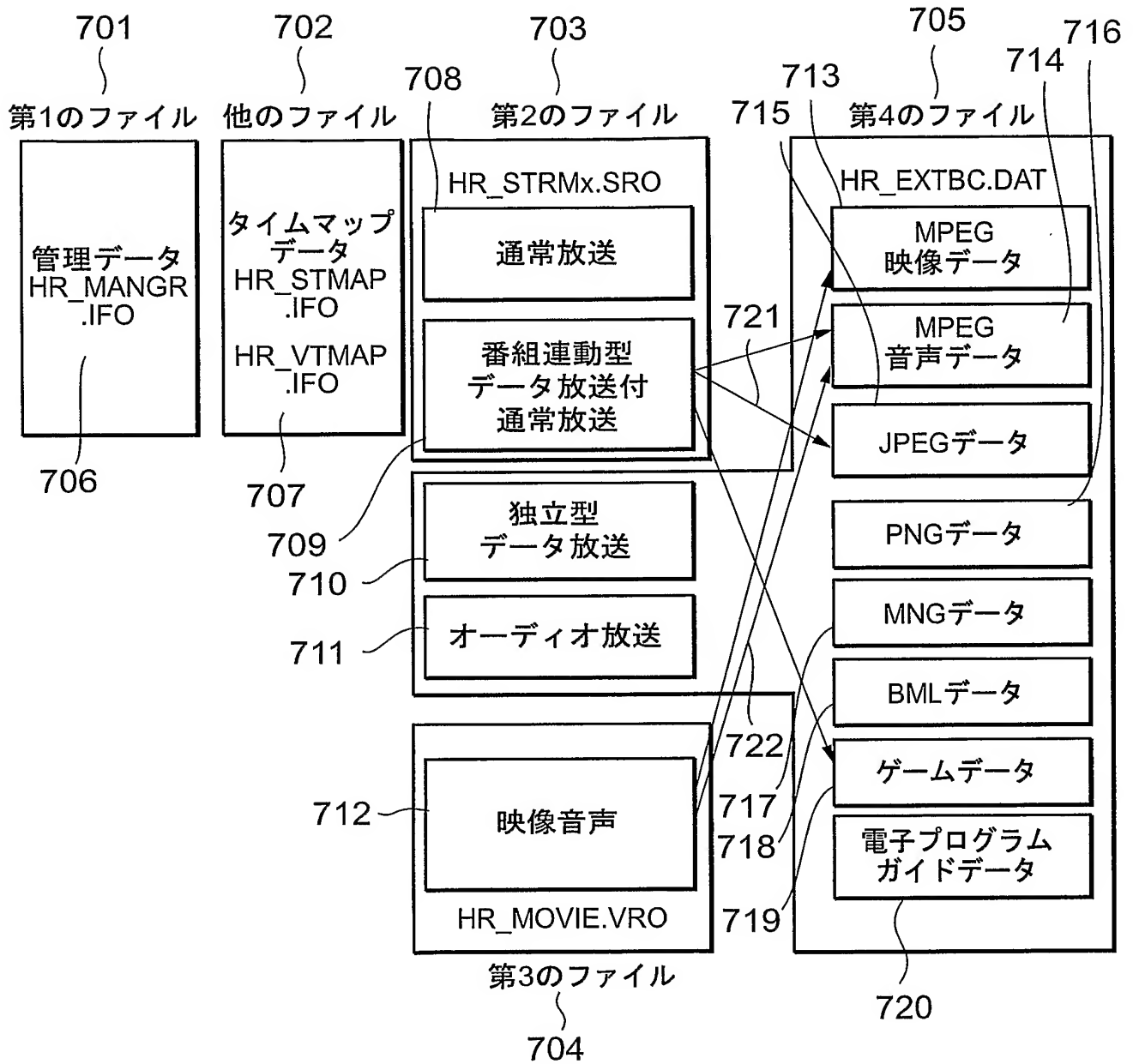


図 7

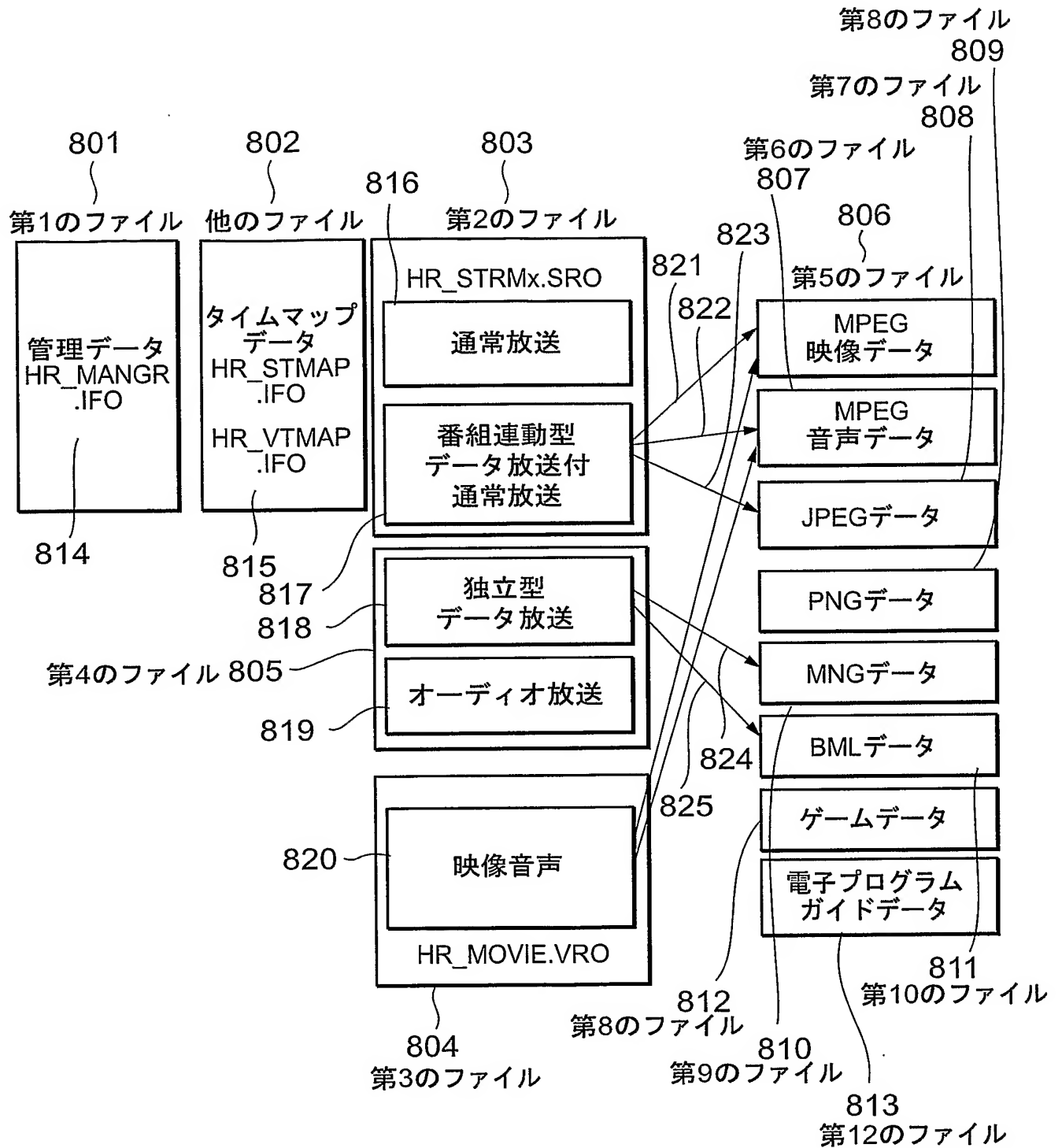


図 8

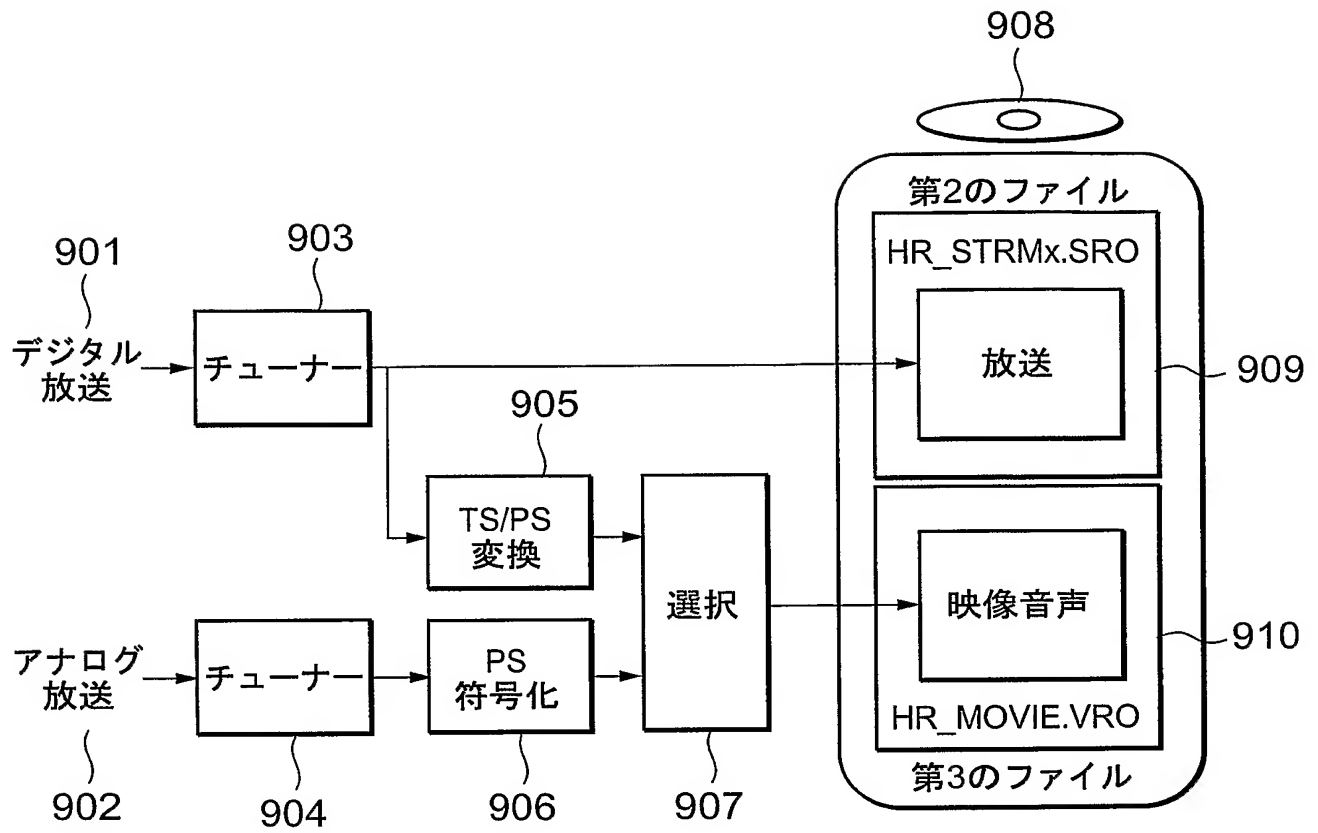


図 9

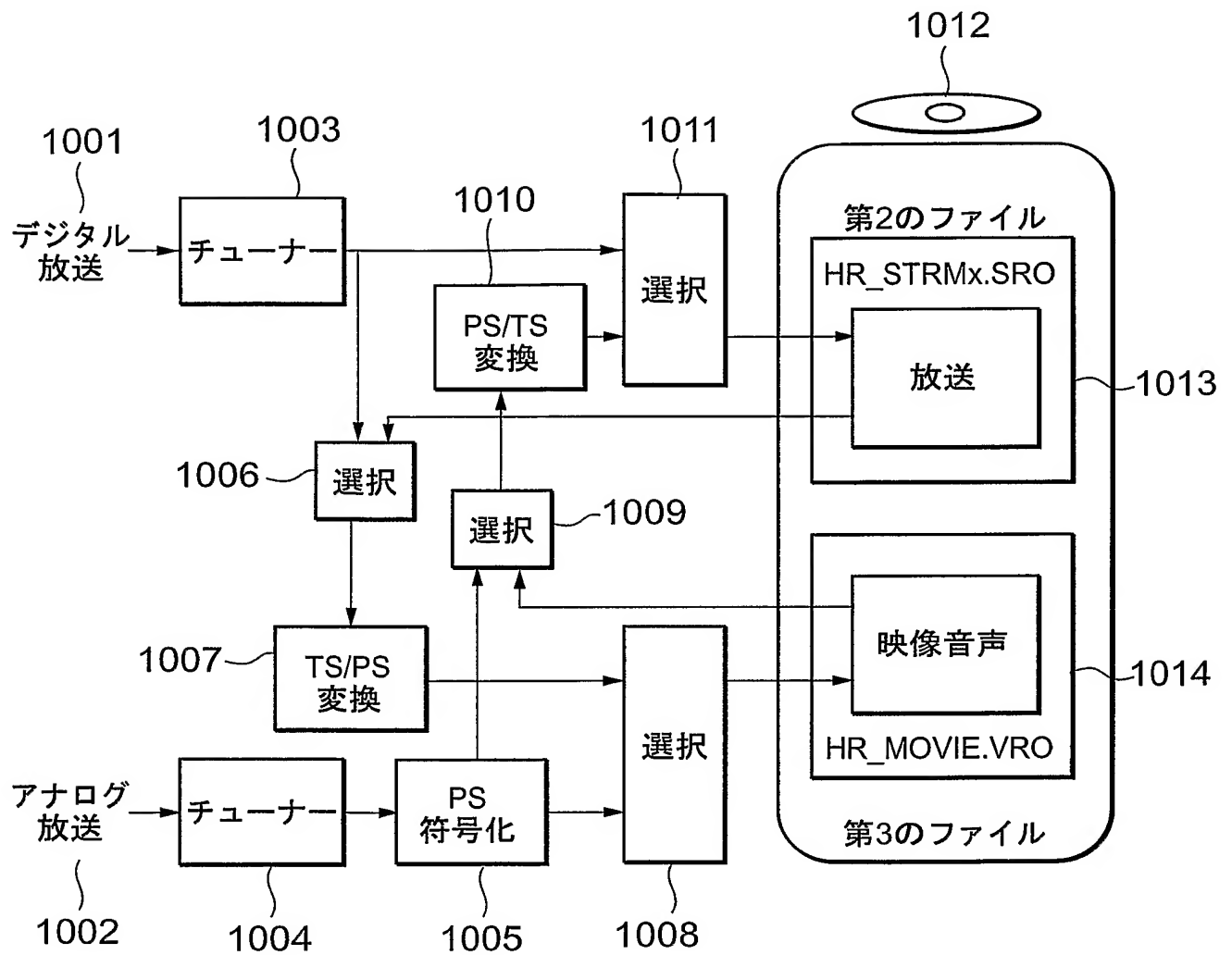


図 10

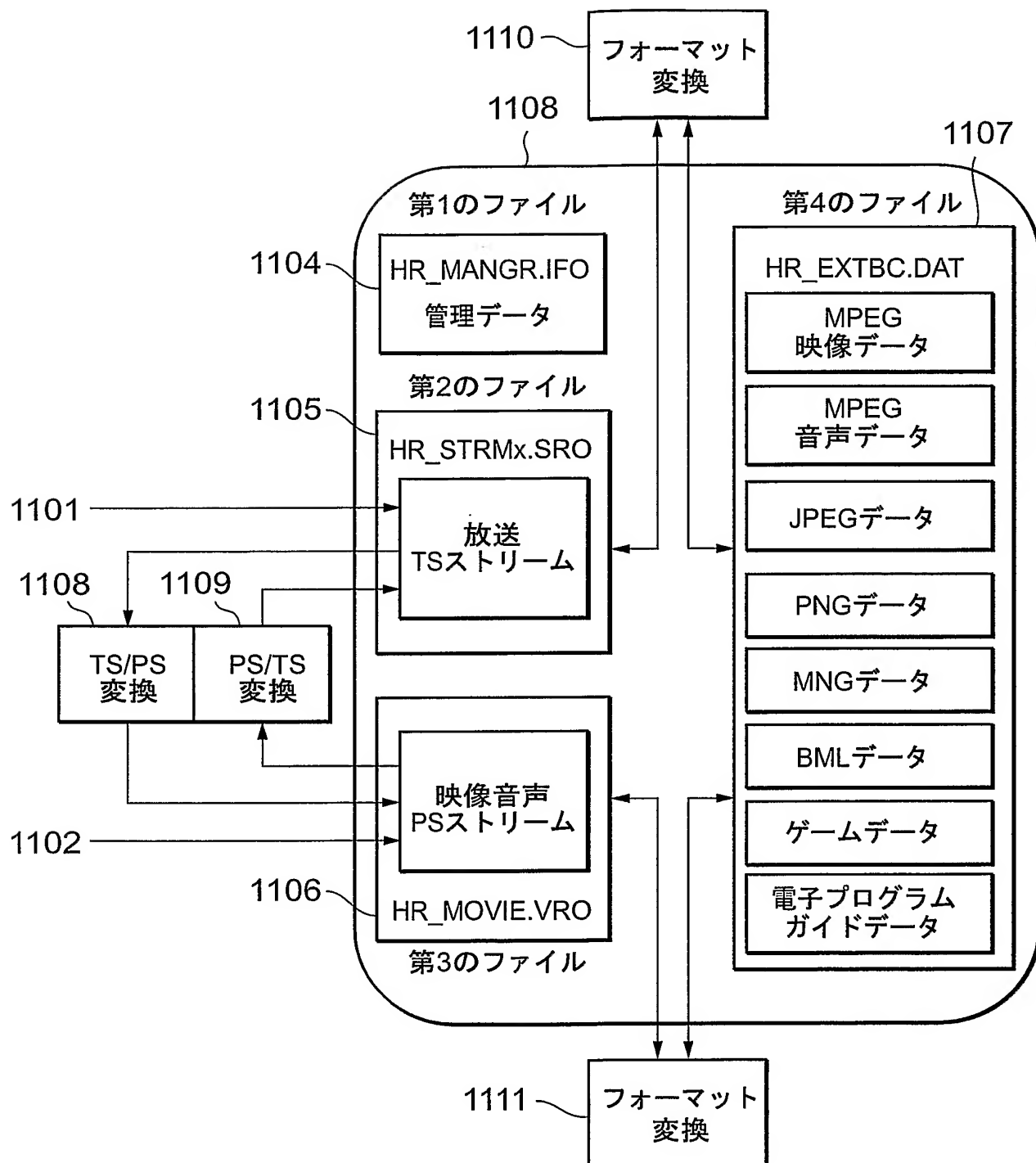


図 11

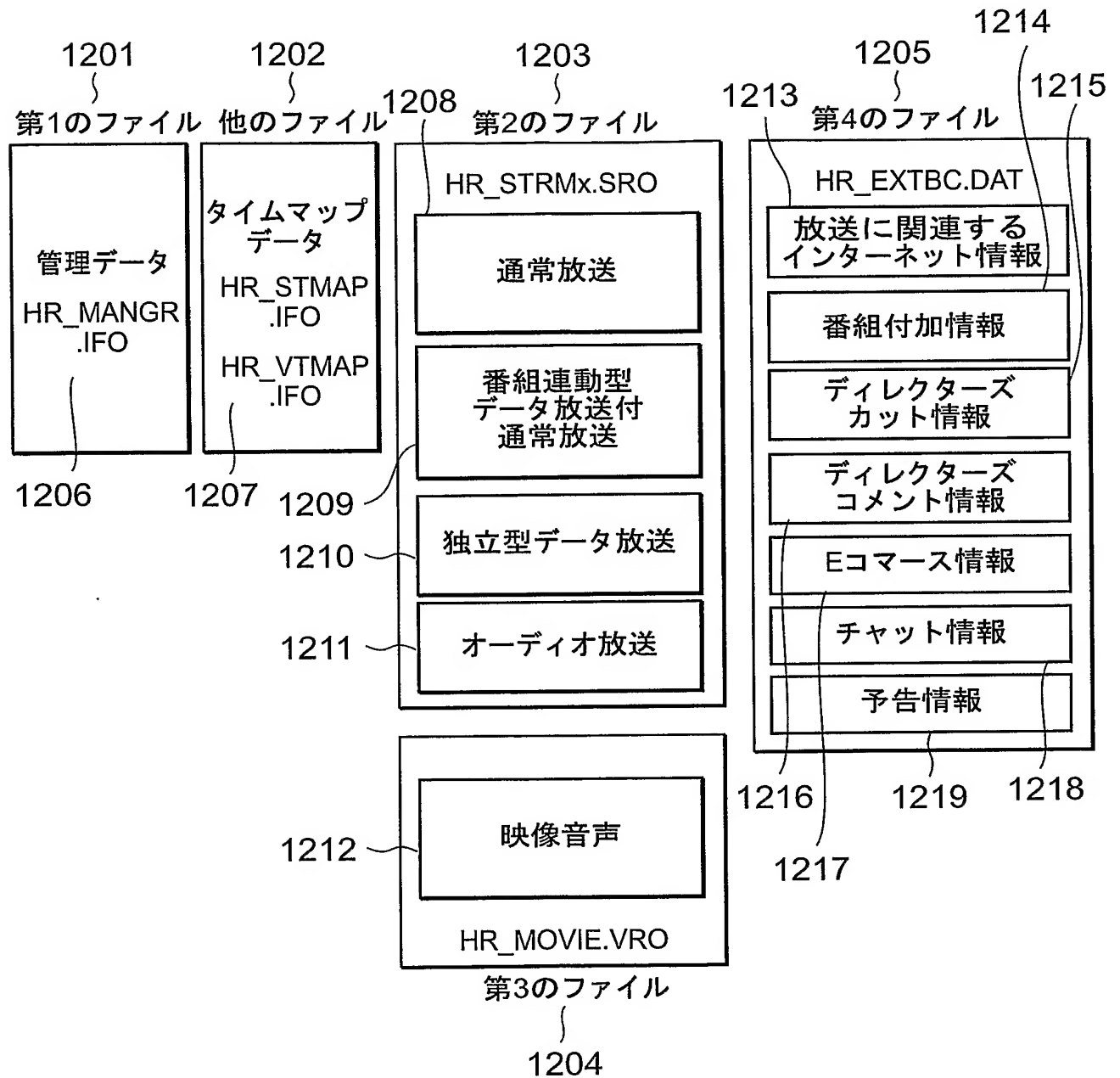


図 12

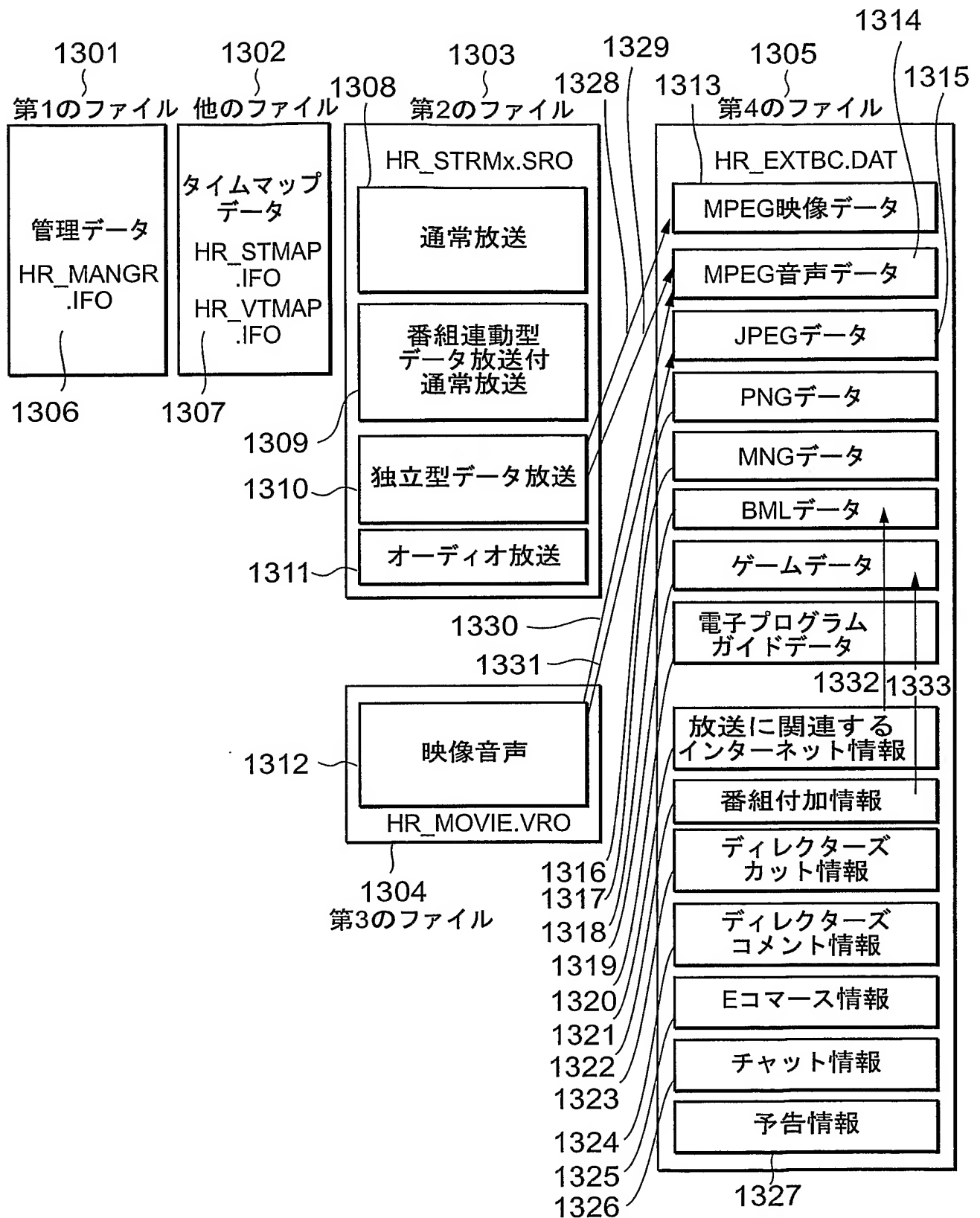


図 13

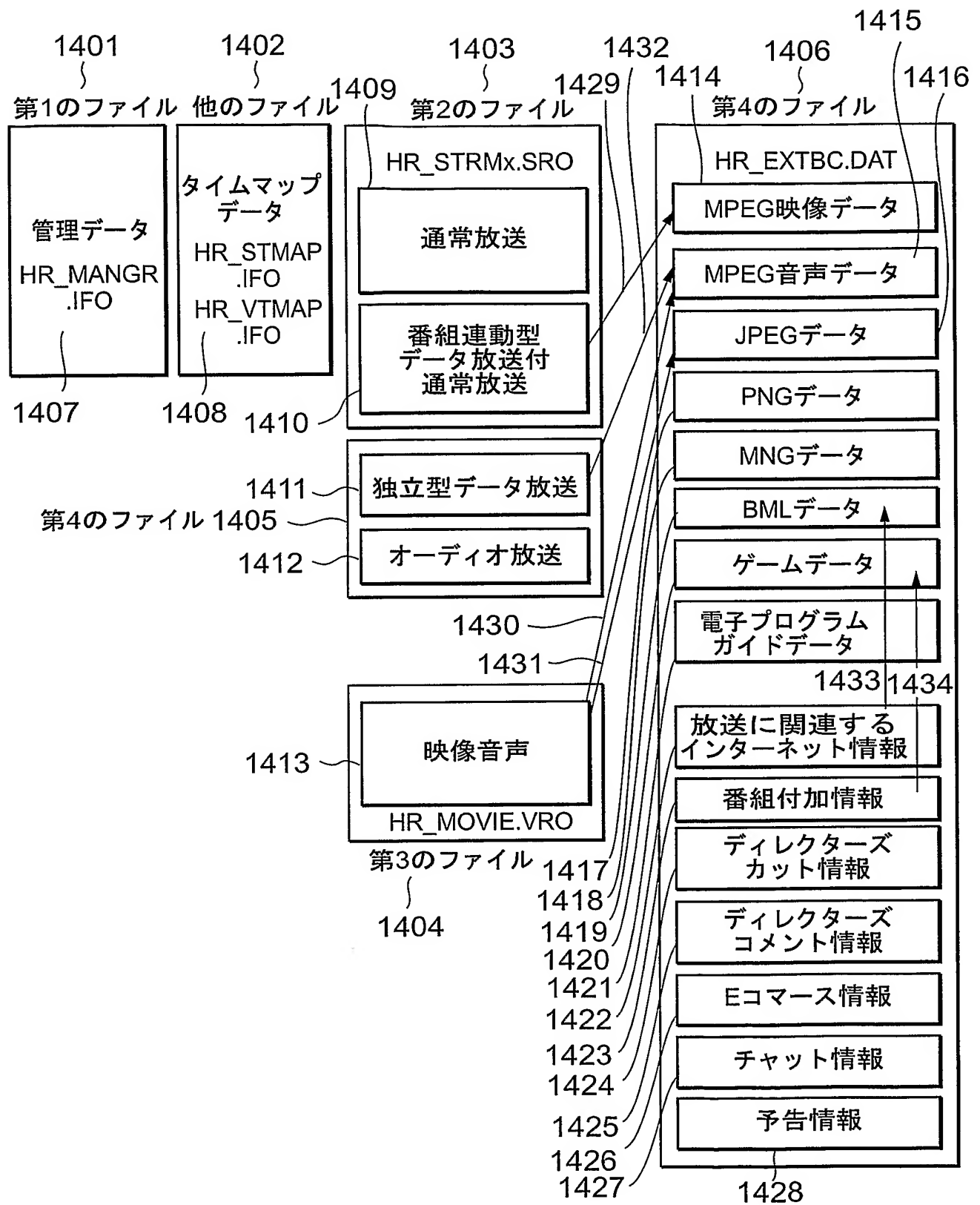


図 14

DVD_HDVR

HR_MANGR.IFO

Stream File Information Table (STM_AVFIT)

STM_AVFIT Information(ファイル全体の情報)

Broadcast recording file ID flag (放送記録ファイル識別フラグ)

第0ビット 0:HR_STRMx.SRO にデータ放送なしデジタル放送が含まれない 1: 含まれる

第1ビット 0:HR_STRMx.SRO に連動型データ放送付デジタル放送が含まれない 1: 含まれる

第2ビット 0:HR_STRMx.SRO に独立データ放送が含まれない 1: 含まれる

第3ビット 0:HR_STRMx.SRO に独立オーディオ(ラジオ)放送が含まれない 1: 含まれる

第4ビット 0:HR_STRMx.SRO に文字放送が含まれない 1: 含まれる

第5ビット 0:HR_STRMx.SRO にアナログ放送が含まれない 1: 含まれる

その他のビット: reserved

Extra broadcast related data recording file ID flag(放送外関連情報記録ファイル識別フラグ)

第0ビット 0:HR_STRMx.SRO に放送外関連情報が含まれない 1: 含まれる

その他のビット: reserved

SOB Stream Information #1~SOB Stream Information #n (各SOBストリームの情報)

Broadcast ID flag (放送識別フラグ)

Broadcast flag (放送フラグ)

第0ビット 0: SOB Stream にデータ放送なしデジタル放送が含まれない 1: 含まれる

第1ビット 0: SOB Stream に連動型データ放送付デジタル放送が含まれない 1: 含まれる

第2ビット 0: SOB Stream に独立データ放送が含まれない 1: 含まれる

第3ビット 0: SOB Stream に独立オーディオ(ラジオ)放送が含まれない 1: 含まれる

第4ビット 0: SOB Stream に文字放送が含まれない 1: 含まれる

第5ビット 0: SOB Stream にアナログ放送が含まれない 1: 含まれる

その他のビット: reserved

Copy move flag (コピーまたは移動)

000: オリジナル、001:コピー、 010:移動、 011~111:その他

Source file information (ソースファイル情報)

000: オリジナル

001: コピーまたは移動データ、かつソース存在せず、またはソース存在場所不明

010: コピーまたは移動データ、かつソースがHR_STRMx.SROに存在

011: コピーまたは移動データ、かつソースがHR_SMOVIE.VROに存在

100: コピーまたは移動データ、かつソースがHR_EXTBC.DATに存在

101~111: reserved

Source stream name(ソースストリーム名)

ソースストリーム名が存在するときストリーム名、存在しないときALL"0"

Source stream number(ソースストリームナンバー)

ソースストリームのSOBナンバー、VOBナンバー、またはExtra Streamナンバー

Source video mode(ソースビデオモード)

000: MPEG-2, 001:MPEG-1, 010:MPEG-4, 011:H.264 100:WM9

101~111: reserved
 Source audio mode (ソースオーディオモード)
 000:MPEG-2 AAC, 001:Dol by AC-3, 010: MPEG-1, 011:MPEG-2 BC
 100:DTS, 101:LPCM, 110~111: reserved
 Source still-picture mode (ソース静止画モード)
 000:JPEG, 001:PNG, 010~111: reserved
 Source animation mode (ソースアニメーションモード)
 000:MNG, 001~111: reserved
 Source Data broadcast mode (ソースデータ放送モード)
 000:BML, 001~111: reserved
 Source Game data mode (ソースゲームデータモード、000~111:reserved)
 Source EPG data mode (ソースEPGデータモード、000~111:reserved)
 Source Graphic mode (ソースグラフィックモード、000~111:reserved)
 Source 3D video mode (ソース立体映像モード、000~111:reserved)
 Source stream mode (ソースストリームモード)
 000:TS, 001: PS, 010:PES, 011:ES
 100~111:reserved
 Recorded data video mode (ビデオモード)
 000:MPEG-2, 001:MPEG-1, 010:MPEG-4, 011:H.264, 100:WM9
 101~111:reserved
 Recorded data audio mode (オーディオモード)
 000:MPEG-2 AAC, 001:Dol by AC-3, 010:MPEG-1, 011:MPEG-2 BC,
 100:DTS, 101:LPCM, 110~111:reserved
 Recorded data still-picture mode (静止画モード)
 000:JPEG, 001:PNG, 010~111: reserved
 Recorded data animation mode (アニメーションモード)
 000:MNG, 001~111: reserved
 Recorded data Data broadcast mode (データ放送モード)
 000:BML, 001~111: reserved
 Recorded data Game data mode (ゲームデータモード、000~111:reserved)
 Recorded data EPG data mode (EPGデータモード、000~111:reserved)
 Recorded data Graphic mode (グラフィックモード、000~111:reserved)
 Recorded data 3D video mode (立体映像モード、000~111:reserved)
 Recorded data stream mode (ストリームモード)
 000:TS, 001:PS, 010:PES, 011:ES
 100~111:reserved
 Extra broadcast related data ID flag (放送外関連情報識別フラグ)
 Extra broadcast related data flag (放送外関連情報フラグ)
 第0ビット 0:SOB Stream に放送外関連情報が含まれない 1:含まれる
 その他のビット :reserved

Broadcast related data content (放送外関連情報コンテンツ)

- 000 : 放送外関連情報が通常のインターネットデータ、
- 001 : ストリーミングデータ
- 010 : その他、 011~111 : reserved

Data broadcast data (データ放送関連データ)

Transmission mode

- 00 : データカルーセルモード
- 01 : イベントメッセージ伝送モード
- 10 : 両者を含む伝送モード
- 11 : reserved

Data Carrousel Auto renewal

- 00 : 放送Data Carrousel 全データ記録モード
- 01 : 放送Data Carrousel 中更新データのみ選択記録モード
- 10~11 : reserved

Refresh flag

- 00 : ニュース、天気予報、株式情報などで、新しいデータによる古いデータ自動更新OFF
- 01 : ニュース、天気予報、株式情報などで、新しいデータによる古いデータ自動更新ON
- 10~11 : reserved

Refresh start time

- 最新データ更新開始時刻(5バイト)
- 年(14ビット)、月(4ビット)、日(5ビット)
- 時(5ビット)、分(6ビット)、秒(6ビット)

Refresh end time

- 最新データ更新終了時刻(5バイト)
- 年(14ビット)、月(4ビット)、日(5ビット)
- 時(5ビット)、分(6ビット)、秒(6ビット)

Time map flag

- 00 : ストリームにタイムマップなし
- 01 : ストリームにタイムマップあり
- 10~11 : reserved

Storage broadcast flag

- 00 : 通常放送ストリーム
- 01 : 蓄積型放送ストリーム
- 10~11 : reserved

Movie AV File Information Table (A_AVFIT)

M_AVFIT Information(ファイル全体の情報)

Broadcast recording file ID flag (放送記録ファイル識別フラグ)

- 第0ビット 0:HR_MOVIE.VOB にデータ放送なしデジタル放送が含まれない 1: 含まれる
- 第1ビット 0:HR_MOVIE.VOB に連動型データ放送付デジタル放送が含まれない 1: 含まれる
- 第2ビット 0:HR_MOVIE.VOB に独立データ放送が含まれない 1: 含まれる
- 第3ビット 0:HR_MOVIE.VOB に独立オーディオ(ラジオ)放送が含まれない 1: 含まれる
- 第4ビット 0:HR_MOVIE.VOB に文字放送が含まれない 1: 含まれる
- 第5ビット 0:HR_MOVIE.VOB にアナログ放送が含まれない 1: 含まれる
- その他のビット: reserved

Extra broadcast related data recording file ID flag(放送外関連情報記録ファイル識別フラグ)

- 第0ビット 0:HR_MOVIE.VOB に放送外関連情報が含まれない 1: 含まれる
- その他のビット: reserved

MOVIE VOB Information #1~MOVIE VOB Information #n (各VOBの情報)

Broadcast ID flag (放送識別フラグ)

Broadcast flag (放送フラグ)

- 第0ビット 0: MOVIE VOB にデータ放送なしデジタル放送が含まれない 1: 含まれる
- 第1ビット 0: MOVIE VOB に連動型データ放送付デジタル放送が含まれない 1: 含まれる
- 第2ビット 0: MOVIE VOB に独立データ放送が含まれない 1: 含まれる
- 第3ビット 0: MOVIE VOB に独立オーディオ(ラジオ)放送が含まれない 1: 含まれる
- 第4ビット 0: MOVIE VOB に文字放送が含まれない 1: 含まれる
- 第5ビット 0: MOVIE VOB にアナログ放送が含まれない 1: 含まれる
- その他のビット: reserved

Copy move flag (コピーまたは移動)

- 000: オリジナル、001:コピー、 010:移動、 011~111:その他

Source file information (ソースファイル情報)

000: オリジナル

001: コピーまたは移動データ、かつソース存在せず、またはソース存在場所不明

010: コピーまたは移動データ、かつソースがHR_STRMx.SROに存在

011: コピーまたは移動データ、かつソースがHR_MOVIE.VROに存在

100: コピーまたは移動データ、かつソースがHR_EXTBC.DATに存在

101~111: reserved

Source stream name(ソースストリーム名)

ソースストリーム名が存在するときストリーム名、存在しないときALL"0"

Source stream number(ソースストリームナンバー)

ソースストリームのSOBナンバー、VOBナンバー、またはExtra Streamナンバー

Source video mode(ソースビデオモード)

000: MPEG-2, 001: MPEG-1, 010: MPEG-4, 011: H.264 100: WM9

101~111: reserved

Source audio mode(ソースオーディオモード)

000: MPEG-2 AAC, 001: Dol by AC-3, 010: MPEG-1, 011: MPEG-2 BC

100: DTS, 101: LPCM, 110~111: reserved

Source still-picture mode (ソース静止画モード)
 000:JPEG, 001:PNG, 010~111: reserved
 Source animation mode (ソースアニメーションモード)
 000:MNG, 001~111: reserved
 Source Data broadcast mode (ソースデータ放送モード)
 000:BML, 001~111: reserved
 Source Game data mode (ソースゲームデータモード、000~111:reserved)
 Source EPG data mode (ソースEPGデータモード、000~111:reserved)
 Source Graphic mode (ソースグラフィックモード、000~111:reserved)
 Source 3D video mode (ソース立体映像モード、000~111:reserved)
 Source stream mode (ソースストリームモード)
 000:TS, 001: PS, 010:PES, 011:ES
 100~111:reserved
 Recorded data video mode (ビデオモード)
 000:MPEG-2, 001:MPEG-1, 010:MPEG-4, 011:H.264, 100:WM9
 101~111:reserved
 Recorded data audio mode (オーディオモード)
 000:MPEG-2 AAC, 001:Dol by AC-3, 010:MPEG-1, 011:MPEG-2 BC
 100:DTS, 101:LPCM, 110~111:reserved
 Recorded data still-picture mode (静止画モード)
 000:JPEG, 001:PNG, 010~111: reserved
 Recorded data animation mode (アニメーションモード)
 000:MNG, 001~111: reserved
 Recorded data Data broadcast mode (データ放送モード)
 000:BML, 001~111: reserved
 Recorded data Game data mode (ゲームデータモード、000~111:reserved)
 Recorded data EPG data mode (EPGデータモード、000~111:reserved)
 Recorded data Graphic mode (グラフィックモード、000~111:reserved)
 Recorded data 3D video mode (立体映像モード、000~111:reserved)
 Recorded data stream mode (ストリームモード)
 000:TS, 001:PS, 010:PES, 011:ES
 100~111:reserved
 Extra broadcast related data ID flag (放送外関連情報識別フラグ)
 Extra broadcast related data flag (放送外関連情報フラグ)
 第0ビット 0:MOVIE VOB に放送外関連情報が含まれない 1:含まれる
 その他のビット :reserved
 Broadcast related data content (放送外関連情報コンテンツ)
 000:放送外関連情報が通常のインターネットデータ, 001:ストリーミングデータ
 010:その他, 011~111:reserved

Extra Broadcast File Information Table (EXT_AVFIT)

EXT_AVFIT Information(ファイル全体の情報)

Broadcast recording file ID flag (放送記録ファイル識別フラグ)

- 第0ビット 0:HR_EXTBC.DAT にデータ放送なしデジタル放送が含まれない 1: 含まれる
- 第1ビット 0:HR_EXTBC.DATに連動型データ放送付デジタル放送が含まれない 1: 含まれる
- 第2ビット 0:HR_EXTBC.DAT に独立データ放送が含まれない 1: 含まれる
- 第3ビット 0:HR_EXTBC.DAT に独立オーディオ (ラジオ) 放送が含まれない 1: 含まれる
- 第4ビット 0:HR_EXTBC.DAT に文字放送が含まれない 1: 含まれる
- 第5ビット 0:HR_EXTBC.DAT にアナログ放送が含まれない 1: 含まれる
- その他のビット: reserved

Extra broadcast related data recording file ID flag(放送外関連情報記録ファイル識別フラグ)

- 第0ビット 0:HR_EXTBC.DATに放送外関連情報が含まれない 1: 含まれる
- その他のビット: reserved

Extra Stream Information #1~Extra Stream Information #n (各ストリームの情報)

Broadcast ID flag (放送識別フラグ)

Broadcast flag (放送フラグ)

- 第0ビット 0: Extra Stream にデータ放送なしデジタル放送が含まれない 1: 含まれる
- 第1ビット 0: Extra Stream に連動型データ放送付デジタル放送が含まれない 1: 含まれる
- 第2ビット 0: Extra Stream に独立データ放送が含まれない 1: 含まれる
- 第3ビット 0: Extra Stream に独立オーディオ (ラジオ) 放送が含まれない 1: 含まれる
- 第4ビット 0: Extra Stream に文字放送が含まれない 1: 含まれる
- 第5ビット 0: Extra Stream にアナログ放送が含まれない 1: 含まれる
- その他のビット: reserved

Copy move flag (コピーまたは移動)

- 000: オリジナル、001:コピー、 010:移動、 011~111:その他

Source file information (ソースファイル情報)

000: オリジナル

001: コピーまたは移動データ、かつソース存在せず、またはソース存在場所不明

010: コピーまたは移動データ、かつソースがHR_STRMx.SROに存在

011: コピーまたは移動データ、かつソースがHR_MOVIE.VROに存在

100: コピーまたは移動データ、かつソースがHR_EXTBC.DATに存在

101~111: reserved

Source stream name(ソースストリーム名)

ソースストリーム名が存在するときストリーム名、存在しないときALL"0"

Source stream number(ソースストリームナンバー)

ソースストリームのSOBナンバー、VOBナンバー、またはExtra Streamナンバー

Source video mode(ソースビデオモード)

000: MPEG-2, 001:MPEG-1, 010:MPEG-4, 011:H.264 100:WM9

101~111: reserved

Source audio mode(ソースオーディオモード)

000: MPEG-2 AAC, 001:Dol by AC-3, 010:MPEG-1, 011:MPEG-2 BC

100: DTS, 101: LPCM, 110~111: reserved

Source still-picture mode (ソース静止画モード)
 000:JPEG, 001:PNG, 010~111: reserved

Source animation mode (ソースアニメーションモード)
 000:MNG, 001~111: reserved

Source Data broadcast mode (ソースデータ放送モード)
 000:BML, 001~111: reserved

Source Game data mode (ソースゲームデータモード、000~111:reserved)

Source EPG data mode (ソースEPGデータモード、000~111:reserved)

Source Graphic mode (ソースグラフィックモード、000~111:reserved)

Source 3D video mode (ソース立体映像モード、000~111:reserved)

Source stream mode (ソースストリームモード)
 000:TS, 001: PS, 010:PES, 011:ES
 100~111:reserved

Recorded data video mode (ビデオモード)
 000:MPEG-2, 001:MPEG-1, 010:MPEG-4, 011:H.264, 100:WM9
 101~111:reserved

Recorded data audio mode (オーディオモード)
 000:MPEG-2 AAC, 001:Dol by AC-3, 010:MPEG-1, 011:MPEG-2 BC
 100:DTS, 101:LPCM, 110~111:reserved

Recorded data still-picture mode (静止画モード)
 000:JPEG, 001:PNG, 010~111: reserved

Recorded data animation mode (アニメーションモード)
 000:MNG, 001~111: reserved

Recorded data Data broadcast mode (データ放送モード)
 000:BML, 001~111: reserved

Recorded data Game data mode (ゲームデータモード、000~111:reserved)

Recorded data EPG data mode (EPGデータモード、000~111:reserved)

Recorded data Graphic mode (グラフィックモード、000~111:reserved)

Recorded data 3D video mode (立体映像モード、000~111:reserved)

Recorded data stream mode (ストリームモード)
 000:TS, 001:PS, 010:PES, 011:ES,
 100~111:reserved

Extra broadcast related data ID flag (放送外関連情報識別フラグ)
 Extra broadcast related data flag (放送外関連情報フラグ)
 第0ビット 0:Extra Stream に放送外関連情報が含まれない 1:含まれる
 その他のビット :reserved

Broadcast related data content (放送外関連情報コンテンツ)
 000:放送外関連情報が通常のインターネットデータ, 001:ストリーミングデータ
 010:その他, 011~111:reserved

Data broadcast data (データ放送関連データ)

Transmission mode

- 00 : データカルーセルモード
- 01 : イベントメッセージ伝送モード
- 10 : 両者を含む伝送モード
- 11 : reserved

Data Carrousel Auto renewal

- 00 : 放送Data Carrousel 全データ記録モード
- 01 : 放送Data Carrousel 中更新データのみ選択記録モード
- 10~11 : reserved

Refresh flag

- 00 : ニュース、天気予報、株式情報などで、新しいデータによる古いデータ自動更新OFF
- 01 : ニュース、天気予報、株式情報などで、新しいデータによる古いデータ自動更新ON
- 10~11 : reserved

Refresh start time

- 最新データ更新開始時刻(5バイト)
- 年(14ビット)、月(4ビット)、日(5ビット)、
- 時(5ビット)、分(6ビット)、秒(6ビット)

Refresh end time

- 最新データ更新終了時刻(5バイト)
- 年(14ビット)、月(4ビット)、日(5ビット)
- 時(5ビット)、分(6ビット)、秒(6ビット)

Time map flag

- 00 : ストリームにタイムマップなし
- 01 : ストリームにタイムマップあり
- 10~11 : reserved

Storage broadcast flag

- 00 : 通常放送ストリーム
- 01 : 蓄積型放送ストリーム
- 10~11 : reserved

HR_STMAP.IFO
HR_STRMx.SROにおける1PMTパーシャルTS用タイムマップテーブル
1STREF_SZ : SOBU第1リファレンスピクチャーサイズ
SOBU_PB_TM : SOBU再生時間 (ビデオフィールド数)
SOBU_SZ : SOBUサイズ (セクター数)

HR_VTMAP.IFO
HR_MOVIE.VRO用タイムマップテーブル
1STREF_SZ : VOB第1リファレンスピクチャーサイズ
VOBU_PB_TM : VOB再生時間 (ビデオフィールド数)
VOBU_SZ : VOBサイズ (セクター数)

HR_STRMx.SRO
デジタル放送、番組連動型データ放送付デジタル放送、独立型データ放送、
オーディオ放送ストリーム
文字放送データ

HR_MOVIE.VRO
アナログ放送映像音声ストリーム

HR_EXTBC.DAT
データ放送直接記録、または一部をコピーまたは移動したデータファイル
その他のストリーム

図 23

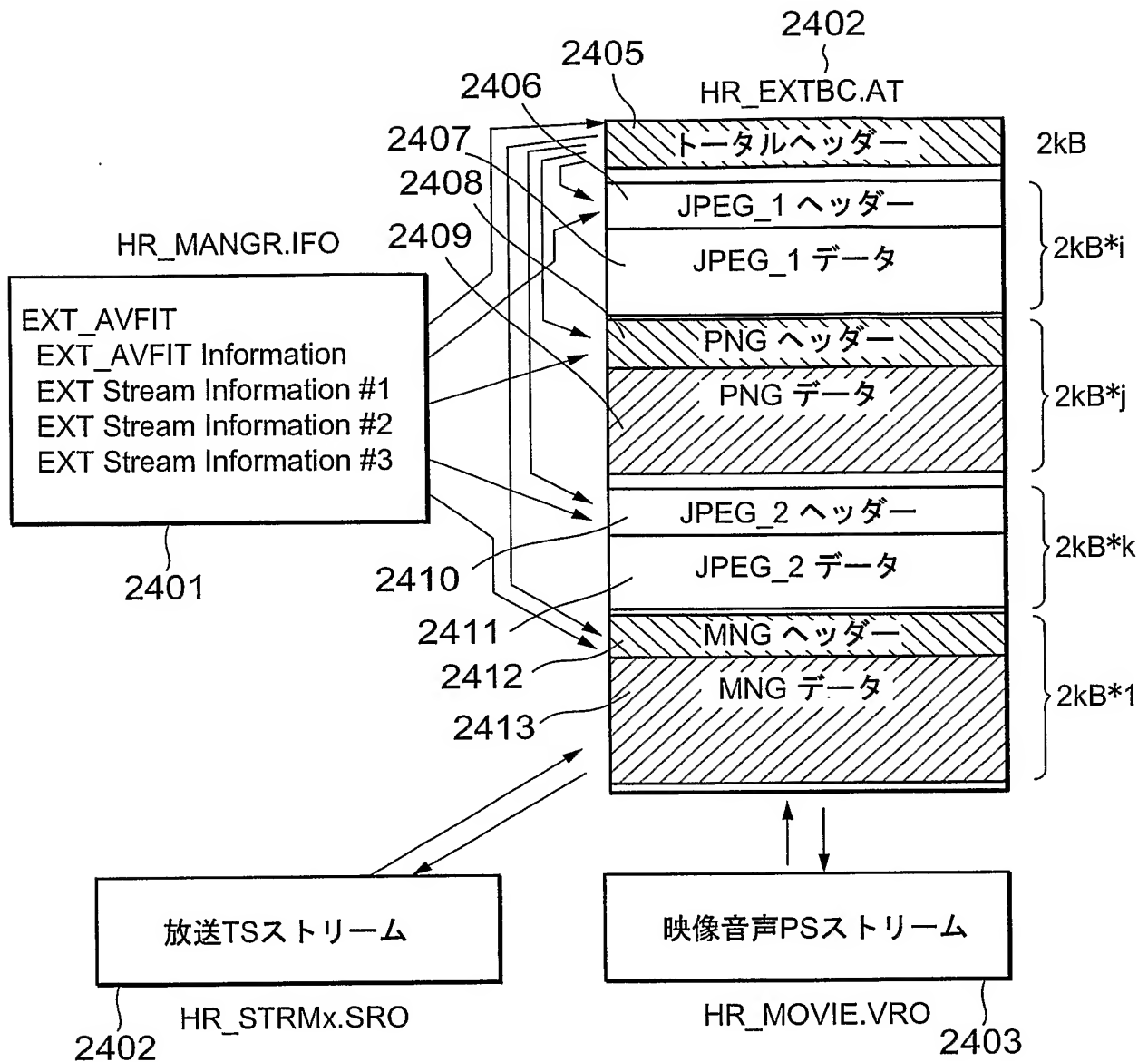


図 24

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/006531

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl.⁷ H04N5/92, G11B20/10, 20/12, 27/00, 27/034

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl.⁷ H04N5/92, G11B20/10, 20/12, 27/00, 27/034

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2005
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2005	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2005

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 2003-111020 A (Hitachi, Ltd.), 11 April, 2003 (11.04.03), Full text; all drawings (Family: none)	16, 24, 26-33, 38, 46, 52
X	JP 2002-330401 A (Hitachi, Ltd.), 15 November, 2002 (15.11.02), Full text; all drawings (Family: none)	16, 24, 26-33, 38, 46, 52
X	JP 2003-125342 A (Victor Company Of Japan, Ltd.), 25 April, 2003 (25.04.03), Full text; all drawings (Family: none)	47, 48, 53-55



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T"

later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X"

document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y"

document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&"

document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

25 May, 2005 (25.05.05)

Date of mailing of the international search report

07 June, 2005 (07.06.05)

Name and mailing address of the ISA/

Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/006531

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2003-163884 A (Sony Corp.) , 06 June, 2003 (06.06.03) , Full text; all drawings (Family: none)	1-55

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/006531

Box No. II Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 2 of first sheet)

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1. ☐ Claims Nos.:
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:
2. ☐ Claims Nos.:
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:
3. ☐ Claims Nos.:
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).

Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 3 of first sheet)

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

The inventions of claims 1-15, 21, 23, 25, 33-46 relate to a broadcast video/audio data recording method and device recording management data in a first file, recording a stream in which broadcast is expressed in TS in a second file, and recording a stream in which video/audio is expressed in PS in a third file; and including an auxiliary file different from the first to the third file, wherein the data content of each file is indicated by the management data in the first file; as well as a data recording medium recorded by using the device.

(Continued to extra sheet)

1. ☐ As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.
2. ☒ As all searchable claims could be searched without effort justifying an additional fee, this Authority did not invite payment of any additional fee.
3. ☐ As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:
4. ☐ No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:

Remark on Protest

- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest.
- ☐ No protest accompanied the payment of additional search fees.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/006531

Continuation of Box No.III of continuation of first sheet(2)

The inventions of claims 16-20, 22, 24, 26 relate to a broadcast video/audio data recording method using a first file in which management data is recorded and a data file for recording as storage data at least one of the inputted broadcast video/audio data and recording broadcast video/audio data obtained by copy or move, wherein in the data file, the storage data is recorded in the format indicating the management data.

The inventions of claims 27-32 relate to a data stream recording method for storing data streams having different formats in different files, performing format conversion between the data streams stored, and adding data appropriate to the format converted, thereby recording a data stream.

The inventions of claims 47-51, 53-55 relate to a broadcast video/audio data recording method for storing edited data obtained by editing inputted broadcast video/audio data in a file different from the broadcast video/audio data, wherein in the file of the edited data, header information on the edited data is stored together with the edited data.

The invention of claim 52 relates to a broadcast video/audio data recording method for converting broadcast video/audio data inputted into a format which can be reproduced by a reproduction device reproducing the broadcast video/audio data and recording the converted data.

The matter common to these groups of inventions is recording of broadcast video/audio data. However, the common matter is a known technique and cannot be a special technical feature within the meaning of PCT Rule 13.2, second sentence.

Since there exists no other common feature which can be considered as a special technical feature within the meaning of PCT Rule 13.2, second sentence, no technical relationship within the meaning of PCT Rule 13 between the different inventions can be seen.

Accordingly, it is obvious that claims 1-55 do not satisfy the requirement of unity of invention.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))
Int.Cl.⁷ H04N5/92, G11B20/10, 20/12, 27/00, 27/034

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.⁷ H04N5/92, G11B20/10, 20/12, 27/00, 27/034

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2005年
日本国実用新案登録公報	1996-2005年
日本国登録実用新案公報	1994-2005年

国際調査で使用了電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	J P 2003-111020 A (株式会社日立製作所) 2003. 04. 11、全文、全図 (ファミリーなし)	16, 24, 26-33, 38, 46, 52
X	J P 2002-330401 A (株式会社日立製作所) 2002. 11. 15、全文、全図 (ファミリーなし)	16, 24, 26-33, 38, 46, 52
X	J P 2003-125342 A (日本ビクター株式会社) 2003. 04. 25、全文、全図 (ファミリーなし)	47, 48, 53-55

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

25. 05. 2005

国際調査報告の発送日

07. 6. 2005

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)
郵便番号100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

梅岡 信幸

5C

9075

電話番号 03-3581-1101 内線 3541

C (続き). 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	JP 2003-163884 A (ソニー株式会社) 2003.06.06、全文、全図 (ファミリーなし)	1-55

第Ⅱ欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見（第1ページの2の続き）

法第8条第3項（PCT17条(2)(a)）の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。

1. ☐ 請求の範囲 _____ は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。つまり、
2. ☐ 請求の範囲 _____ は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
3. ☐ 請求の範囲 _____ は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に従って記載されていない。

第Ⅲ欄 発明の単一性が欠如しているときの意見（第1ページの3の続き）

次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるところの国際調査機関は認めた。

請求の範囲1-15, 21, 23, 25, 33-46に係る発明は、管理データを第1のファイルに記録し、放送をTSで表現したストリームを第2のファイルに記録し、映像音声データをPSで表現したストリームを第3のファイルに記録すると共に、前記第1～第3のファイルとは異なる付属ファイルが設けられており、前記第1のファイルの管理データにより各ファイルのデータの内容を示す放送映像音声データ記録方法、装置、その装置を用いて記録されたデータ記録媒体である。

請求の範囲16-20, 22, 24, 26に係る発明は、管理データを記録した第1のファイルと、入力した放送映像音声データおよびコピーまたは移動の結果得られた記録放送映像音声データのうち、少なくとも一方を格納データとして記録するデータファイルとを有し、前記データファイルには、前記格納データが前記管理データを示すフォーマットで記録される放送映像音声データ記

1. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。
2. ☒ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったため、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
4. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったため、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。

追加調査手数料の異議の申立てに関する注意

- ☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。
- ☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。

録方法である。

請求の範囲 27-32 に係る発明は、互いに異なるフォーマットを有するデータストリームをそれぞれ互いに異なるファイルに格納し、格納されたデータストリーム間相互のフォーマット変換を行って、当該変換されたフォーマットに適合したデータを追加することによりデータストリームを記録するデータストリーム記録方法である。

請求の範囲 47-51、53-55 に係る発明は、入力された放送映像音声データを編集することによって得られた編集済データを前記放送映像音声データとは異なるファイルに格納する放送映像音声データの記録方法において、前記編集済データのファイルには、当該編集済データに関するヘッダー情報が当該編集済データと共に格納される放送映像音声データ記録方法である。

請求の範囲 52 に係る発明は、入力された放送映像音声データを、当該放送映像音声データを再生する再生装置で再生可能なフォーマットに変換し、当該変換した状態で記録する放送映像音声データ記録方法である。

これらの発明群に共通する事項は、放送映像音声データを記録することであるが、この点は周知の事項であるから、これらの共通事項は PCT 規則 13.2 の第 2 文の意味における特別な技術的特徴ではない。

そしてこれらの発明群の間には、PCT 規則 13.2 の第 2 文の意味において特別な技術的特徴と考えられる他の共通事項は存在しないので、それらの相違する発明の間に、PCT 規則 13 の意味における技術的な関連を見いだすことはできない。

よって請求の範囲 1~55 は、発明の単一性の要件を満たしていないことが明らかである。